ISBN978-4-8130-2105-6
C0076 ¥2000E

9784813021056

定価：本体2000円＋税

発行所＝ミリオン出版
発売元＝大洋図書

1920076020001

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!
TRANSFORMERS
GENERATIONS 2009
トランスフォーマージェネレーション2009
VOL.3

TRANSFORMERS GENERATIONS 2009 VOL.3 トランスフォーマージェネレーション2009 VOL.3

ミリオン出版

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

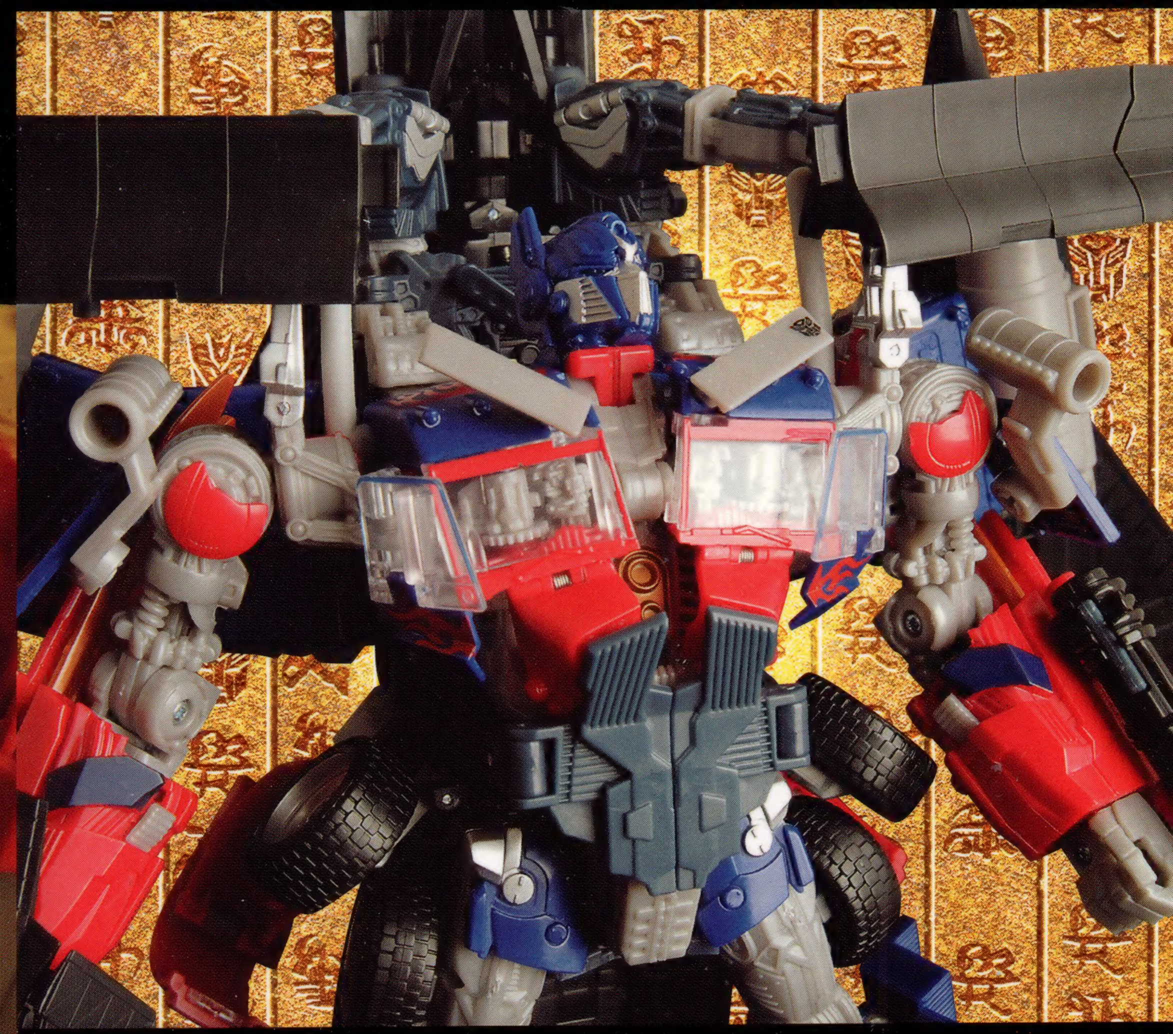
TRANSFORMERS

GENERATIONS 2009

VOL.3

トランスフォーマージェネレーション2009

ミリオン出版



カバーデザイン●中嶋寿人（CHICKS）

© 2007 DreamWorks,LLC & Paramount Pictures Corporation.
Manufactured under license from TOMY Company.ltd
© 2007 Hasbro,Pawtucket,RI 02862 USA.ALL Rights Reserved.
TM & ® denote U.S.
Trademarks.Hasbro Canada,Longueuil,QC,Canda J4G1G2.
Product and colors may vary.

© 2008 DreamWorks,LLC and Paramount Pictures Corporation.
© 2009 TOMY. All Rights Reserved. TM&® denote Japanese Trademarks.

© 2009 TOMY

ISBN978-4-8130-2105-6
C0076 ¥2000E

9784813021056

定価：本体2000円＋税

発行所＝ミリオン出版
発売元＝大洋図書

1920076020001

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

TRANSFORMERS

GENERATIONS 2009

VOL.3

トランスフォーマージェネレーション2009

TRANSFORMERS GENERATIONS 2009 VOL.3 トランスフォーマージェネレーション2009 VOL.3

ミリオン出版

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

TRANSFORMERS

GENERATIONS 2009 VOL.3

トランスフォーマージェネレーション2009

ミリオン出版

トランスフォーマージェネレーション2009　Vol.3

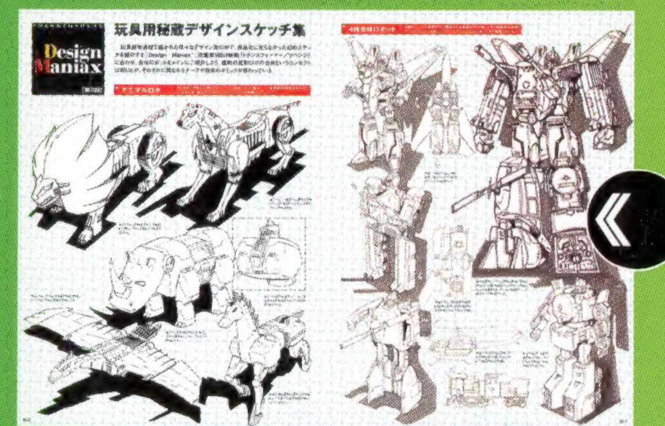
© 2007 DreamWorks,LLC & Paramount Pictures Corporation.
Manufactured under license from TOMY Company.ltd
© 2007 Hasbro,Pawtucket,RI 02862 USA.ALL Rights Reserved.
TM & ® denote U.S.
Trademarks.Hasbro Canada,Longueuil,QC,Canda J4G1G2.
Product and colors may vary.

© 2008 DreamWorks,LLC and Paramount Pictures Corporation.
© 2009 TOMY. All Rights Reserved. TM&® denote Japanese Trademarks.

© 2009 TOMY

2009年ムービーシリーズ
各種ギミックはもちろん、
キャラクター設定から
映画での活躍まで徹底網羅!

マイクロン
膨大にリリースされる
マイクロンをコンプリート。
まさに永久保存版カタログだ!



デザイン画
未発表の貴重なお蔵出し
デザイン画・第3弾は、
映画に合わせて合体特集!

スキッズ&スクリーチ クォンタムオペレーティブVer.

サイバトロン戦士「スキッズ」と、本誌発のオリジナルキャラクター「スクリーチ」が、スペシャルカラー復刻アイテムとして登場! キャラクター設定は、ファーマン氏によるオリジナル。ボンネットとバンパー、頭部が別形状となるスクリーチの型は、2002年以来の復刻となる。この機会を逃さず、ぜひ手に入れて欲しい!!

史上初!! トランスフォーマー・コレクターズマガジン　ミリオン出版

トランスフォーマー25年の歴史は、この夏・話題の最新映画『リベンジ』で頂点に!!

トランスフォーマー・コレクターズマガジン全3巻ついに完結!!

『トランスフォーマー／リベンジ』総力特集!!

ジェットパワーオプティマスプライムから新カテゴリー「ヒューマンアライアンス」まで、『リベンジ』アイテムを総括! 映画情報から映画派生アイテム、イラストレーションなど、映画が生み出すムーブメントも追跡!!

この本でしか手に入らない!!
数量限定・誌上通販!
スペシャルカラー復刻アイテム
スキッズ&スクリーチ
クォンタムオペレーティブVer.

日本初!! アメリカンコミックアーティスト サイモン・ファーマン氏&グイド・グイディ氏による、描き下ろしスペシャルコミック!!

- 400種に及ぶマイクロンを徹底研究!!
- 海外カタログコレクションは、ヨーロッパ展開に突入!!……などなど

ミリオン出版のヒーローシリーズ公式ホームページ
http://millionhero.jp/

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

TRANSFORMERS

GENERATIONS 2009

トランスフォーマージェネレーション2009

VOL.3

TRANSFORMERS GENERATIONS 2009 VOL.3 トランスフォーマージェネレーション2009 VOL.3

ミリオン出版

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

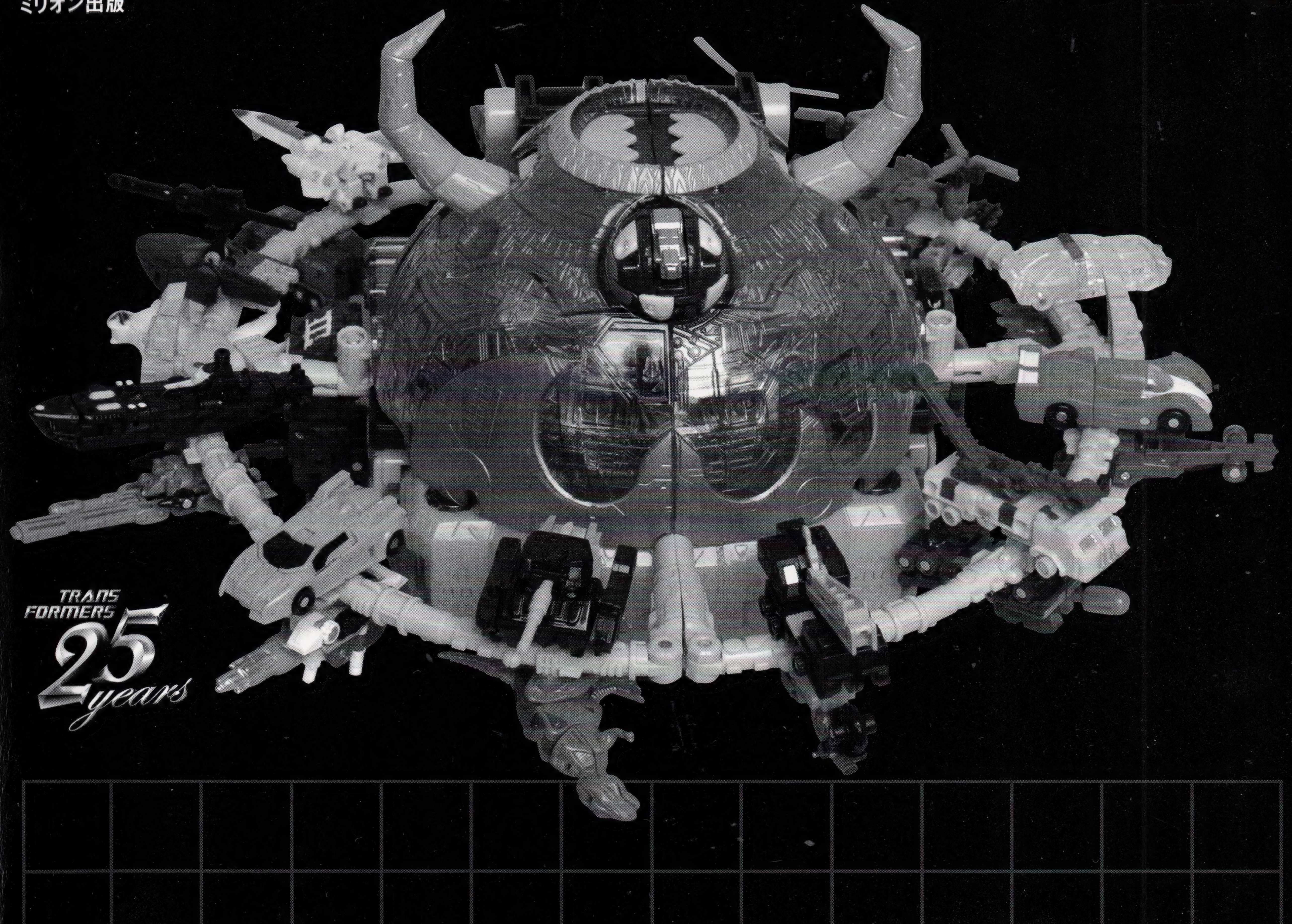
TRANSFORMERS

GENERATIONS 2009

VOL.3

トランスフォーマージェネレーション2009

ミリオン出版



WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

TRANSFORMERS

GENERATIONS 2009

VOL.3

トランスフォーマージェネレーション2009

ミリオン出版

SPECIAL COMIC
「スタースクリームの新しいボディ」
WRITTEN BY SIMON FURMAN
ART BY GUIDO GUIDI
「変形！ヘンケイ！トランスフォーマー」の世界に侵入したスタースクリームの幽霊はメガトロンと対峙していた
貴様、スタースクリームではないな
オレはオレさ
かつてオレのいた宇宙ではな。そっちではガルバトロンに殺されちまったが、オレのスパークは不滅。そして……
思い上がりはどこのスタースクリームも変わらんな！ アストロトレイン、オンスロート、こ奴に礼儀というものを教えてやれ！
……今やどこに行こうと何をしようと思いのままだ！
ああ、言い忘れていたが……
……誰にとり憑くかもオレの意のままなんだぜ！
デストロン同士戦わせて軍団を内部から崩壊させてやるさ
その後は、アンタを虫けらみたいに潰してやろうか
くどいようだが、何だって俺たちがデストロンのクソったれどもを助けるのに命張らなきゃならないんだ？
それはだ、もしあの幽霊スタースクリームがメガトロンを倒すことになれば、間違いなく……

●誌上通販限定「スキッズ&スクリーチ クォンタムオペレーティブVer.」の応募要項は94ページをチェック!

WELCOME TO THE WORLD OF TRANSFORMERS!!

TRANSFORMERS GENERATIONS 2009 VOL.3

トランスフォーマージェネレーション2009

SPECIAL MESSAGES

日本のトランスフォーマー書籍にストーリーを書くことは、僕にとって大変な喜びだった。トランスフォーマーの心のふるさとは日本にあると、ずっと思ってきたからね。

トランスフォーマーというブランドは、信じられないほど長く成功を続けているけど、それはトランスフォーマーが欧米で発売されるより遥かに前から、日本で行われてきた創意工夫があったからこそだ。

このコミックで、ようやく日本の熱心なトランスフォーマーファンの皆さんに何か恩返しができると思う。

この物語は、君たちに贈るものだ!

サイモン・ファーマン

It was my pleasure and delight to write a story for a Japanese Transformers publication. I have long felt that Japan is the spiritual home of Transformers, and that without the many years of amazing innovation and imagination that came before the launch of Transformers in the west, the brand would not have been as incredibly long lasting and successful.
Finally, I can give something back to the many loyal Japanese Transformers fans. This story is for you!

Simon Furman

西洋のアーティストとして、最初に日本の公式メディアでトランスフォーマーのコミックを描けたことを、光栄に思います。僕はシリーズが始まった80年代からトランスフォーマーの大ファンで、トイもたくさん集めてるんだ。コミックアーティストになるにあたって、一番多くのインスピレーションを与えてくれたのは、何と言ってもオリジナルのG1アニメ。描いたパーツがそれぞれはっきり見えることもあって、アニメ風のスタイルは非常に好きなんだ。

この2ページで何よりもやりたかったのは、あのスタイルを今作られているような、現代的で素晴らしいトランスフォーマーシリーズに見合う形で復活させること。

描く作業はとても楽しかったけど、読者の皆さんにもそれと同じくらい楽しんでもらえると嬉しいよ!

グイド・グイディ

It has been an honor to be the first western artist to be able to draw a comic for an official Japanese Transformers media:
I'm a huge fan and collector of Transformers toys since the '80, and one of my main inspiration in becoming a comic artist has always been the original G1 anime.
I love a lot that style, and I think it's visible on almost every piece I draw.
With these two pages I really wanted to revive that visual style applying it on the modern and amazing Transformers series produced today.
I hope you'll have as much fun in reading it as I had in drawing it!

Guido Guidi

CONTENTS

SPECIAL COMIC……02
「スタースクリームの新しいボディ」
作●サイモン・ファーマン 画●グイド・グイディ

[第1特集]……05
2009 MOVIE TOY CATALOG
オートボット総司令官オプティマスプライム発進!!
オートボット……06
コンストラクティコン合体!! デバステーターの誕生だ!!
ディセプティコン……18
トミーダイレクト製品……31
2009年ムービートイリスト……32

[第2特集]……33
MOVIE MOVEMENT
AUTOBOT×HUMAN
新たな進化 ヒューマンアライアンス……34
REVENGE STORY……38
至高のワールドプレミア!!……40
YANASE meets BUMBLEBEE
バンブルビー日本上陸!……42
REVENGE ART GALLERY……44
コラム●TF情報局[パート1]
トランスフォーマー最新プロダクト&開発情報……50

TF MANIAX……53
コレクションマニアックス[第3回]……54
マイクロン編
マイクロンリスト……68
カタログマニアックス[第3回]……70
TRANSFORMERSカタログコレクション
デザインマニアックス[第3回]……80
玩具用秘蔵デザインスケッチ集
コラム●TF情報局[パート2]
兄弟作品『GI★ジョー』も、実写映画に!!……86

TF BACKSTAGE……87
『トランスフォーマー/リベンジ』商品デザイナー対談
蓮井章悟×幸 日佐志……88
スペシャルインタビュー
山崎正彦……92

TRANSFORMERS GENERATIONS 2009発売記念
数量限定・誌上通信販売……94
スキッズ&スクリーチ クォンタムオペレーティブVer.申し込みのきまり

PROFILE

サイモン・ファーマン *Simon Furman*

イギリスのコミックライター。1984年にフリートウェイ社のコミック“SCREAM!”No.3でデビュー。同年マーベルUKから刊行された“THE TRANSFORMERS”No.13に参加し、以来200話近くに及ぶイギリス版オリジナルエピソードのほとんどを担当した。1989年からは米国版コミックにもメインライターとして進出。No.56~最終話と“THE TRANSFORMERS GENERATION2”全話を担当した。多元宇宙やプライマスとユニクロンによる創造神話など、壮大な世界観に関わる設定を多く生み出した人物である。近年ではドリームウェーブ社の“THE WAR WITHIN”、IDWの“BEAST WARS”シリーズなどを執筆している。

グイド・グイディ *Guido Guidi*

イタリアのコミックアーティスト。2003年、ドリームウェーブ社の“TRANSFORMERS ARMADA”No.8でデビュー。同社による“ARMADA”、“ENERGON”そして“MORE THAN MEETS THE EYE”(キャラクターガイドブック)シリーズで頭角を現す。“ARMADA”や“ENERGON”では、海外版玩具のパッケージアートも何点か手がけた。2005年にIDWからスタートした新たなトランスフォーマーのコミックにも参加し、“HEARTS OF STEEL”や、現在も連載中の“ALL HAIL MEGATRON”シリーズなどを担当している。

[第1特集] 2009 MOVIE TOY CATALOG

2009年5月30日。超大作映画『トランスフォーマー／リベンジ』に合わせ、ふたたび革新的玩具のリリースが始まった。さらなる高みに到達したトランスフォーマームービーシリーズは、複雑な映画デザインをみごとに再現してみせる。まずは2009年の最新ラインナップをご紹介しよう。

オートボット総司令官
オプティマスプライム
発進!!

AUTOBOTS

TRANSFORMERS/REVENGE

新機構「メックアライブ」を備えた『リベンジ』トランスフォーマーたち。まずは自由と平和を愛するオートボットの戦士たちをご紹介しよう。前作ラストでオプティマスプライムが放った呼びかけに応えて、多くの新戦士が参加。フラッグシップアイテムは、ジェットファイアーとの合体機構も加わりパワーアップを果たした、完全新作のオプティマスプライムである。

JETPOWER OPTIMUS PRIME

ジェットパワー オプティマスプライム

オプティマスプライムとジェットファイアーが一体となった姿。オプティマスの背面を覆うようにジェットファイアーが完全合体。パーツの分離なく2体のリーダークラスが1体となる。ジェットファイアーのエンジンブロックは翼と共にオプティマスに飛行能力を付加。足首の変形により身長もアップする。映画特有の有機的なデザインを維持しながら、伝統的な「2号ロボとの合体」というフォーマットを踏襲したハイブリッドなデザインとなっている。

IN THE MOVIE

重傷を負ったジェットファイアーが自らのスパークを引き抜き、そのパーツをオプティマスに捧げることで誕生した形態。映画クライマックスを見事に盛り上げた。

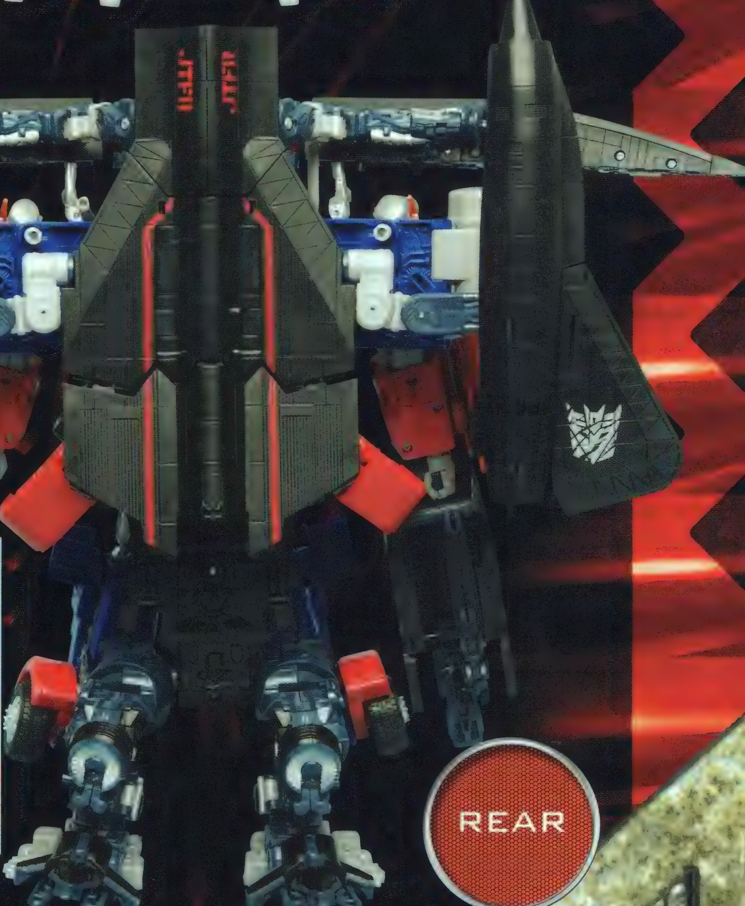
▲ジェットファイアーの銃は左腕にセットされる。

◀ジェットファイアーの背面パネルおよび杖を合体させた銃を装備。

TRANSF
REVENGE OF THE FALLEN

▼肩にはブラックバードの機首を配置。オプティマスの肩の突起が接続ジョイントとなる。映画では武器としても使用したエンジンブロックも、ある程度可動する。

◀左右から回り込んだジェットファイアーのパーツが、オプティマスの腹部を覆う。



▲脚部はオプティマスのつま先部分を開き、ジェットファイアーの脚パーツを挟み込むように合体。

RA-01		
STRENGTH	体力	10
INTELLIGENCE	知力	10
SPEED	速度	7
ENDURANCE	耐久力	10
RANK	地位	10
COURAGE	勇気	10
FIREBLAST	火力	10
SKILL	技能	9

OPTIMUS PRIME
オプティマスプライム

[プロフィール] オートボットの総司令官。メガトロンの死により数百万年に及ぶ戦いにもようやく終止符が打たれ、平和の訪れが近いことを確信している。人類の仲間たちの協力を得て、地球に潜伏するディセプティコンを各地で撃破し続けてきた。だが、逃亡したスタースクリームにより多くのディセプティコンが地球に向かっていることは、まだ知る由もなかった。[トイ] 完全新造となったオプティマスプライム。前作に比べ、ロボット、ビークルとも、より劇中に近いプロポーションを実現した。腰と胴体の変形に連動して、伝統的な変形音も鳴る。

IN THE MOVIE

トランスフォーマーの最初のリーダーである7人のプライムたちの末裔で、現存する最後のプライム。諸悪の根源たるザ・フォールンを倒すことのできる唯一の存在とされる。オールスパークの知識を狙うディセプティコンの手からサムを守るべく、単身奮戦するのだが……。

▲腹部のレバーを下げるのに連動して、胸と頭部がせり上がり、目や胸内部が発光。"I am OPTIMUS PRIME"(「私はオプティマスプライム」)の台詞が流れる。

▼トレーラーに変形。キャビン背面のスイッチを押すと、エンジン音が鳴り響く。

◀両腕にはエネルギーソードを収納し、スプリングで展開するギミックを備えている。

RA-13		
STRENGTH	体力	8
INTELLIGENCE	知力	8
SPEED	速度	9
ENDURANCE	耐久力	4
RANK	地位	5
COURAGE	勇気	7
FIREBLAST	火力	9
SKILL	技能	5

JETFIRE
ジェットファイアー

[プロフィール] 長きにわたる不毛な戦争に嫌気が差し、ディセプティコンを抜けた老兵士。サイバトロン星を脱し、たどり着いた地球で眠りに就いていた。トランスフォーマーの来訪により再び目覚めた彼は、今度はオートボットとして、平和を取り戻す戦いに身を投じる。[トイ] 高度偵察機SR-71ブラックバードに変形。曲がった足腰、手に持った杖と、老人らしい雰囲気をたっぷり漂わせたロボットモードが特に印象的である。オプティマスプライムと同じく、胴体部の変形に連動して変形音を発する。

IN THE MOVIE

その昔、「リーダーのマトリクス」を捜す使命を受けたシーカー(探索者)の1人。ディセプティコンの傭兵だったが、オートボット側に亡命。現代において、ブラックバードの姿でスミソニアン航空宇宙博物館に展示されていた。

▼ロボットの印象とは対照的に、滑らかなラインが特徴のビークルモード。機体後部のスイッチを押すと飛行サウンドを鳴らすことができる。

▲胴体中央のレバーを下げると、胸のアーマーが連動。発光と同時に"JETFIRE is the name"(「私の名はジェットファイアー」)の台詞を喋る。

▲着陸脚が杖に変形する。

▲銃はミサイルを発射可能。ビークルモードでは機首下面に取り付ける。

TRANSFORMERS
REVENGE OF THE FALLEN

STRENGTH・体力	6
INTELLIGENCE・知力	8
SPEED・速度	6
ENDURANCE・耐久力	5
RANK・地位	5
COURAGE・勇気	10
FIREBLAST・火力	3
SKILL・技能	9

RA-03

IN THE MOVIE

大学に行くサムから別れを切り出され、涙(?)を流すなど、前作以上に友情の篤さを見せるバンブルビー。相変わらずのラジオや音楽を使った会話で、サムのよき理解者となる。ランページ、ラヴィッジを相手に敢闘するなど、戦士としての強さも印象的だ。

BUMBLEBEE
バンブルビー

[プロフィール] オールスパークを巡る戦いの後、地球人の友・サムと一緒に暮らすことを選んだバンブルビー。発声プロセッサはまだ完全には機能を取り戻していないが、サムやミカエラとのコミュニケーションはうまくいっている。[トイ] シボレー「カマロ・コンセプトカー」に変形。前作よりロボット頭部、フロントバンパー、ホイールの形状が変更された。脚部や胸部のオートモーフ機構も健在。

▲右腕の銃からはパルスミサイルを発射できる。

▲映画プロップの形状変更に合わせ、リニューアルされたフロント部分。

CANNON BUMBLEBEE
カノンバンブルビー

STRENGTH・体力	6
INTELLIGENCE・知力	8
SPEED・速度	6
ENDURANCE・耐久力	5
RANK・地位	5
COURAGE・勇気	10
FIREBLAST・火力	3
SKILL・技能	9

RA-14

[プロフィール] 新たなディセプティコン発見の報を受け、システムのアップグレードを決意したバンブルビー。ラチェットの助けを借りて人間のミサイルランチャーを武器に組み込み、ビークルモードでも使用可能なよう改造した。[トイ] バンプルビーの新バージョン。武器の展開ギミックを追加し、上半身が新規に造形されている。

▶バンブルビーとカノンバンブルビーの比較。胸部の処理が異なるため、違った印象を受ける。

▼ボンネット左右が開き、折りたたまれたランチャーが展開する。

▲ミサイルランチャーはボンネット内に完全収納される。

▼ロボットモードでもランチャーを収納可能。

TWINS
ツインズ

オートボットの新戦力「ツインズ」ことスキッズとマッドフラップ。双子である彼らは、共に小型車にトランスフォーム。ロボットモードにおいても、似て非なるデザインが魅力となる。

IN THE MOVIE

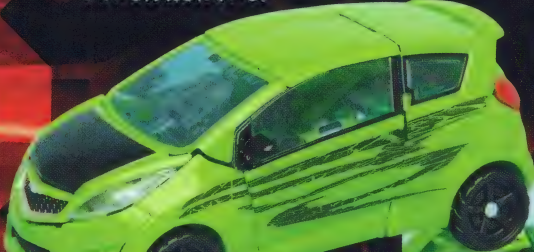
深刻な状況においても、常にコミカルに活躍。ケンカばかりしているものの、いざというときには抜群のチームワークを発揮する。巨大な強敵デバステーターを相手に、一歩も引かない戦いぶりを見せた。

STRENGTH 体力	4
INTELLIGENCE 知力	6
SPEED 速度	7
ENDURANCE 耐久力	4
RANK 地位	2
COURAGE 勇気	8
FIREBLAST 火力	5
SKILL 技能	3

RA-10

AUTOBOT SKIDS
スキッズ

[プロフィール] 双子の兄弟であるマッドフラップより、少しは落ち着きがあるスキッズ。そのため自分を賢いタイプだと思い込んでおり、事あるごとにそれをアピールしようと、絶え間なくおしゃべりを繰り返す。[トイ] シボレー「ビート・コンセプトカー」に変形。小柄ながらもがっちりとした体型で、左右非対称のデザインも再現されている。



MECH ALIVE

▲スキッズと同じく、笑いギミックを搭載。胸の中央を押すと、肩部と胸アーマーが連動する。

STRENGTH 体力	4
INTELLIGENCE 知力	5
SPEED 速度	7
ENDURANCE 耐久力	5
RANK 地位	2
COURAGE 勇気	9
FIREBLAST 火力	4
SKILL 技能	3

RA-15

▲左手の拳を曲げることで腕からキャノン砲が展開。セットしたミサイルを発射できる。

▲胸の中央部を押すと、笑うように肩と頭部が前後に動く。

▼右腕のスイッチを押すと、パンチギミックが発動。

MUDFLAP
マッドフラップ

[プロフィール] 熱意にあふれた若きオートボット。一人前の戦士としてオプティマスプライムの指揮下で戦うことをずっと夢見ていた。スキッズとともに地球でグレートウォーの英雄たちと合流し、その望みを現実のものとする。[トイ] シボレー「トラックス・コンセプトカー」に変形する。太い右腕を持つスキッズに対して、マッドフラップでは左腕が大きいといった、対照的なデザインが面白い。

TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN

STRENGTH	体力	8
INTELLIGENCE	知力	6
SPEED	速度	5
ENDURANCE	耐久力	9
RANK	地位	8
COURAGE	勇気	9
FIREBLAST	火力	6
SKILL	技能	5

RA-02

▲左腕のキャノン砲は、砲身を前後に伸縮させることが可能。

▲右腕のキャノン砲は後部を押し込むことによって銃口が回転しながらせり上がり、ミサイルを発射する。

IRONHIDE

アイアンハイド

[プロフィール] 経験豊富な兵器スペシャリスト。これまで防衛的な役割を強いられることが殆どで、戦士として忍従の日々を送っていた。彼にとって、任務がディセプティコンの捜索・破壊という攻撃的役割に転じたことは、この上ない喜びである。[トイ] GMC「トップキックC4500」に変形。前作のトイから、頭部とキャノン砲が新造されている。脚部にはオートモーフ機構を備えており、つま先の変形に連動して荷台カバーや後輪なども変形していく。

IN THE MOVIE

NESTの主戦力としてレノックス少佐らの信頼を得ており、劇中では最初のトランスフォームを見せる。オプティマスが倒れた際にはオートボットのまとめ役にもなった。

SIDESWIPE

サイドスワイプ

[プロフィール] 戦うことを目的として生まれた戦士。その流線型のボディは凄まじいスピードを発揮する。戦闘時には敵の動きを完全に捉えており、あらゆる術策を駆使して敵に肉薄、その強力な刃を相手の体に突き立ててしまう。[トイ] シボレー「コルベット・スティングレイ・コンセプトカー」に変形。銀色の車体カラーは、全面塗装で再現されている。脚の付け根にある支柱状のパーツはポージングに合わせて可動。独特のメカニズム感を感じさせる。

STRENGTH	体力	9
INTELLIGENCE	知力	8
SPEED	速度	9
ENDURANCE	耐久力	6
RANK	地位	5
COURAGE	勇気	7
FIREBLAST	火力	3
SKILL	技能	10

RA-04

IN THE MOVIE

新たにオプティマスの指揮下に加わったオートボット。脚のタイヤを使ってスケート状に高速移動するスマートな戦士である。アクロバティックなアクションがポイント。

◀膝関節を動かすことによって、腿のアーマーが伸縮する。

◀両腕のブレードは、上下のパーツが連動して展開する。

MECH ALIVE

DESERT TRACKER RATCHET
デザートトラッカーラチェット

RA-08

[プロフィール] 北サハラの砂丘を疾走し、メガトロンの下に集結したディセプティコン軍団との対決に向かうラチェット。宇宙の命運を懸けた戦いを前に、彼は持てる力の全てを尽くして仲間を安全に、そして勝利に導く決意をしている。[トイ]「ハマーH2」のレスキュー車仕様に変形する。前作で発売されたオートボットラチェットのリカラー。クライマックスの砂漠戦のイメージを反映して、砂をかぶったような配色となっている。脚部にオートモーフ機構を搭載

IN THE MOVIE

オプティマスを失った後のオートボットを、アイアンハイドと共に支える。ジェットファイアーの遺志に従い、彼のパーツをオプティマスに移植した。

STRENGTH 体力	4
INTELLIGENCE 知力	9
SPEED 速度	6
ENDURANCE 耐久力	9
RANK 地位	5
COURAGE 勇気	10
FIREBLAST 火力	3
SKILL 技能	10

▲左右両手首のツマミを回すと、エレクトロウィップが展開する。

RA-19

STRENGTH 体力	6
INTELLIGENCE 知力	5
SPEED 速度	4
ENDURANCE 耐久力	7
RANK 地位	4
COURAGE 勇気	9
FIREBLAST 火力	6
SKILL 技能	9

IN THE MOVIE

東海岸でのオートボット出動シーンより登場した新戦士。ジェットファイアーの死に際には、アフターバーナー移植に必要な電力を供給した。

JOLT
ジョルト

[プロフィール] トラブルを引き起こすことが大好きな戦士。おびき寄せたディセプティコンに、至近距離からエレクトロウィップの強力な一撃を浴びせる。混乱に陥った敵グループの周りを、ジョルトが嘲りながら走り回っていることも少なくない。[トイ] シボレー「ボルト・コンセプトカー」に変形。ロボットモード前面にクリアパーツが多く配されており、クールな印象となっている。

RA-09

ENGTH 体力	2
INTELLIGENCE 知力	4
SPEED 速度	2
ENDURANCE 耐久力	9
RANK 地位	1
COURAGE 勇気	1
FIREBLAST 火力	2
SKILL 技能	5

AUTOBOT WHEELIE
オートボットウィーリー

[プロフィール] 臆病で怖がりな性格の持ち主。周囲から大声で何かを命じられると、その通りに従ってしまう傾向がある。そのため、本心からではないにしろ、ディセプティコンのスパイとして働くことを強要されていた。[トイ] モンスタートラックタイプのRCカーに変形。ビークルモードでは細長い手足を折りたたむように収納しているため、ロボットモードの身長はかなり高くなる。

IN THE MOVIE

ディセプティコンのスパイだったが、ミカエラにあっさり捕まりペットのように首輪を付けられてしまう。もっとも本人にとっては満更でもなかった模様で、何だかんだと彼らに協力することに……。「どちらに付くのかは自分で決める」というジェットファイアーの言葉を受け、オートボットへの鞍替えを決める

▼腰のパーツを回転させることで、胸のマークがディセプティコンからオートボットへと切り替わる。

TRANSFORMERS
REVENGE OF THE FALLEN

RA-11	
STRENGTH 体力	7
INTELLIGENCE 知力	7
SPEED 速度	8
ENDURANCE 耐久力	5
RANK 地位	5
COURAGE 勇気	9
FIREBLAST 火力	8
SKILL 技能	4

CHROMIA
クロミア

[プロフィール] アイアンハイドと何世紀にもわたってパートナーを組んできた、タフで好戦的な女戦士。彼との地球での再会を喜び合い、協力してディセプティコンの捜索、殲滅を行っている。他の姉妹とともに、チームにとってなくてはならない戦力である。[トイ] オートバイに変形。ロボットモードでは両脚の代わりにバイクの車輪を配した、一輪車風の体型が特徴となっている。

IN THE MOVIE

劇中モデルは、スズキ「B-KING」。同じくバイクに変形するアーシーらと3人一組のユニットで活躍する。なおノベライズ版（アラン・ディーン・フォスター著、邦訳版は早川書房より刊行）の設定では、3台でアーシーという個体を構成しており合体も可能。

◀▼▶右腕の武器はビークルモードではリアカウルに装備可能。さらにビークル、ロボットの両モードで、スタンドとして使うことができる。

▲左腕の肘を動かすと、ミサイルランチャー内部のパーツが連動する。

RA-20	AUTOBOT SKIDS	MUDFLAP
STRENGTH 体力	4	4
INTELLIGENCE 知力	6	5
SPEED 速度	7	7
ENDURANCE 耐久力	4	5
RANK 地位	2	2
COURAGE 勇気	8	9
FIREBLAST 火力	5	4
SKILL 技能	3	3

AUTOBOT SKIDS & MUDFLAP
スキッズ&マッドフラップ

[プロフィール] 試験的な合体テクノロジーを組み込んだツインズ。その新たな能力で仲間たちの支えになろうとするが、お互いの結合力に難点があり、敵と戦うよりも道路を踏み外さないようにするのに必死である。[トイ] ツインズの2体が前後に合体して、アイスクリームの路上販売トラックに変形。フロントグリルを押し込むことで、スキッズの頭部と肩パーツがボンネットから飛び出す。それぞれ単体版の姿を模したパーツ配置になっているのが面白い。

IN THE MOVIE

ビークルモードは劇中で一番初めに登場。アーシーとともに、上海でサイドウェイズを追撃する。

≫AUTOBOT SKIDS

MUDFLAP≫

◀前後に割れるように分割。前部がスキッズ、後部がマッドフラップとなる。

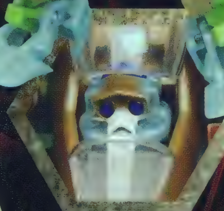
BREAKAWAY

オートボットブレイクアウェイ

[プロフィール] オートボットのエリート飛行士の1人。多くのパイロットが運動性能を重視しているのに対し、直線では誰にも負けないスピードを自慢としている。爆撃時にはソニックブームよりも早く敵にミサイルを叩き込めるほど。[トイ] ジェット機に変形。翼や噴射ノズルはロボットモードでも露出しており、ロボット状態での飛行も想定されたデザインとなっている。操縦士用ゴーグルをかけたようなロボット頭部は、キャノピー内部に収納される。日本未発売(2009年8月現在)のビデオゲームに登場。

▲右腕のガトリングキャノンは、側面のダイヤルで回転させることができる。

◀腕の動きに連動して、上腕部のギアが回転。



RA-05

STRENGTH・体力	6
INTELLIGENCE・知力	7
SPEED・速度	10
ENDURANCE・耐久力	7
RANK・地位	7
COURAGE・勇気	8
FIREBLAST・火力	8
SKILL・技能	4

RA-06

STRENGTH・体力	9
INTELLIGENCE・知力	7
SPEED・速度	5
ENDURANCE・耐久力	9
RANK・地位	5
COURAGE・勇気	6
FIREBLAST・火力	6
SKILL・技能	6

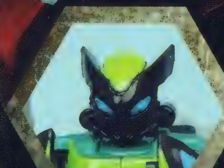
ROLL BAR

ロールバー

[プロフィール] 命令に従っているときが一番幸せだと感じる戦士。即興で何かをやると落ち着かず、指導的立場に立つことには恐怖すら覚えている。一方でナビゲーターとしては極めて優秀であり、腕力、頑丈さにおいても群を抜く。[トイ] デリバリーバンに変形。マスク顔に胸の窓状のパネルなど、オプティマスの小型版といった風貌を持つ。変形時には胸部と連動して、背面のキャブも展開する。

RA-07

STRENGTH・体力	6
INTELLIGENCE・知力	6
SPEED・速度	6
ENDURANCE・耐久力	6
RANK・地位	5
COURAGE・勇気	5
FIREBLAST・火力	7
SKILL・技能	10



KNOCK OUT

オートボットノックアウト

[プロフィール] 華やかさと実力を兼ね備えた腕利きの戦闘員だが、精神的にはひどく不安持ち。1人でこっそり戦闘訓練を重ねているのも、戦場での自分の活躍を他のオートボットたちに気付いてもらうためである。[トイ] オートバイに変形。ビークルモードのイメージそのままに、細身ですばしっこそうなロボットモードが特徴だ。前輪は変形の都合上、ステアリングを動かすことも可能だ。

IN THE NOVEL

映画の前日譚を描いた小説「TRANSFORMERS:THE VEILED THREAT」(アラン・ディーン・フォスター著、日本未発売)に、オートボットの若き新戦士として登場。ロングアーム、エップスらと行動を共にした。

RA-12

STRENGTH・体力	6
INTELLIGENCE・知力	8
SPEED・速度	7
ENDURANCE・耐久力	7
RANK・地位	8
COURAGE・勇気	10
FIREBLAST・火力	7
SKILL・技能	8

DEPTHCHARGE

デプスチャージ

[プロフィール] 鋭い頭脳をもった軍事戦略家。オートボット、ディセプティコンの双方にとって不慣れな領域である海に目を付け、自らの強みとしている。ステルス性を持ったビークルモードで諜報活動を行い、奇襲戦法を好む。[トイ] ステルスボートに変形。しなやかでなおかつ力強さを感じさせる体型は、引き締まった筋肉を持つ水棲生物を連想させる。

▼両脚をスキー状にしたバトルモードに変形可能。

TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN

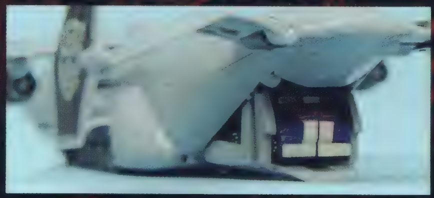
STRATOSPHERE
ストラトスフィア

[プロフィール] 他のオートボットを前線に輸送する任務を持った戦士。カーゴにはオートボットの攻撃部隊を丸ごと収納でき、地球の反対側まで2、3時間で到達することが可能。さらに高空兵器によって、地表のディセプティコンに痛撃を浴びせる。[トイ] 劇中におけるNEST輸送機・C-17グローブマスターⅢをイメージした、カーゴプレーンに変形。オプティマスプライムのミニフィギュアが付属する。

RA-17

STRENGTH 体力	10
INTELLIGENCE 知力	7
SPEED 速度	8
ENDURANCE 耐久力	7
RANK 地位	6
COURAGE 勇気	8
FIREBLAST 火力	8
SKILL 技能	5

▼▶水平尾翼を傾けると、連動して機体後部のハッチが展開。カーゴベイにビークルモードのオプティマスプライムを収納できる。



MECH ALIVE

▶ミニサイズのオプティマスプライムは全高約4センチのロボットモードに変形可能。

◀肘を動かすと、腕内部のギアが連動して回転する。

RA-18

STRENGTH 体力	5
INTELLIGENCE 知力	8
SPEED 速度	8
ENDURANCE 耐久力	5
RANK 地位	6
COURAGE 勇気	10
FIREBLAST 火力	5
SKILL 技能	9

BLAZEMASTER
オートボットブレイズマスター

[プロフィール] 仲間からも、少しむちゃくちゃな奴だと思われているオートボット。敵部隊の上空でホバリングし、気付かれたところで彼らの頭上に腐食性のジェルを投下。煙を上げて逃げ惑うディセプティコンを眺めるのが、彼の生き甲斐である。[トイ] ニュースヘリコプターに変形。機体側面のレバーを押し込むことで、ローターブレードが回転する。なお機体に描かれている「CHANNEL7 ACTION NEWS」は、実在するWXYZ-TV（ABCテレビのデトロイト支局）のニュース番組。

RA-16

STRENGTH 体力	8
INTELLIGENCE 知力	6
SPEED 速度	7
ENDURANCE 耐久力	8
RANK 地位	3
COURAGE 勇気	6
FIREBLAST 火力	4
SKILL 技能	2

DUNE RUNNER
デューンランナー

[プロフィール] 地球で初めて砂地や頁岩の地形を経験することになったデューンランナー。今のビークルモードを気に入っているわけではないが、砂漠や山岳に潜むディセプティコンを捜すのに役立つことは認めている。[トイ] 機銃や装甲を備えた軍用のバギーに変形。NEST部隊に配属された車両をイメージしており、サイドのマークはNESTとオートボットのエンブレムを組み合わせたものとなっている。

DECEPTICONS

TRANSFORMERS/REVENGE

戦いに敗れ、地球から駆逐されたかに見えたディセプティコン。しかしこの2年、新たな兵士たちが地球に潜伏。キューブの欠片を求めリベンジに備えていた――。前作から引き続き登場するスタースクリームは完全新規造形、メガトロンも新たな姿で蘇る。映画タイトルの由来である新キャラクター・フォーレン、そしてボリューム満点の巨人兵デバステーターを見よ!

コンストラクティコン合体!!
デバステーターの

誕生だ!!

CONSTRUCTICON DEVASTATOR
デバスステーター

RD-16

[プロフィール]「デバスステーター」とは本来、サイバトロン星の赤道を吹き荒れる破壊的な強風を呼ぶものであった。その名前をとって名づけられたデバスステーターもまた、避けられない、止められない、破壊できないという自然の力の体現者となっている。彼の通り道にあるものはすべて破壊され、人間の脆い世界はその土台に至るまで剥がし尽くされるだろう。[トイ]コンストラクティコン6体が合体するデバスステーターを、リーダークラスよりも巨大な「コンバイナークラス」で再現。ボリューム感を重視したこともあり、各兵士のロボットモードへの変形はオミットされている。地表のすべてを吸い込む「グラインダーヴォーテックス」は、ライト&サウンドギミックで再現。

STRENGTH・体力	10
INTELLIGENCE・知力	2
SPEED・速度	2
ENDURANCE・耐久力	10
RANK・地位	9
COURAGE・勇気	10
FIREBLAST・火力	10
SKILL・技能	3

IN THE MOVIE

オリジンとなるG1コンストラクティコン(ビルドロン)は6体合体だが、映画では7体合体。重機が次々と合体して巨大モンスターを形作るさまは、まさに映画のハイライトと呼ぶに相応しい迫力を成す。

TRANSFORMERS
REVENGE OF THE FALLEN

MIXMASTER
ディセプティコン ミックスマスター

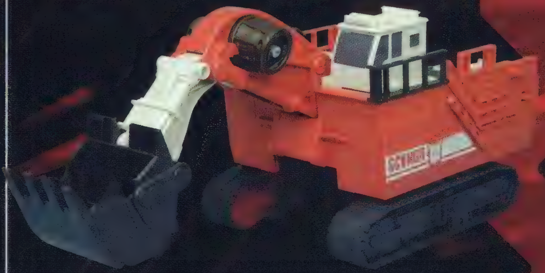
ミキサー車。合体時は頭部を構成。映画で印象的だったフロントのエンブレムも再現する。

RAMPAGE
ディセプティコン ランページ

ブルドーザー。左脚に変形する。

SCAVENGER
スカベンジャー

胴体を構成するショベルカー。もっとも巨大なコンストラクティコンとなる。



SCRAPPER
スクラッパー

ホイルローダー。合体時には右腕となる。

LONG HAUL
ロングハウル

ダンプトラック。右脚に変形する

HIGHTOWER
ハイタワー

クレーン車。合体時には左腕となる。

MECH ALIVE

▲胸のレバーを押し下げると、頭部が起き上がると同時に口が開き、音声サウンドと共に目とドラム内部が発光。さらにレバーを下げ続けると、ドラム内部の発光部が回転するように点滅。バキュームサウンドが鳴り響く。

▲開口時には、ミキサー車のドラム後部が大きく開く。

◀後頭部は開閉可能。フタの裏にもディテールが刻まれる。

▼巨大な口は、EZコレクションを呑み込むことすら可能。

▶巨大なデバステーターと、EZ版マッドフラップのサイズ比較。劇中イメージに近い対比といえるだろう。

▲口内／ドラム内部には、EZコレクションが収まるスペースが存在。EZ版マッドフラップを使えば劇中のシチュエーションも再現できる!?

DEVASTATOR

EZコレクション デバステーター

日本を含むアジア地域限定アイテムとして開発が行われた、EZコレクションデバステーター。小型ながら劇中と同じ7体による合体を再現、さらに単体でもロボットモードに変形が可能。現時点においてコンストラクティコンの全ロボット形態を確認できる唯一のアイテムとなっている。なお名称はEZコレクションだが、製品は中身が分かるブリスターパッケージ仕様である。

◀圧倒的な存在感を誇る通常版との比較。EZ版は変形を実装しながら、合体後のフォルムも可能なかぎり再現する。

DECEPTICON OVERLOAD

ディセプティコン オーバーロード

D1

ダンプトレーラーモードに変形。デバステーターの頭部を構成する。

DECEPTICON MIXMASTER

ディセプティコン ミックスマスター

D2

ミキサー車モードに変形。デバステーターの頭部を構成する。

DECEPTICON RAMPAGE

ディセプティコン ランページ

D3

ブルドーザーモードに変形。合体モードは左脚になる

SCAVENGER

スカベンジャー

D4

ショベルカーモードに変形。デバステーターの胴体を構成する。

SCRAPPER

スクラッパー

D5

ホイルローダーモードに変形。合体モードは右腕になる

LONG HAUL

ロングハウル

D6

ダンプカーモードに変形。合体モードは右脚になる

HIGHTOWER

ハイタワー

D7

クレーン車モードに変形。合体モードは左腕になる

TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN

STRENGTH	体力	∞
INTELLIGENCE	知力	10
SPEED	速度	10
ENDURANCE	耐久力	∞
RANK	地位	10
COURAGE	勇気	10
FIREBLAST	火力	∞
SKILL	技能	10

RD-10

THE FALLEN

フォーレン

[プロフィール] メガトロンの上に君臨する、ディセプティコンの真の支配者。数千年にわたり、自らの代行者らにある装置の探索を命じていた。やがて彼は、自らの野望が始まった地である原始的な惑星へと帰還する。もはや彼の行く手を阻む者はなく、必要とあれば彼の怒りの炎は、この忌まわしい惑星の地表を一掃してしまうことだろう。[トイ] 玩具オリジナルとなるエイリアンジェットに変形。映画原題の副題に「REVENGE OF THE FALLEN」とあるように本作のキーキャラクターであるため、当初はその存在も伏せられていた。

IN THE MOVIE

劇中では「ザ・フォールン」の名で登場した。初代リーダーである7人のプライムの1人であったが、その兄弟たちを裏切り、堕落した者とされる。メガトロンを「我が弟子」と呼び、オールスパークの情報を欲する。

◀ひだや突起の多い、古生物を思わせる異形の姿が特徴。頭部デザインは、映画のティーザーなどにも効果的に使われた。

▼さながら拘束具のように胴体と腕を繋ぐ軟質パーツは、ポージングのためジョイントを外すこともできる。

MECH ALIVE

▲太ももからひざに連なる装甲は、関節を曲げると連動してスライド。脚の爪にはバネが備わり、持ち上げると閉じるギミックを持つ。これは劇中で人を踏みつけるシーンがあると聞き、組み込んだ機構だという。

▲頭部や腕からクリアパーツのエネルギー吸収パネルが展開した、サヴェッジモード。パネル展開には連動変形が取り入れられている。

▲胸中央部のレバーを下げると、アーマーの連動、胸部および目の発光とともに"I am MEGATRON"（俺様はメガトロンだ!）の台詞を叫ぶ。

RD-01

STRENGTH	体力	10
INTELLIGENCE	知力	10
SPEED	速度	10
ENDURANCE	耐久力	10
RANK	地位	10
COURAGE	勇気	9
FIREBLAST	火力	10
SKILL	技能	9

MEGATRON

メガトロン

[プロフィール] ディセプティコンのリーダー。解体された他のディセプティコンのパーツを使い、とうとう復活を果たす。一度は彼を破壊したオールスパークのエネルギーは、今や彼のパワーとなって体内をを駆け巡っている。全宇宙の征服を目指す彼にとって、障害となるものはもはやオプティマスプライムのみ。メガトロンは宿敵を打ち破るのに十分な力を持って決戦に臨む。[トイ] 完全新設計となるボディは、エイリアンタンクに変形。クローラーになった脚部や左右非対称の腕部などが再現されている。ライト&サウンドギミック搭載。肩の変形に連動して変形音が鳴る。

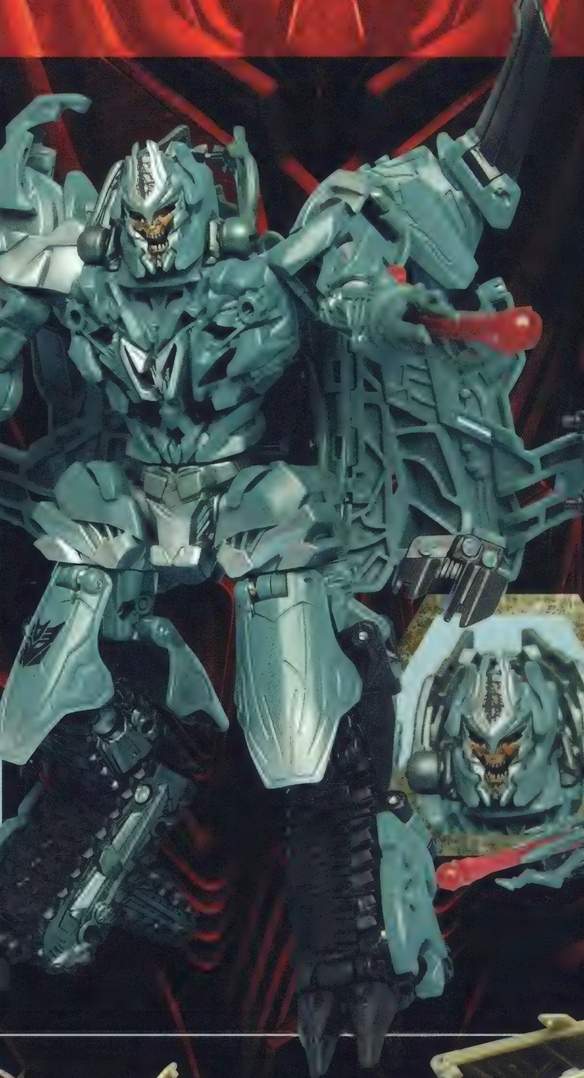
▶右腕からはミサイルを発射可能。

▼肩のパーツを移動。ボタンを押すと、ソードが展開状態になる。

IN THE MOVIE

ローレンシア海溝から新たな姿で復活を果たしたメガトロン。彼がただ1人「師」と呼ぶザ・フォールンに従い、オールスパークの知識を吸収したサムを探す。

▲腰を回すと、連動して胴体内部に備わる複数のギアが回転する。



STRENGTH 体力	10
INTELLIGENCE 知力	10
SPEED 速度	10
ENDURANCE 耐久力	10
RANK 地位	10
COURAGE 勇気	9
FIREBLAST 火力	10
SKILL 技能	9

RD-11

MEGATRON
メガトロン

[プロフィール] 機能を停止したまま、暗く、重苦しい海の底に囚われていたメガトロン。他のディセプティコンがどれほど必死に彼の残骸を捜し、犠牲を払ってきたかは彼の知るところではなく、復活した後もほとんど気にとめることはなかった。彼にとって意味があるのは、ただ彼を出し抜いた少年に対する復讐のみである。[トイ] 中型となるボイジャークラス版。変形は、エイリアンタンクの飛行形態を再現する。タンクの主砲からはミサイルを発射可能。ロボットモードの腕の形状など、より劇中に近いデザインを持つ。

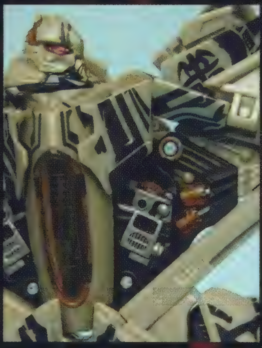
▲変形の際に右ひじを伸ばすと、連動して折りたたまれていたソードが展開する。

STRENGTH 体力	8
INTELLIGENCE 知力	4
SPEED 速度	10
ENDURANCE 耐久力	7
RANK 地位	9
COURAGE 勇気	5
FIREBLAST 火力	8
SKILL 技能	8

RD-02

STARSCREAM
スタースクリーム

[プロフィール] ディセプティコンの支配者として勝ち得た刻印を身にまとい、サイバトロン星から戻ってきたスタースクリーム。新たな軍団を引き連れ、己の野望を果たすべくその力を振るう。メガトロンを復活させるのは、その上で然るべき時が来てからでよいと考えている。[トイ] 前作同様F-22ラプターに変形。しかし新規に開発が行われたことで、両モードにおける再現度は高まっている。



▶頭部を回すと胸部のギアが連動して回転する。

▼劇中デザインに合わせ、ミサイルギミックは単装式に変更された。

IN THE MOVIE

前作ラストにて戦いを離脱。この2年の間、メガトロン亡きあとのディセプティコンを率いていた。本作でもメガトロンに怒られるシーンが目立つ。

▶実機にせまる薄さを実現したビークルモード。着陸脚の収納も可能になっている。

▲ロボットモード。頭部デザインは、G1イメージを踏襲したもの。

◀玩具オリジナルとなるスペースシップモード。プレイバリューを上げる目的で導入された。

IN THE MOVIE

サテライトモードで米国軍事衛星に侵入。コミュニケーションセンターとして、衛星軌道上から情報収集や指令の伝達を行う。

RD-04

STRENGTH・体力	4
INTELLIGENCE・知力	9
SPEED・速度	8
ENDURANCE・耐久力	5
RANK・地位	8
COURAGE・勇気	7
FIREBLAST・火力	9
SKILL・技能	9

SOUNDWAVE
サウンドウェーブ

[プロフィール] 地球の衛星軌道上に駐留するディセプティコン。射程圏内にあるあらゆる人工衛星に接続し、データ通信、気象、高解像度のスパイ写真といった情報を手に入れる。人間のシステムをひとつひとつ支配下に置いた彼は、今や人間たちの運命を弄び、その文明を完全に滅ぼすことのできる立場にある。[トイ] サテライトモードから、スペースシップモード、ロボットモードに3段変形。メガトロンや前作のプロトフォームなどと同様、地球の機械とは一線を画したサイバトロンビークルとなる。

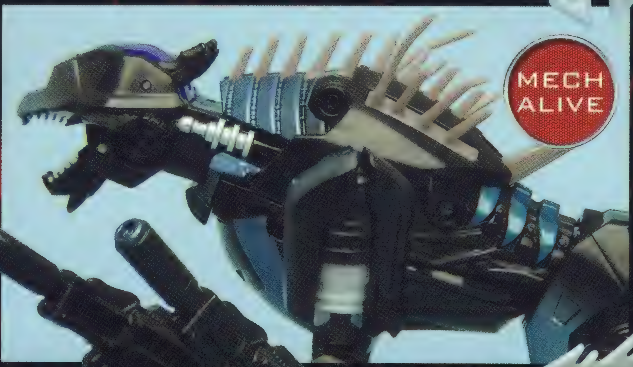
▲ミサイルは、彼が射出するラヴィッジを模したデザインとなる。

RD-13

STRENGTH・体力	6
INTELLIGENCE・知力	9
SPEED・速度	7
ENDURANCE・耐久力	7
RANK・地位	4
COURAGE・勇気	10
FIREBLAST・火力	4
SKILL・技能	8

IN THE MOVIE

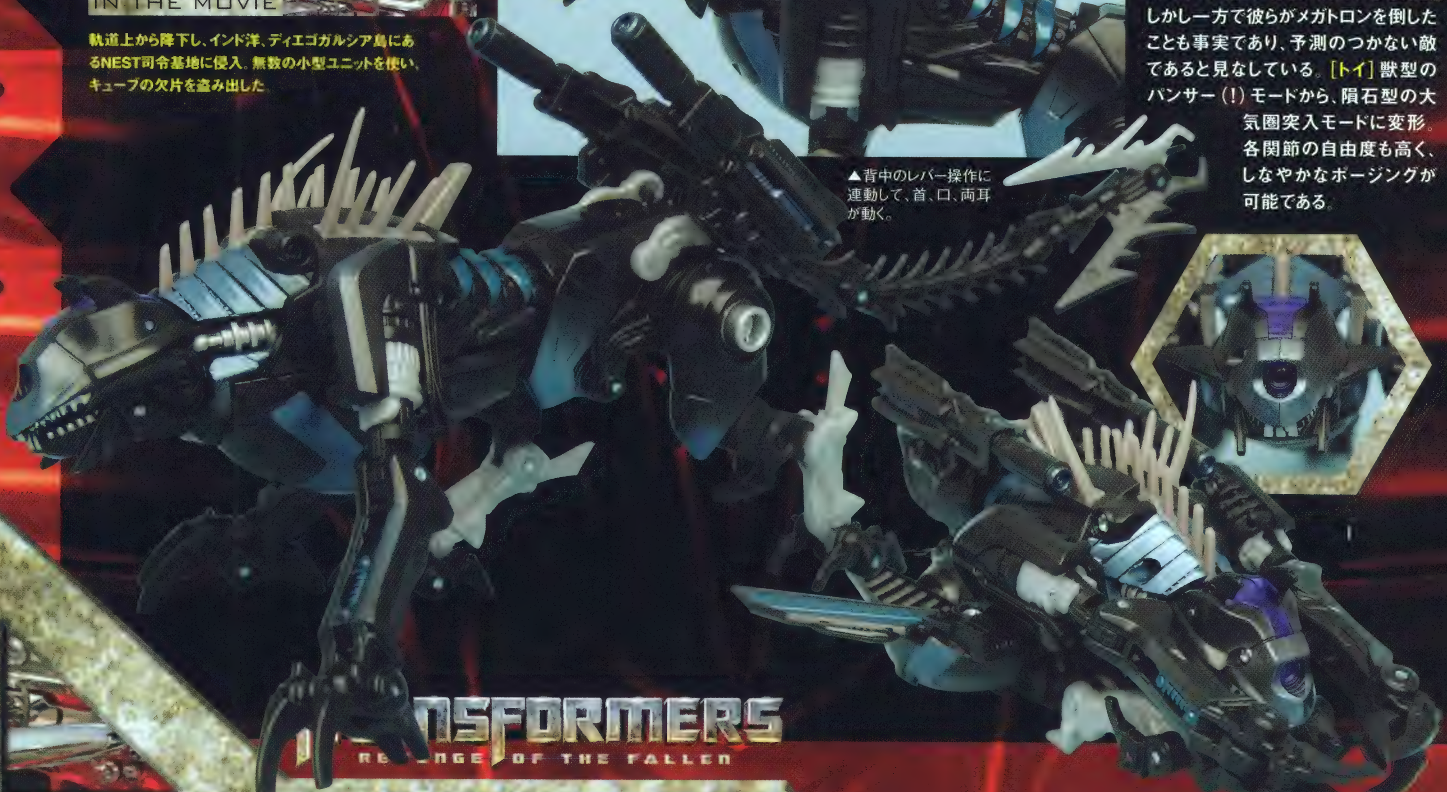
軌道上から降下し、インド洋、ディエゴガルシア島にあるNEST司令基地に侵入。無数の小型ユニットを使い、キューブの欠片を盗み出した。



▲背中のレバー操作に連動して、首、口、両耳が動く。

RAVAGE
ラヴィッジ

[プロフィール] 隠密活動を得意とする兵士。大気圏突入モードでは、音速の15倍以上のスピードで降下する。人間について集積したあらゆるデータから、彼らが弱く脆い存在であることを認識。しかし一方で彼らがメガトロンを倒したことも事実であり、予測のつかない敵であると見なしている。[トイ] 獣型のパンサー(!)モードから、隕石型の大気圏突入モードに変形。各関節の自由度も高く、しなやかなポージングが可能である。



DEMOLISHOR

デモリッシャー

[プロフィール] メガトロンが倒された後、地球にやって来たディセプティコン兵士。特に機転が利くわけではないが、退くべき時はわきまえており、新たなリーダーが現れるまで身を隠すことにした。数人の仲間たちを保護下に置き、小さな共同体を築いている。[トイ] 大型の油圧式ショベルに変形。ロボットモードは、人型を大きく外れた異形の姿となる。なお同系の姿を持つコンストラクティコン・スカベンジャーとは別人とされる。

RD-03

STRENGTH 体力	10
INTELLIGENCE 知力	6
SPEED 速度	4
ENDURANCE 耐久力	10
RANK 地位	8
COURAGE 勇気	8
FIREBLAST 火力	8
SKILL 技能	4

IN THE MOVIE

冒頭の上海シーンに登場。強引にNEST部隊の警戒線を突破し、市街に大きな被害をもたらした。

MECH ALIVE

▲腕の動きに連動して、内部のギアが回転する。

▲クローラーの前後が縮み、大きな車輪を形成する。

SIDEWAYS

サイドウェイズ

[プロフィール] サイバトロン星では密偵として活動していた兵士。戦闘は可能な限り避け、体格の大きな仲間の陰に隠れることを常とする。地球では早くから巨大コンストラクティコン・デモリッシャーと手を組み、オートボットに発見された場合に備えていた。[トイ] スポーツカーに変形。パーツ構成は前作のバリケードに近いが、変形機構はより洗練され、シャープなイメージとなった。ビークルモードの塗装も美しい仕上がりとなっている。

RD-05

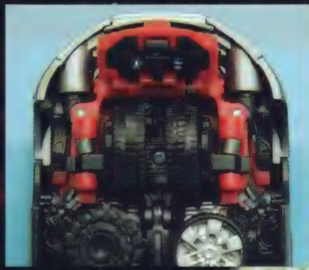
STRENGTH 体力	4
INTELLIGENCE 知力	7
SPEED 速度	7
ENDURANCE 耐久力	5
RANK 地位	3
COURAGE 勇気	4
FIREBLAST 火力	3
SKILL 技能	4

▼フロントグリルを押すと連動変形機構が作動。腹部パーツが起き上がると同時に左右の前輪が折りたたまれる。

IN THE MOVIE

劇中でのモデルはアウディ「R8」。上海の戦いではデモリッシャーが戦っている際に逃走を図る。ツインズ、アーシーらを辛うじて振り切るが……。

MECH ALIVE



▶上腕部のスリットから覗くギアは、肘の回転に連動。

STRENGTH	体力	9
INTELLIGENCE	知力	3
SPEED	速度	4
ENDURANCE	耐久力	9
RANK	地位	2
COURAGE	勇気	8
FIREBLAST	火力	4
SKILL	技能	4

RD-05

▲前脚にはスプリングを内蔵。ジャックハンマーモードでは脚の可動に連動して、シリンダーが伸縮する。

▶玩具としてのプレイバリューを鑑みて導入されたロボットモード。やはり通常の人型ではなく4つ脚の異様なスタイルとなる。

IN THE MOVIE

劇中モデルはキャタピラー「タイプD9L」。デバステーターの左脚に合体する黄色の個体と、赤色の同型個体が登場する。ジャックハンマーモードは、ホッピングのような独特の動きがインパクト大。サムの両親を囮にして、マトリクスを奪おうとした。

RAMPAGE

ディセプティコンランページ

［プロフィール］ディーゼルガスとタールの臭いを常に漂わせている兵士。何百という戦いをくぐり抜けてきた彼のトレッドは犠牲者たちの金属片で覆われ、シャーシには無数の擦り傷が刻まれている。敵を打ち倒すこと以外はほとんど何も考えていない。［トイ］ジャックハンマーモードからブルドーザーへ、さらに玩具独自の4脚ロボットモードへと3段変形。軟質素材のクローラーは、ムチのようにしならせることができる。

MIXMASTER

ディセプティコンミックスマスター

［プロフィール］化学物質と爆発物の専門家。身近にある原料から数千種類にも及ぶ毒物、爆薬、致死性のガスを作ることができる。ミサイルの弾頭やブレードに仕込む猛毒など、兵器の製造には欠かせないため、他のディセプティコンから頼りにされている。［トイ］ミキサー車に変形。さらにバトルモードを有する。コンバイナー版にはなかったドラム上の巨大なディセプティコンエンブレムも再現された。ロボットモードでは、細長い両腕にドラムカバーを装備。大盾を構えた重装兵士といった印象である。

STRENGTH	体力	6
INTELLIGENCE	知力	9
SPEED	速度	3
ENDURANCE	耐久力	7
RANK	地位	8
COURAGE	勇気	3
FIREBLAST	火力	6
SKILL	技能	9

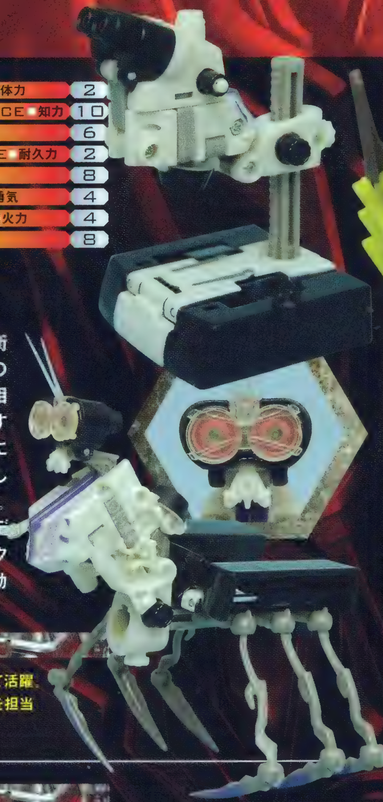
RD-12

IN THE MOVIE

劇中モデルには、マックトラック製ミキサー車を使用。他のコンストラクティコン同様、メガトロン捜索のシーンから登場する。

▲腕のカバーを動かすと、内部のメカが連動する。

▼砲台型のバトルモード。キャノン砲からミサイルを発射する。映画でもこの形態を披露している。



STRENGTH 体力	2
INTELLIGENCE 知力	10
SPEED 速度	6
ENDURANCE 耐久力	2
RANK 地位	8
COURAGE 勇気	4
FIREBLAST 火力	4
SKILL 技能	8

RD-14

SCALPEL
スカルペル

[プロフィール] ディセプティコンの衛生兵。宇宙中の何百万という生物の解剖学データベースを有している。相手に痛みを感じさせることなく分解することが可能だが、再組み立ての際にはよく部品の配置をいくつか変えてしまう。[トイ] マイクロスコープに変形。6本の脚を持つ節足動物のようなデザインで、顔の造形も昆虫風。マイクロスコープモードでは、鏡筒の上下動も可能。

IN THE MOVIE

劇中では「ドクター」と呼ばれ、まさに医者として活躍。ラヴィッジ体内から現れて、メガトロンの蘇生を担当した。

IN THE COMIC

本編未登場。『THE VEILED THREAT』および前日譚コミック『TRANSFORMERD: ALLIANCE』では、スタースクリームの指揮下、スィンドルとのコンビで登場している。

RD-08

STRENGTH 体力	8
INTELLIGENCE 知力	8
SPEED 速度	2
ENDURANCE 耐久力	8
RANK 地位	2
COURAGE 勇気	8
FIREBLAST 火力	4
SKILL 技能	6

DIRT BOSS
ダートボス

[プロフィール] 大型のディセプティコンにこき使われている下っ端の兵士。しかし胸には大きな野望を秘めており、より大きな権力を得るために、競争相手や上官を貶めようと暗躍する。[トイ] フォークリフトに変形。デザインは映画前作のビデオゲーム「トランスフォーマー THE GAME」(PLAYSTATION 3、XBOX 360他、アクティビジョン発売) に登場するフォークリフト型のドローン「スクラッパー」が基になっている。

DEAD END
デッドエンド

RD-07

STRENGTH 体力	5
INTELLIGENCE 知力	3
SPEED 速度	8
ENDURANCE 耐久力	8
RANK 地位	4
COURAGE 勇気	8
FIREBLAST 火力	7
SKILL 技能	3

[プロフィール] 常に無口な兵士で、声を出す場合も唸り声か、不気味なことを喋るのみ。補給はオートボットのボディからエネルギーを吸い取ることで行うが、相手が見つからなければ仲間のディセプティコンにも牙をむく。[トイ] スポーツカーに変形。ロボットの口は開閉することができる。変形時には胸のリアパネルと、背中のフロントウィンドウ部のパーツが連動する。

STRENGTH 体力	4
INTELLIGENCE 知力	6
SPEED 速度	6
ENDURANCE 耐久力	5
RANK 地位	8
COURAGE 勇気	10
FIREBLAST 火力	6
SKILL 技能	9

▼背中の翼を展開し、胸の機首を上げたバトルモード。

RANSACK
ランサック

[プロフィール] 遠い昔、サイバトロン星で飛行技術が開発されたばかりの頃、最初の撃墜王の1人として活躍していた兵士。かつては恐怖とともにその名を知られていた彼だが、今では全盛期を過ぎ、時代遅れの武器を持つのみである。[トイ] バイプレーン (複翼機) に変形。レトロなビークルモードに加え、骸骨をモチーフとする顔や腕のデザインが、老兵らしさを感じさせる。

RD-09

IN THE NOVEL

複翼機型のディセプティコンがノベライズ版には登場。ジェットファイアーと同じシーカーの一員であり、彼を裏切り者としてつけ狙っていた。

EJECTOR
イジェクター

[プロフィール] 家庭用のトースターから生まれたトランスフォーマー。わずかな思考能力を得たとはいえ、知っていることといえばものを焼くことのみ。あたり構わず火炎放射器で火をつけようとする。[トイ] トースターに変形。オールドファッションなクロムの生活家電が、グレムリンのような姿に変わるギャップが面白い。コンセントの尻尾も独特のアクセントになっている。

STRENGTH 体力	2
INTELLIGENCE 知力	1
SPEED 速度	3
ENDURANCE 耐久力	3
RANK 地位	1
COURAGE 勇気	10
FIREBLAST 火力	5
SKILL 技能	2

RD-15

IN THE MOVIE

デザインのベースになったのは、2007年に米国で制作されたマウンテンデューのタイアップCFに登場したトースターTF。キューブの力で暴走するサムの家のキッチン用品のなかに、そのコンセプトは活かされた。

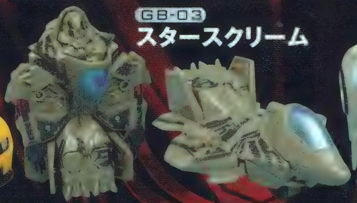
GRAVITYBOTS
グラビティボッツ

重力を利用した、新感覚の1秒変形アイテム。水平にするとビークルモード、垂直に立てるとロボットモードに自動変形する。

◀運転席が回転し、ボンネットが開き、自動変形が完了する。戻すときも自動なのがオドロキ。

GB-01 オプティマスプライム

GB-02 バンブルビー



GB-03 スタースクリーム

GB-04 サイドスワイプ

GB-05 マッドフラップ

LEGENDS
EZコレクション

シンプルかつ大胆な変形が魅力のミニフィギュア。頒布方法はブラインドボックス仕様となる。

EZ-01 オプティマスプライム
EZ-02 メガトロン
EZ-03 バンブルビー
EZ-04 スタースクリーム

EZ-05 ジェットファイアー
EZ-06 サイドスワイプ
EZ-07 デザートトラッカーラチェット
EZ-08 オートボットスプリンガー

▶映画公開前のため「エイリアン（仮）」とされたフォーレン。サウンドウェーブと合わせた「ディセプティコンセット」となる。

▶「オートボットセット」に含まれる、マッドフラップ。バンブルビーとのセットとなる。

ローソン限定
EZコレクション

『リベンジ』公開を記念しローソンのLoppiにて、未発売EZコレクションとデラックスクラスの商品を組み合わせた限定セットが販売された。

OPTIMUS PRIME
オプティマスプライム リベンジエディション

ツインブラスターオプティマスプライムのリベンジエディション。東京おもちゃショー2009にて販売が行われた。なお国内版では、漢字のプリントは省かれている。

STRENGTH 体力	10
INTELLIGENCE 知力	10
SPEED 速度	7
ENDURANCE 耐久力	10
RANK 地位	10
COURAGE 勇気	10
FIREBLAST 火力	10
SKILL 技能	9

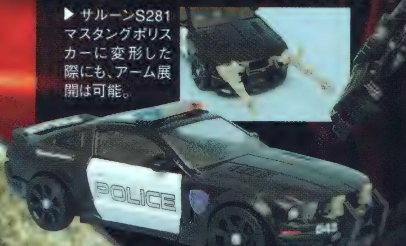
▲海外版には「上海将軍」「大将」の文字がプリントされた。

INTERROGATOR BARRICADE
インテロゲーターバリケード

[プロフィール] 映画第1作でサムに使ったプローブアームを追加したバリケードのリデコアイテムが、トイザらス限定アイテムとして登場。フロントグリル部に、新造された折りたたみ式のプローブが収まる。

STRENGTH 体力	8
INTELLIGENCE 知力	5
SPEED 速度	8
ENDURANCE 耐久力	6
RANK 地位	5
COURAGE 勇気	5
FIREBLAST 火力	5
SKILL 技能	4

▲ロボットモードではプローブを背中にセット。



▶サルーンS281マスタングポリスカーに変形した際にも、アーム展開は可能。

▲フレンジーの代わりに付属するプローブユニット。

ROBO-Q TFムービー

高さ約3.5センチの極小歩行ロボット「ROBO-Q」のトランスフォーマーバージョン。コントローラーでの操作のほか、自動で動くAIモードを搭載する。

▼ラインナップはオプティマスプライムとバンブルビーの2種。

▲充電器を兼ねるコントローラーと、専用ボールなどが付属。

TRANSFORMERS
REVENGE OF THE FALLEN

トミーダイレクト取り扱いアイテム

ロールプレイ

ヘルメット型のボイスチェンジャー。オプティマスプライムは2007年版のリペイント、バンブルビーは完全新作となる。

バンブルビー
ボイスミキサー

オプティマスプライム
ボイスチェンジャーバトルバージョン

パワーボッツ

発光・サウンドギミックを備えた大型フィギュア。メガサイズのパワーボッツには、ワンタッチアクションなど独自ギミックも追加される。

バンブルビー

メガトロン

▼簡易ビークルモード。

メガパワーボッツ
オプティマスプライム

メガパワーボッツ
デバステーター

タイタニウムフィギュア

ハスブロ社開発によるアクションフィギュアのトランスフォーマー版。本体に一部合金を使用。ビークルモードへの変形機構を内蔵する。今回発売されるアイテムは、米国ではTARGET限定となる。

オプティマスプライム
映画イメージにリペイントされた『THE WAR WITHIN』版オプティマスプライム。

スラスト
『THE WAR WITHIN』版スタースクリームのリペイント。

ホットゾーン
米国でスーパーファイヤーコンボイとしてリリースされたアイテムの、リペイント版。カラーリングや名称は、G1キャラクター・ホットスポットから。

ミスターポテトヘッド バンブルスパッド

2007年のオプティマスに続き、ポテトヘッド版バンブルビーが登場！

アルティメットバンブルビー バトルチャージ

2007年版アルティメットバンブルビーの頭部とフロントを改修したリニューアルバージョン。サウンドも一部変更となる。

◀頭部に内蔵したフェイスマスクを展開可能。

ロボットレプリカ

劇中イメージのロボットモードを再現する非変型アクションフィギュア。

オプティマスプライム / スタースクリーム / アイアンハイド / オートボットラチェット

バンブルビー / メガトロン / ジェットファイアー / スキッズ

ビークルシングルパック

ビークルモードを忠実に再現したミニカーシリーズ。底面にロボットモードの姿が刻まれている。

オプティマスプライム

▲レリーフ状のロボットモード。

バンブルビー（2007バージョン） / サイドウェイズ / メガトロン

ロングハウル / オートボットラチェット / アイアンハイド / バンブルビー（2009バージョン）

キーチェーン

ミニフィギュアのラインナップは、オプティマスプライムとバンブルビー、メガトロン、スタースクリームの4種。オプティマスはパワーアップ状態での立体化。

2009ムービートイリスト MOVIE TOY LIST

※価格は全て税込。

発売月	製品No.	名称	海外名	価格	備考
オートボット　AUTOBOTS					
5月	RA-01	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	7140	
5月	RA-02	アイアンハイド	IRONHIDE	3990	
5月	RA-03	バンブルビー	BUMBLEBEE	2415	
5月	RA-04	サイドスワイプ	SIDESWIPE	2415	
5月	RA-05	オートボットブレイクアウェイ	BREAKAWAY	2415	
5月	RA-06	ロールバー	ROLL BAR	1260	
5月	RA-07	オートボットノックアウト	KNOCK OUT	1260	
6月	RA-08	デザートトラッカーラチェット	DESERT TRACKER RATCHET	3990	
6月	RA-09	オートボットウィーリー	AUTOBOT WHEELIE	2415	
6月	RA-10	スキッズ	AUTOBOT SKIDS	2415	
6月	RA-11	クロミア	CHROMIA	2415	
6月	RA-12	デプスチャージ	DEPTHCHARGE	1260	
8月	RA-13	ジェットファイアー	JETFIRE	7140	
8月	RA-14	カノンバンブルビー	CANNON BUMBLEBEE	2415	
8月	RA-15	マッドフラップ	MUDFLAP	2415	
8月	RA-16	デューンランナー	DUNE RUNNER	1260	
9月	RA-17	ストラトスフィア	STRATOSPHERE	3990	
9月	RA-18	オートボットブレイズマスター	BLAZEMASTER	2415	
9月	RA-19	ジョルト	JOLT	2415	
9月	RA-20	スキッズ&マッドフラップ	AUTOBOT SKIDS & MUDFLAP	2415	
10月	RA-21	バンブルビー&サム・ウィトウィッキー	BUMBLEBEE & SAM WITWICKY	5250	
10月	RA-22	サイドスワイプ&エップス軍曹	SIDESWIPE & TECH SERGEANT EPPS	5250	
10月	RA-23	アーシー	ARCEE	2415	
11月	RA-24	バスターオプティマスプライム	——	8190	アジア地域限定
11月	RA-25	スキッズ&ミカエラ・ベインズ	SKIDS & MIKAELA BANES	5250	
7月		オプティマスプライム リベンジエディション	OPTIMUS PRIME	4000	東京おもちゃショー限定
10月		スワーブ	SWERVE	2625	アマゾン限定
ディセプティコン　DECEPTICONS					
5月	RD-01	メガトロン	MEGATRON	7140	
5月	RD-02	スタースクリーム	STARSCREAM	3990	
5月	RD-03	デモリッシャー	DEMOLISHOR	3990	
5月	RD-04	サウンドウェーブ	SOUNDWAVE	2415	
5月	RD-05	サイドウェイズ	SIDEWAYS	2415	
5月	RD-06	ディセプティコンランページ	RAMPAGE	2415	
5月	RD-07	デッドエンド	DEAD END	1260	
5月	RD-08	ダートボス	DIRT BOSS	1260	
6月	RD-09	ランサック	RANSACK	1260	
7月	RD-10	フォーレン	THE FALLEN	3990	
8月	RD-11	メガトロン	MEGATRON	3990	
8月	RD-12	ミックスマスター	MIXMASTER	3990	
8月	RD-13	ラウィッジ	RAVAGE	2415	
8月	RD-14	スカルペル	SCALPEL	1260	
9月	RD-15	イジェクター	EJECTOR	1260	
9月	RD-16	デバステーター	CONSTRUCTICON DEVASTATOR	15750	
10月	RD-17	ロングハウル	LONG HAUL	3990	
10月	RD-18	グラインダー	GRINDOR	3990	
8月		インテロゲーターバリケード	INTERROGATOR BARRICADE	2499	トイザらス限定
8月		サウンドウェーブブラックバージョン	——	3000	キャラホビ限定
10月		ストークスコルポノック	STALKER SCORPONOK	2499	トイザらス限定
		デッドエンド	DEAD END	2625	トイホビーマーケット限定
グラビティボッツ　GRAVITY BOTS					
6月	GB-01	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	2415	
6月	GB-02	バンブルビー	BUMBLEBEE	2415	
6月	GB-03	スタースクリーム	STARSCREAM	2415	
6月	GB-04	サイドスワイプ	SIDESWIPE	2415	
6月	GB-05	マッドフラップ	MUDFLAP	2415	
EZコレクション　LEGENDS					
6月	EZ-01	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	525	
6月	EZ-02	メガトロン	MEGATRON	525	
6月	EZ-03	バンブルビー	BUMBLEBEE	525	
6月	EZ-04	スタースクリーム	STARSCREAM	525	
6月	EZ-05	ジェットファイアー	JETFIRE	525	
6月	EZ-06	サイドスワイプ	SIDESWIPE	525	
6月	EZ-07	デザートトラッカーラチェット	AUTOBOT RATCHET	525	
6月	EZ-08	オートボットスプリンガー	AUTOBOT SPRINGER	525	
		マッドフラップ	MUDFLAP	——	ローソン限定セット
		エイリアン（フォーレン）	THE FALLEN	——	ローソン限定セット
EZコレクションデバステーター　LEGENDS DEVASTATOR					
7月	D1	ディセプティコンオーバーロード	DECEPTICON OVERLOAD	630	アジア地域限定
7月	D2	ディセプティコンミックスマスター	DECEPTICON MIXMASTER	630	アジア地域限定
7月	D3	ディセプティコンランページ	DECEPTICON RAMPAGE	630	アジア地域限定
7月	D4	スカベンジャー	SCAVENGER	630	アジア地域限定
7月	D5	スクラッパー	SCRAPPER	630	アジア地域限定
7月	D6	ロングハウル	LONG HAUL	630	アジア地域限定
7月	D7	ハイタワー	HIGHTOWER	630	アジア地域限定
ROBO-Q T/Fムービー					
5月		オプティマスプライム	——	4200	
5月		バンブルビー	——	4200	

発売月	カテゴリー	名称	海外名	価格
トミーダイレクト取り扱い商品				
5月	ロールプレイ	オプティマスプライム ボイスチェンジャー バトルバージョン	OPTIMUS PRIME VOICE CHANGER	5229
5月	ロールプレイ	バンブルビー ボイスミキサー	BUMBLEBEE VOICE MIXER	5229
6月	フィギュア	アルティメット バンブルビー バトルチャージ	ULTIMATE BUMBLEBEE BATTLE CHARGED	13440
5月	パワーボッツ	バンブルビー	BUMBLEBEE	3150
5月	パワーボッツ	メガトロン	MEGATRON	3150
9月	メガパワーボッツ	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	5229
9月	メガパワーボッツ	デバステーター	CONSTRUCTICON DEVASTATOR	5229
5月	ロボットレプリカ	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	2079
5月	ロボットレプリカ	スタースクリーム	STARSCREAM	2079
5月	ロボットレプリカ	アイアンハイド	IRONHIDE	2079
5月	ロボットレプリカ	オートボット ラチェット	AUTOBOT RATCHET	2079
6月	ロボットレプリカ	バンブルビー	BUMBLEBEE	2079
6月	ロボットレプリカ	メガトロン	MEGATRON	2079
6月	ロボットレプリカ	ジェットファイアー	JETFIRE	2079
6月	ロボットレプリカ	スキッズ	AUTOBUT SKIDS	2079
6月	タイタニウム	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	3675
6月	タイタニウム	スラスト	THRUST	3675
6月	タイタニウム	ホットゾーン	HOT ZONE	3675
6月	ミスター ポテトヘッド	バンブルスパッド	BUMBLE SPUD MR.POTATO HEAD	2079
6月	キーチェーン	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	892
6月	キーチェーン	バンブルビー	BUMBLEBEE	892
6月	キーチェーン	メガトロン	MEGATRON	892
6月	キーチェーン	スタースクリーム	STARSCREAM	892
8月	ビークル シングルパック	オプティマスプライム	OPTIMUS PRIME	819
8月	ビークル シングルパック	バンブルビー（2007バージョン）	BUMBLEBEE (2007)	819
8月	ビークル シングルパック	サイドウェイズ	SIDEWAYS	819
8月	ビークル シングルパック	メガトロン	MEGATRON	819
8月	ビークル シングルパック	オートボット ラチェット	AUTOBOT RATCHET	819
8月	ビークル シングルパック	アイアンハイド	IRONHIDE	819
8月	ビークル シングルパック	バンブルビー（2009バージョン）	BUMBLEBEE (2009)	819
8月	ビークル シングルパック	ロングハウル	LONG HAUL	819

TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN

［第2特集］MOVIE MOVEMENT

メガヒットムービーのワールドプレミアは、トランスフォーマーの聖地・日本で執り行われた。ここでは映画が生み出す一大ムーブメントを中心に、その詳細に迫ってみた。映画を経て進化するトランスフォーマーの最新情報もお届けしよう。

AUTOBOT × HUMAN

ACTION FIGURE Interacts with ROBOT!

新たな進化。ヒューマンアライアンス

第1作『トランスフォーマー』から2年。
オプティマスプライムらオートボットと人類は、密かに同盟関係を築き、ディセプティコン残党と戦っていた。
ヒューマンアライアンス（人類同盟）――それがトランスフォーマーの新たなムーブメント。
映画のドラマをフィードバックした、新しい玩具カテゴリーの誕生だ。

BUMBLEBEE SAM WITWICKY

バンブルビー&サム・ウィトウィッキー

ヒューマンアライアンス第1弾アイテムとなるのは、人間側の主役サム・ウィトウィッキーと、バンブルビーの名コンビ。互いに深い絆と友情で結ばれた彼らは、まさにヒューマンアライアンスのコンセプトに相応しいキャラクターである。ビークルモードは通常のアイテム同様、カマロコンセプト。運転席にサムを乗せたまま、ロボットモードへの変形が可能となっている(サムが座るシートは、バンブルビーの左腕に移動するのだ!)ボディがサイズアップしたことで、デザインの再現度が向上。さらにはフィギュアと組み合わせて遊べるギミックが各部に備わる、凝ったアイテムとなっている。

RA-21

▶印象的なフェイスマスクもパーツサシカエなしで再現。頭頂部からスライド展開する。

▼通常版との比較。サイズアップしたことで、より劇中のデザインに近いスタイリングを実現する。

▼右肩にはランチャーを装備。首のうしろにも火器を備える。フィギュアは背中のステップを使い、肩に立たせることが可能。

▲右腕のパルスミサイルは、予備弾を腕に装着可能。左腕に備わるシートは、背もたれからキャノンが展開して砲座となる。設定通り翼のように斜めに広がるドアは、こだわりの箇所。

▼ハンドルを握ってシートに座るサム。シートのピンで固定される。

▼身長6センチほどのサム・フィギュアは、首と肩、胴、股、膝の8カ所が可動。バンブルビーの手にあるピンを使って立たせられる。ちなみにバンブルビーの指は親指と残りの指が独立して動く。

▼可変機構を有しながら、ダッシュボードの再現性も高い。足元のクリアランスにも注目。

▲ビークルモードにおける通常版との比較。サイドのカマロロゴなど、塗装箇所も増えている。

◀フィギュアとビークルの対比。並べたときに不自然にならないサイズが求められた。

▲ビークルモード。運転席にサムが搭乗可能。助手席にほかのフィギュアを乗せることもできる。

SIDESWIPE TECH SERGEANT EPPS

サイドスワイプ＆エップス軍曹

RA-22

オートボットとしてアイアンハイドのもとNEST部隊に参加する新戦士サイドスワイプと、エップス軍曹のコンビ。パッケージのテキストによると、地球に来たばかりのサイドスワイプに、チームでの戦闘技術を教え込んだのがエップスであったという。いまでは彼らはよき戦友である。戦闘経験に裏付けられたエップスの的確な指示は、サイドスワイプに敏捷性と狡猾さ、そして破壊的な攻撃力を与える!

▼サイドスワイプの場合、フィギュアを乗せたまま変形させると運転席が背面に移動。そのまま肩のガンナーズシートになる。ミサイルランチャーは助手席が変形したもの。変形時に前後が入れ替わるため、シートの左右も逆になる。

▲両腕のブレードは、拳を外側にスライドさせるとタイヤと接続される構造。タイヤを回すとブレードごと手首が回転する。フィギュア用ピンは前腕上面に備わる。

◀ 地を這うような低い車高のボディに、詰め込まれた変形機構。しかしながらシートのスペースは確保されている。

▲2ドアはガルウイング式。

▲ビークルモードはコルベット・スティングレイ・コンセプト。ボディは全塗装。ヘッドライトや窓ガラスにはクリアパーツを使用する。前後ホイールの隙間からは、赤いブレーキキャリパーが覗く。

◀ エップスを乗せた状態。特徴的なリアのスプリットウインドウもクリアパーツ。

▶通常版との比較。一回り大きいヒューマンアライアンス版は、ラジエーターやボンネット前部のコルベットエンブレムも塗装されている。

PACKAGE

開口部が大きくとられたパッケージ。クリアウインドウの上面には、オートボットエンブレムがモールドされている。ヒューマンアライアンスのコンセプトを示すべく、左側に玩具の写真、右側にパートナーとなる人間の写真が印刷される。

※写真は海外版。

AUTOBOT SKIDS MIKAELA BANES

スキッズ&ミカエラ・ベインズ

RA-25

自分を優秀だと考えるスキッズだったが、運転技術はミカエラのほうが優れていた。ミカエラがハンドルを、スキッズがエンジンを担当することで、彼らは最強のコンビとなる。他の2体と比べてもコンパクトなボディを持つスキッズには、ミカエラに加えてアーシーが付属。プレイバリューの高い製品となっている。

◀背中にステップがあり、ミカエラをセット可能。収納式のガトリングガンが備わる。

▶手のひらのピンにミカエラを立たせた状態。腕のシートをたためるのが特徴となる。

▲右腕のシートは、ミサイルランチャーの銃座。指はバンブルビー同様、親指とその他の指がそれぞれ可動する。

▲頭を押し込むと、口が開閉。騒々しいキャラクターにふさわしいギミックといえよう。

ARCEE

アーシー

フィギュアとスケールを合わせるため、通常版よりも小型に造られたアーシー。シンプルな構造だが、一輪車状のロボットモードからビークルモードに変形する。

▲ライディングポーズをとらせたミカエラを乗せることが可能。

▲ビークルモードはシボレービートコンセプト。フロントのシボレーエンブレムやヘッドライト内部など、細部まで再現されている。

▼ドアはスライドして開閉するバイナルテック的構造。ハンドルまわりもそれらしいディテールが備わる。

▶ミカエラをシートにセット。乗せたまま変形させると、シートは左腕に移動する。

▲2体のオートボットとフィギュアのセット。パッケージに特に3人の関係性は記されていない。

▲通常版との比較。

REVENGE STORY

舞台も世界規模に拡大し、前作を超えるスケールのバトルが展開する『トランスフォーマー／リベンジ』。娯楽大作映画としても超一流。そして、そのエッセンスは確かに「トランスフォーマー」であった。

STORY

トランスフォーマーの到来から2年、米国政府とオートボットは協定を結び、極秘の特殊国際部隊「NEST」を創設、協力体制を築いていた。彼らの目的は、今なお各地に潜伏し続けるディセプティコン残党の排除。しかし上海の戦闘における被害の大きさを憂えた大統領は、部隊にギャロウェイ補佐官を差し向けた。ギャロウェイはオプティマスに問う。オートボットの存在が、ディセプティコンの攻撃を招いているのではないかと……。

一方、かつての戦いでオートボットを救った青年サム・ウィトウィッキーは、大学への進学を決めていた。荷造りを進めるなか、古着のポケットからキューブの欠片を見つけたサムは、それに触れてしまう。その瞬間、サムの脳裏には無数のシンボルが浮かび上がるのだった。やがて大学での新生活を始めるサムだったが、初めての講義でサムは突然取り乱し、人間の理解が及ばぬ次元についての知識を語り出す。幻覚のように浮かび上がるシンボルに、サムは翻弄されてゆく。

その頃、アメリカの軍事衛星を乗っ取ったサウンドウェーブからの情報により、メガトロンの投棄地点はディセプティコンの知るところとなっていた。ラヴィッジがNESTのディエゴガルシア基地から盗み出した欠片を使い、メガトロンを復活させる計画は成功のうちに終わる。甦ったメガトロンはすぐさま地球を飛び立つ。彼の師であり、ディセプティコンの始祖でもある「ザ・フォールン」に教えを請うためであった。

ザ・フォールンはメガトロンに対し、オールスパークの本質たる知識は失われておらず、サムの中に吸収されたのだと告げる。知識のもたらすもの、それは彼らトランスフォーマーの種族存続の鍵を握る「エネルゴン」への道標であった。かくして、サムは望むと望まざるとにかかわらず、再びオートボットとディセプティコンの戦いに巻き込まれていくことになる。

CHECKPOINTS

●オールスパーク

オールスパークの知識がサムの頭の中に宿る描写は、マーベルコミック版のエピソードを彷彿とさせる。コミックにて人間サイドの中心キャラクターを務めるバスター・ウィトウィッキー少年は、クリエーション・マトリクス（コンボイだけが持つ機械に生命を与えるプログラム）を一時預かったことがあるのだ。

●人間トランスフォーマー

人間（や怪物）の姿を模したトランスフォーマーを「プリテンダー」と称する。日本では人間に変身するトランスフォーマー。米国設定においては、巨大な人間型アウターシェルをまとったトランスフォーマーであり、その姿は巨人として描かれた。コミックやノベライズ版によると、今回の映画に登場するプリテンダーは、ホンダ製の人型アニマトロニクスをスキャンしたもの。「無機物をスキャンしてその姿に擬態する」というルールを崩すことなくプリテンダーを再現している。

●ジェットファイアー

シーカーとして地球に派遣されたディセプティコンの傭兵ジェットファイアー。しかし彼は戦いに嫌気が差してオートボット側に寝返る。アニメ第1作『戦え！超ロボット生命体トランスフォーマー』に登場するスカイファイアー（ジェットファイアーの和名）は科学者であり、太陽系調査を行っていたところ地球に墜落。現代に復活してからは一時はデストロンに属するも、やはり戦いを嫌いサイバトロンに寝返っていた。どことなく類似する設定ではないだろうか。

●デバステーター

『リベンジ』登場トランスフォーマーにおけるテーマの

ひとつ「合体」。これは映画第2作の目玉として、奇しくもタカラトミーやハスブロのみならず、映画スタッフも温めていたアイディアであった。通常のモデルの10倍は複雑だというデバステーターの合体は、今回の映画における最も困難な作画シーンとなった。

●オプティマスのパワーアップ

司令官が合体によりパワーアップするのは、日本オリジナルシリーズである『トランスフォーマー 超神マスターフォース』(1988)のゴッドジンライが元祖。従来、個性を重んじる米国に「合体」という要素は馴染まないとも言われていたが、海外において現在のブームの起点となった『トランスフォーマー　カーロボット』以降は、司令官合体を中核に合体要素も定着化。『超ロボット生命体トランスフォーマー　マイクロン伝説』ではコンボイとの合体キャラクターにジェットファイヤーが登場している。

●ザ・フォールン

「フォールン」という名称がトランスフォーマーに登場したのは、2003年に発表されたドリームウェーブ社のコミック『THE WAR WITHIN: THE DARK AGES』。創造神プライマスによって創られた13体のオリジナルトランスフォーマー。その1体でありながら、プライマスを裏切り、ユニクロンに与した裏切り者とされている。ちなみに映画における「7人のプライム」のくだりも、これらのエピソードが基と推察される。事実ノベライズ版では「13人のプライム王朝」と描写されていた。

IDW版トランスフォーマームービーコミック リベンジ編

『トランスフォーマー／リベンジ』の海外版公式コミックについて紹介していこう。前号でも少し触れた通り、刊行元はG1シリーズやビーストウォーズなどのコミックに現在携わるIDW(Ideas & Design Works)。プリクエル(前日譚)は2編用意されており、前作後日譚『THE REIGN OF STARSCREAM』から映画冒頭までの展開を描いた『ALLIANCE』と、平和に暮らしていたトランスフォーマーの間に戦争が起こる過程を描いた『DEFIANCE』を発売。加えて映画本編のコミカライズ版である『ADAPTATION』も刊行されている。

●ストーリー [プリクエル:アライアンス] セクター7に捕獲されていたディセプティコン兵士レッケージの暴走事件を経た後、オートボットと地球人は秘密組織NESTを結成する。一方スタースクリームは、かつて多くの仲間とともに行方不明になっていたサウンドウェーブとの通信を回復し、新たな増援を地球の各地に潜伏させていた。

[プリクエル:ディファイアンス] 遠い昔、防衛を司るメガトロンと政務を司るオプティマスによる統治のもと、サイバトロン星は平和を保っていた。しかし古代の遺跡を発掘中に発見された遺物が、メガトロンに変化をもたらす。彼に起きた異変の原因を探るうちに、オプティマスは伝説とされていたプライム王朝の実在と、自分がプライムの1人であることに気付いていく。

▲TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN:MOVIE PREQUEL ALLIANCE TPB 2009年6月発行

▲TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN:MOVIE PREQUEL DEFIANCE TPB 2009年6月発行

▲TRANSFORMERS REVENGE OF THE FALLEN: MOVIE ADAPTATION TPB 2009年6月発行

至高の

1／1バンブルビー出現！

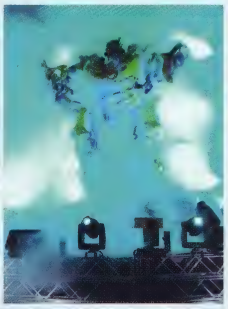
ワールドプレミア!!

映画公開に先駆けて、日本で催された『トランスフォーマー／リベンジ』のワールドプレミア。
数々のサプライズが用意された至高の前夜祭における熱狂と興奮を振り返ってみよう。

さる6月8日、全世界に先駆けて開催された『トランスフォーマー／リベンジ』のワールドプレミア。トランスフォーマー生誕の地である日本で、その記念すべき"凱旋帰国"を祝おうという趣向だ。会場となった六本木ヒルズアリーナには、この日のために来日していたマイケル・ベイ監督や主演俳優のシャイア・ラブーフをはじめとするメインキャストが集結。多くのマスコミと観客が見守る中、各界から招かれた日本人セレブを含めた華々しいレッドカーペットが繰り広げられてゆく。

そしてステージに目を移すと、そこにはあの黄色いカマロが……。次の瞬間、大音響とともに激しい火花が散り、フラッシュライトとレーザー光線が目まぐるしく飛び交い始めた。ディセプティコンの急襲というシチュエーション演出である。そして観客たちは事前に配布されたミラーキューブを掲げ、暗転したステージに向かって彼の名を叫ぶ。「バンブルビー!」——もうもうたるスモーク越しにヘッドライトが明滅し、やがて威容を現す実物大バンブルビー。この日、会場の熱狂と興奮が最高潮に達した瞬間であった。

▶ステージ上に置かれていたのは、バンブルビーのビークルモード「シボレーカマロ コンセプト」。

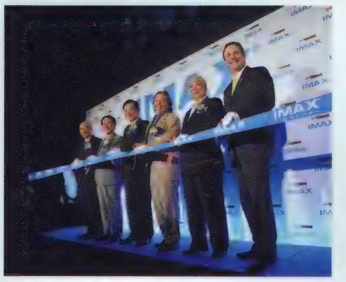


◀▼この日のために準備された1／1バンブルビー。全高6.7メートル、重量4.5トンにも及ぶ重厚な造形物だ。可動変形こそしないものの、頭部や脚部などは極めて忠実に再現されている。

▲レッドカーペットには、芸能界・スポーツ界などから招かれた旬の著名人たちが続々と登場。トランスフォーマーの故郷・日本におけるワールドプレミアという記念イベントを華やかに彩った。

▲ステージでは監督&キャストによるトーク、フォトセッションと続き、もうひとつのメインイベントへと移ってゆく。トランスフォーマの生みの親ともいうべきタカラ創設者・佐藤安太氏からベイ監督への記念品授与である。

IMAXオープニングセレモニー



高解像度の専用カメラによって撮影した美麗な映像を、2台のデジタルプロジェクターによって全面に広がる大型スクリーンに投影。さらに高度な音響システムも加わり、これまでにない映像体験を実現する新世代シアターが、IMAXデジタルシアターである。その栄えあるオープニング作品として、『トランスフォーマー／リベンジ』が抜擢。公開日前日となる6月18日に、109シネマズ川崎にてシアターの完成披露セレモニーとIMAX版『リベンジ』オープニング上映が行われた。

▲IMAX&トランスフォーマーの記念切手シート。

来日記者会見

▲左より、ラモン・ロドリゲス、ジョシュ・デュアメル、ミーガン・フォックス、マイケル・ベイ、シャイア・ラブーフ、タイリース・ギブソン、イザベル・ルーカス。

マイケル・ベイ（監督／製作総指揮）

「皆が感じていない、感じられないことを一生懸命に想像する、ということを自分の課題にしていた。そのために必要なのはイマジネーションを持つことだ。目の前には存在しないものを想像して演技するという意味では、俳優たちは素晴らしい仕事をしたと思う。ピラミッドの上で空撮したのはこの映画が初めてということだ。感激のあまり、ジョン・タトゥーロは泣いていたよ。今回もVFXはたくさん使った。実写で撮ってから、アニメーション化していったので、この作業には1年以上を要した」

シャイア・ラブーフ（サム・ウィトウィッキー役）

「ジェットファイアーのロケ地は、映画『アラビアのロレンス』と同じ場所でとても興奮した。ミーガンと空母に乗ったことは凄く印象的な出来事だ。(セクシーな)ミーガンが空母に乗っているってことは全くありえないことだからね」

ミーガン・フォックス（ミカエラ・ベインズ役）

「(屋根から飛び出すシーンで)ダイナマイトが仕掛けられていてひどく緊張したわ。マイケルは自分のいるところからその状況が見えるわけはないのに、『大丈夫』と言い切るの」

(2009年6月9日、新宿パークタワーホールにて)

YANASE meets BUMBLEBEE バンブルビー日本上陸!

去る6月13日・14日、ヤナセグローバルモーターズGM東京支店にて、シボレーカマロ（トランスフォーマーver.）の特別展示が行われた。これはニューカマロ国内導入と映画公開を記念したもの。会場となったショールームでは、映画の予告編やワールドプレミアの映像も流された。ヤナセでバンブルビーに出会う瞬間、トランスフォーマーが現実になる。

▲フロントに輝くシボレーの「ボウタイマーク」。蝶ネクタイをモチーフにしている。

▲美しくレイアウトされたエンジンルーム。中央にもシボレーマークが備わる。

▲まさに「宇宙船のような」未来感溢れるダッシュボード。オーディオはUSB対応。

今回ショールームに展示された車両は、ワールドプレミアなどにも使用されたもの。北米向け車両をベースに、『リベンジ』版の塗装やフロントデザインの違いをステッカーで処理している。

1967年に誕生したシボレーカマロは、米GM（ゼネラルモーターズ）社を代表する2ドアクーペである。日本に正規輸入が行われるようになったのは、2代目カマロから。前作でバンブルビーがスキャンした中古車が、その2代目である。そしていわゆるニューバンブルビーが、2006年に発表されたカマロ・コンセプト。レトロテイストを取り入れながらワイルドなボリューム感あふれるデザインは、まさに「アメ車」。マッスルカーでありながら、環境にも配慮がなされた燃費の良さも特徴となる。

コンセプトモデルはその後正式に生産が決定。外観はコンセプトをほぼ踏襲し、カマロとしては5代目になる2010年モデルとなって、今年から販売が開始された。すでに全世界でバックオーダーを2万台抱えるとも言われており、人気の高さがうかがえる。『トランスフォーマー』が、その人気に貢献していることは間違いないだろう。待望の日本導入は秋。正規輸入はGMアジア・パシフィック・ジャパンが行い、ヤナセグローバルモーターズでも販売予定となる。ヤナセショールームでバンブルビーに会える日も、近いのかもしれない。

SPEC シボレーカマロ（5th）

※写真は全て北米仕様。正規輸入車は国内仕様に合わせ一部が変更になる予定。

■共通仕様
ボディ:2ドアクーペ
乗員定数:4名（2+2）
トランスミッション:
6AT（ステアリング・タップシフト付）
駆動方式:FR
左ハンドル
全長:4840mm
全幅:1915mm
全高:1415mm

■CAMARO LT RS
販売予定価格:430万円
エンジン:LLT V6 3.6L（直噴）
出力:224kW［304PS］

■CAMARO SS RS
販売予定価格:535万円
エンジン:L99 V8 6.2L（可変気筒システム付）
出力:299kW［406PS］
ブレンボ社製ブレーキシステム（前後4ピストン）装備

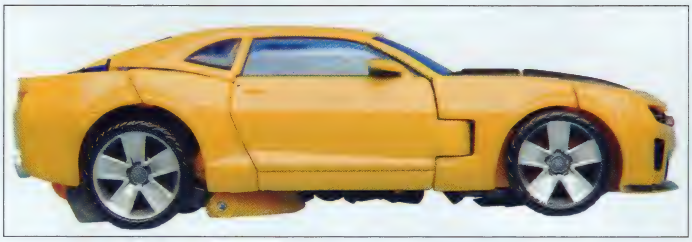
▲ドアの手前には「CAMARO」の文字。

SIDE

FRONT

REAR

BUMBLEBEE



REVENGE
ART GALLERY

『リベンジ』に合わせ、描き下ろされた精密イラストの数々。現実と虚構がバランスよく織り交ぜられてデザインされたトランスフォーマーたちは、ロボットデザインの新たなムーブメントを感じさせるものだ。

OPTIMUS PRIME

80年代のアニメでは、「コンボイ司令官」の名で知られる「サイバトロン」のリーダー。前作と基本的にデザインの変化はない。ただし標準装備は、大型のイオンブラスターからエナジーブレードに変更。2年に及ぶ戦いを経たためか、全身には激しいウェザリングが施されている。なお設定上、映画版トランスフォーマーは、変形してもその質量は変化しない。無数のパーツが複雑に絡み合うように人の姿を成したとき、意外と隙間が存在するのがデザイン上の特徴といえよう。

BUMBLEBEE

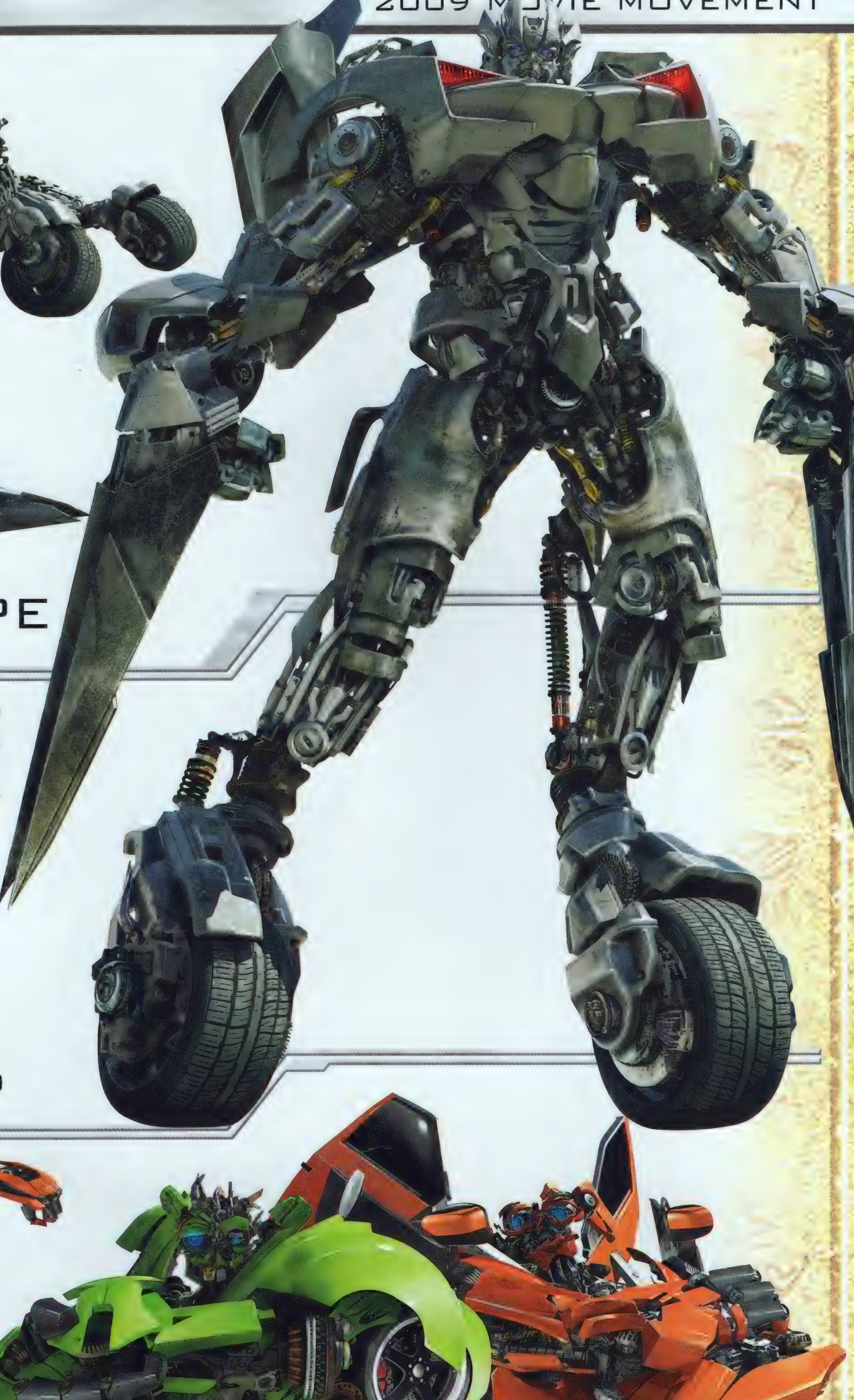
アニメでは黄色いフォルクスワーゲンに変形し、「バンブル」の名で親しまれた人類のよき友。ビークルモードに使用される実車プロップが『リベンジ』用にフロントまわりをリニューアルしたため、胸部のデザインが若干変化している。ミサイルランチャーを肩に装備する「カノンバンブルビー」仕様のイラストなどには、バトルモードのフェイスマスクが描かれる。

IRONHIDE

前作のラストでレノックスと協力関係を築いたアイアンハイドは、NEST部隊においても彼と共に中核を成している。左右の腕には、黒光りする自慢の武器を携行。猛獣の意匠を感じさせる頭部や胸部デザインが面白い。アニメでは赤いワンボックスカーに変形していた。

RATCHET

かつてアニメで白い救急車だったラチェットは、映画ではレスキュー仕様のハマーH2に変化。無数のランプが特徴となる。『リベンジ
用イラストでは映画のイメージに合わせてプロポーションがスリムに調整されたほか、細部のディテールがリファインされている。



SIDESWIPE

機能を感じさせるデザインが、『リベンジ』新キャラクターの特徴のひとつ。スピーディでスタイリッシュなサイドスワイプは、足がタイヤで両腕にはブレードを装備。下半身のサスペンションアームや油圧シリンダーも、敏捷性を感じさせる。なおアニメでは「ランボル」と呼ばれていた。

SKIDS& MUDFLAP

スキッズとマッドフラップは、双子のオートボットという特異な存在。マイケル・ベイ監督もお気に入りというコミカルキャラクターとして、映画において抜群の存在感を示した。カートゥーンにおけるネズミやサルのような頭部デザインがインパクト大。胸部のヘッドライトもコミカルなキャラクター性に貢献している。過去同名のトランスフォーマーは存在したが、あまり共通項はない。

MEGATRON

アニメではワルサーP38アンクルセットに変形。「破壊大帝メガトロン」の名で知られる「デストロン軍団」のリーダーである。米国の安全基準から実銃をモチーフとする玩具が難しいことに加え、映画における質量保存の設定から、変形はエイリアンジェット（サイバトロンモード）となった。キューブの力とコンストラクティコンの1体を補修部品として復活したメガトロンの新しいモードは、エイリアンタンク。足裏の履帯を駆使してスタースクリームに罰を与える姿が印象的だった。

STARSCREAM

スマートなF-22が猿人のようなプロポーションに変形するスタースクリーム。複雑な形状のロボットモードでは分かりづらいが、ボディにはエイリアンタトゥーが追加されている。腕に備える武器は2種類。アニメではデストロンナンバー2を自称する自信家であり、常にメガトロンに叱られていた。

RAVAGE

アニメではサウンドウェーブの部下「ジャガー」の名で知られる兵士。映画ではパンサー（豹）型となるが、アニメと同様にサウンドウェーブから射出された、ビーストタイプのトランスフォーマーであり、猛獣のような動きと凶暴なフェイスデザインが特徴となる。

DEVASTATOR

劇中において最大ボリュームを誇るデバステーターは、7体の大型建機トランスフォーマーが合体する新兵士。まさにモンスターといった外観は、建機のパーツが複雑に絡み合う高密度のデザインが特徴となる。エイリアン的なフェイスデザインや、口からもれる緑の輝きが不気味さを演出する。基となったのは、建設車部隊「ビルドロン師団」6体が合体して誕生する「巨人兵デバスター」。

TF トランスフォーマー 情報局 01

トランスフォーマー 最新プロダクト&開発情報

MOVIE SERIES ムービーシリーズ

映画『リベンジ』のトイが中心となるトランスフォーマー最先端トレンド「ムービーシリーズ」。これまでに判明した、今年後半に予定されるアイテムをご紹介しよう。

LONG HAUL ロングハウル

RD-17

コンストラクティコンの一員が、ボイジャークラスで登場。ビークルモードでは荷台が可動。両腕にはスイッチで展開するブレードを内蔵する。

GRINDOR グラインダー

RD-18

映画にも登場したブラックアウトの同型TF。グレートーンの大型ヘリに変形する。ストークスコルポノック・ミニフィギュアも付属。

ARCEE アーシー

RA-23

バイクに変形する女性型トランスフォーマーが、クロミアに次いでリリース。ロボットモードではサイドカー状のパーツがスタンドになる。

限定アイテム

SOUNDWAVE サウンドウェーブ ブラックバージョン

日本発の限定アイテムとして、サウンドブラスターを思わせるブラックバージョンが登場。8月29·30日開催のキャラホビ2009会場限定。

SWERVE スワーブ

赤いスティングレイコンセプトから変形。サイドスワイプの仕様変更であり、頭部が新造されている。Amazon.co.jp限定アイテム。

DEAD END デッドエンド

デラックスクラスでもデッドエンドが登場。頭部が新造された、サイドウェイスの仕様変更品。トイホビーマッケット限定。

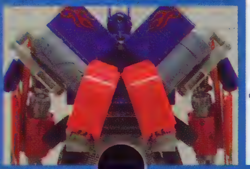
STALKER SCORPONOK ストークスコルポノック

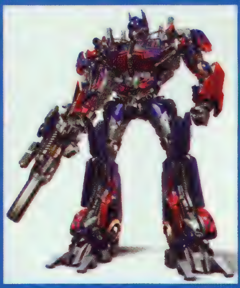
メカサソリからロボットに変形。2007年版のリベイントとなる。日本トイザらス限定。

BUSTER OPTIMUS PRIME バスターオプティマスプライム

アジア限定仕様として現在開発が進められているオプティマスプライム特別仕様品をスクープ!! バスターオプティマスプライムは、背面にたたまれる排気管が分離·変形してイオンブラスターとなる新機構を搭載。さらに頭部を新造するほか、塗装やメッキ箇所も増えたまさに決定版。発売は11月を予定する。

◀新造頭部は、映画でも印象深いマスク開口状態を再現する。





▼デザインベースとなった前作のイラスト。

RA-24

ALTERNITY オルタニティ

Alternity

国内車両メーカーとのコラボレートにより実車ベースの変形を実現する「オルタニティ」。1/32スケールのミニカーが、リアリティを保ったままロボットへと変形する。

A-02 NISSANフェアレディZ／メガトロン ダイヤモンドブラック

「オルタニティ」メガトロンに、ニューカラーが登場！　手に構える長剣、黒く輝くボディと赤く彩られた内部メカは、メガトロンの基となったミクロマン版ガンロボ ワルサーP38を想起させる。

A-03 スズキ スイフトスポーツ／バンブル

現在開発が進められている新たなオルタニティ戦士を紹介しよう！　スズキ スイフトスポーツ／バンブルは、映画や海外ではバンブルビーとして知られる名キャラクターが、オルタニティに進化した姿。オートアバターのベース車はスズキの5ドアハッチバックとなる。ボディカラーは「チャンピオンイエロー」。「シュプリームレッドパール」カラーのクリフもリリースされる。11月発売予定。

▼スズキ自動車のスイフトスポーツは、小型車ながらスポーティなドライブ感が味わえる、まさに現代のバンブルにふさわしい乗用車。これまで以上に技術的制約が多い5ドアボディが、どのように変形するのか楽しみである。

▲お腹が出た愛嬌たっぷりのスタイルは、フォルクスワーゲンに変形したG1スタイルを踏襲したもの。頭部デザインもかつてのバンブルをベースに現代風にアップデートしたものだ。なおクリフの頭部は別デザインとなる。

ENCORE アンコール

TRANSFORMERS ENCORE 復刻版

オリジナルのトランスフォーマーを復刻する「アンコール」。映画第1作と連動する形でスタートしたシリーズは、常に驚きのラインナップをファンに提供し続ける。

018 スキッズ

コンパクトカーに変形するサイバトロン戦士・スキッズが登場。映画キャラクターの原典を知る意味でも欠かせないアイテムである。10月発売予定。

019 カセット大作戦 Vol.3

カセット大作戦と銘打ったシリーズ第3弾は、フレンジー、ランブル、コンドル、オーバーキルのデストロン4体セット。これで『2010』までのカセットロン・カセットボットが勢揃いとなる。11月発売予定。

MASTERPIECE
マスターピース

究極の変形ロボット玩具の代名詞「マスターピース」。ハイクオリティなシリーズに、新たな展開「スピンオフプロジェクト」が発動する。

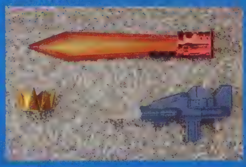
MP-8X KING GRIMLOCK
キンググリムロック

スピンオフプロジェクト第1弾は、MP-8グリムロックの80年代アメコミ（マーベルコミックス）仕様。コンボイの死後、27号にてリーダーとなったグリムロックを再現すべく、司令官の証し「王冠」が付属する。さらにボディは全塗装となり、拳や太ももなどはアメコミ準拠のブルーに変更。トイホビーマーケット限定。予約期間は9月11日までを予定する。価格は13000円。

◀▲アメコミ風味満点のパッケージ。背面は「ユニバース」を模したものとなる。

▲パッケージアートは吉岡秀嗣氏。

▼武器と王冠が付属。アメコミ設定を踏まえ、エプロンなどのコミカルアイテムは削除されている。



▲通常のグリムロック（左）とキングの比較。全塗装で高級感アップ。

DEVICE LABEL
デヴァイスレーベル

パソコン周辺機器に変形する、21世紀版実用トランスフォーマー。

OPERATING USB HUB
ブロードブラスト
◀ノートパソコンを模した、USB2.0対応4ポートハブに変形。カセットボットを胸部に収納。デヴァイスレーベルの指揮を執る。

OPERATING OPTICAL MOUSE
グリムロック
▼ホイール付き2ボタン光学式マウスに変形。

OPERATING OPTICAL MOUSE
ダイナザウラー

OPERATING USB MEMORY
デヴァイス ジャガー
▲容量2GBのUSBメモリに変形。

OPERATING USB MEMORY
タイガトロン

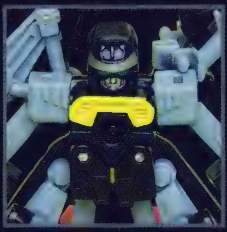
DISNEY LABEL
ディズニーレーベル

ディズニーとトランスフォーマーが奇跡のコラボレート!! 第2弾も現在開発中!!

©Disney

ミッキーマウストレーラー ハロウィンバージョン

話題のミッキーマウストレーラーに、セブン-イレブンネット限定のハロウィンカラーバージョンが登場。カボチャ色のボディに、目玉模様のライトなどの細かい塗装にも注目。運転するミッキーも、ハロウィンカラーで着飾るぞ！ セブン-イレブンネットにて、予約は9月19日23時59分まで。



TF MANIAX

25年にわたるトランスフォーマーの歴史を採訪する「コレクションマニアックス」は、小型トランスフォーマー「マイクロン」を増ページで大特集。「カタログコレクション」はヨーロッパ展開。「デザインマニアックス」では、映画に合わせて「合体」を特集してみた。

COLLECTION MANIAX
トランスフォーマー・コレクションマニアックス

第3回 マイクロン編

前回まではクラシカルな初期の名アイテムを追いかけてきたが、今回は趣向を変え、より現代的なアイテムを紹介していこう。2003年の『超ロボット生命体トランスフォーマー マイクロン伝説』より登場したマイクロンは、サイバトロン、デストロンに次ぐ第三のトランスフォーマー軍団。現在もなおその数を増やし続けており、手頃なサイズとバリエーションの多さから、非常にコレクション性の高いシリーズとなっている。

001 »» マイクロン伝説 パートナーマイクロン

通常のトランスフォーマーに付属する形で発売。それぞれのトランスフォーマーのギミックを解除する役割を担っていた。

SPARKPLUG
プライム
「MC-01 コンボイ」に付属。

海外版
海外版は窓の塗装が異なる。

LONGARM
フック
「MC-02 ラチェット」に付属。

海外版
海外版は窓の塗装が省略されている。

JOLT
ジョルト
「MC-03 ホットロッド」に付属。

LIFTOR
リフト
「MC-04 グラップ」に付属。

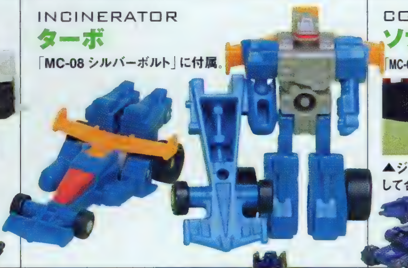
OVER-RUN
サージ
「MC-06 STDコンボイ」に付属。

▲銃に変形が可能。

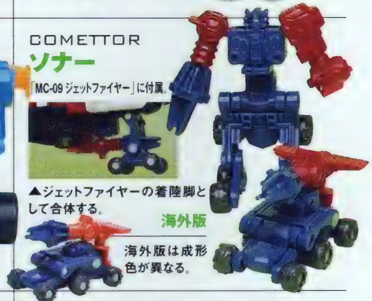
ROLLBAR
ダート
「MC-07 デバスター」に付属。

海外版
▲海外後期版では、右脚にマイクロンエンブレムがモールドされる。

INCINERATOR
ターボ
「MC-08 シルバーボルト」に付属。



COMETTOR
ソナー
「MC-09 ジェットファイヤー」に付属。



▲ジェットファイヤーの着陸脚として合体する。

海外版
海外版は成形色が異なる。

NIGHTBEAT
チャー
「MC-10 ステッパー」に付属。

REFUTE
スパークリフト
「MC-11 グラップ スーパーモード」に付属。

ROLLOUT
マグナス
「MC-12 ウルトラマグナス」に付属。
▼銃にも変形可能。

▶ウルトラマグナスの胸、頭部に合体する。

POWERLINX LONGARM
スパークフック
「MC-13 ラチェット スーパーモード」に付属。

海外版
海外版は窓の塗装が省略されている。

POWERLINX JOLT
スパークジョルト
「MC-14 ホットロッド スーパーモード」に付属。

LEADER-1
バレル
「MD-01 メガトロン」に付属。

▲銃にも変形する。

SWINDLE
グリッド
「MD-02 スタースクリーム」付属。

BLACKOUT
サーチ
「MD-03 アイアンハイド」に付属。

▲アイアンハイドの車体前部に合体。

※本項のパーツ名称は各アイテムごとの説明書の表記に倣った。また、付属シールに関しては各アイテムのディテールを見せることを優先して、一部のみ貼付するに留めている。文中の通し番号は整理上、編集部が便宜上付けたものである。

CRUMPLEZONE
キャノン
「MD-04 サンドストーム」に付属。

▲サンドストームの機首に合体。

INFERNO
サンダー
「MD-05 スラスト」に付属。

▲アタックモードに変形する。

RAMJET
ソニック
「MD-06 ショックウェーブ」に付属。

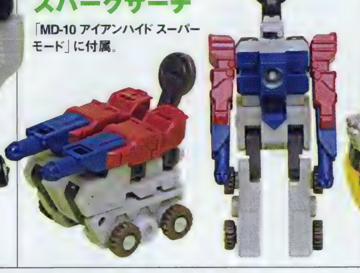
WIND SHEER
ホーク
「MD-07 ランページ」に付属。

海外版
海外版は成形色が異なる。

CLENCH
スパークバレル
「MD-08 メガトロン スーパーモード」に付属。

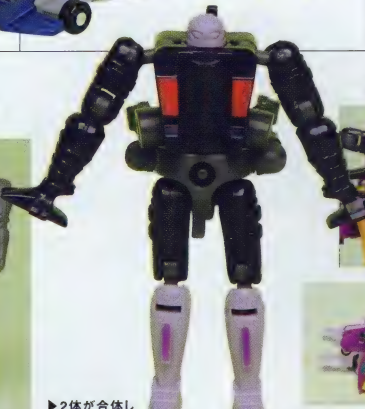
ZAPMASTER
スパークグリッド
「MD-09 スタースクリーム スーパーモード」に付属。

POWERLINX BLACKOUT
スパークサーチ
「MD-10 アイアンハイド スーパーモード」に付属。



DEAD END
バグ
「MX-00 ユニクロン」に付属。

ROOK & CROSSWISE
ブライト&シャドウ
左よりブライト、シャドウ。「MX-01 ダブルフェイス」に付属。



▶2体が合体してミラーとなる。

▼それぞれダブルフェイスの頭部に変形し、合体。両陣営のエンブレムが胸に現れる。

▲腕への合体時には、それぞれ写真のように変形。

海外版

▶初期版では、頭部合体時に現れるエンブレムが入れ替わっている。

▼海外初期版では、シャドウの脚の塗装が異なる。

002 »»» マイクロン伝説 チームマイクロン

3体1チームで発売された、マイクロンの基本となるシリーズ。一部のアイテムは合体や三段変形も可能。

STREET ACTION MINI-CON TEAM
MM-01 ストリートアクションマイクロン

▲左よりウィーリー、バンク、アーシー。

▶3体が合体してバンブルとなる。

AIR DEFENSE MINI-CON TEAM
MM-02 エアディフェンスマイクロン

▲左よりマッハ、ジェッター、シャトラー。

▶3体が合体してスターセイバー（剣）となる。

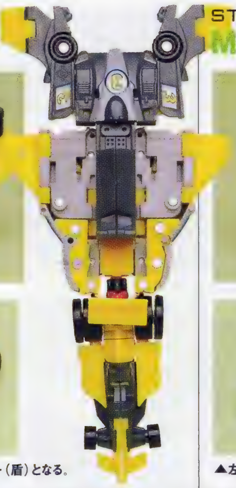
LAND MILITARY MINI-CON TEAM
MM-03 ランドミリタリーマイクロン

▲左よりボム、ショット、クラック。

DESTRUCTION MINI-CON TEAM
MM-04 デストラクションマイクロン

▲左よりクラッシュ、ホイール、ダスター。

RACE MINI-CON TEAM
MM-05 レースマイクロン



▲左よりスピン、ドリフト、インディー。

▶3体が合体してコスモテクター（盾）となる。

STREET SPEED MINI-CON TEAM
MM-06 ストリートスピードマイクロン

▲左よりジーク、ニトロ、オート。

AIR MILITARY MINI-CON TEAM
MM-11 エアミリタリーマイクロン

▼武器への三段変形が可能。

▲左よりリーコン、グライド、フレイム。

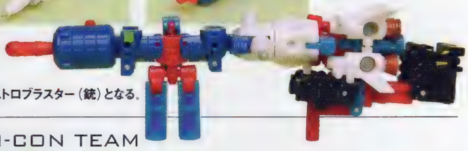
SPACE MINI-CON TEAM
MM-13 スペースマイクロン

▲アポロはミールの上に取り付けることが可能。

海外版

▲海外版では、アポロのロケット基部やノズル内部に汚し塗装が加えられている。

▲左よりムーブ、アポロ、ミール。



▶3体が合体してアストロブラスター（銃）となる。

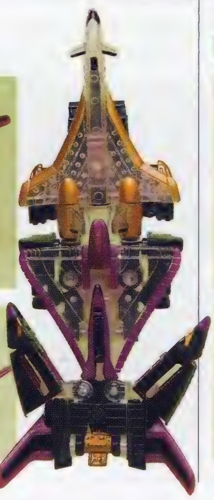
SEA MINI-CON TEAM
MM-15 シーマイクロン

▲左よりノット、フロート、セイル。

ADVENTURE MINI-CON TEAM
MM-16 アドベンチャーマイクロン

▲左よりジャンク、スパイク、ウインチ。

AIR ASSAULT MINI-CON TEAM
MM-17 エアアサルトマイクロン



▲左よりマッド、ジャック、シェード。

▶3体が合体してダークセイバーとなる。

EMERGENCY MINI-CON TEAM
MM-20 エマージェンシーマイクロン

▼それぞれ武器形態に変形可能。

▲左よりドラフト、プロール、ツイスト。

003 》》》 マイクロン伝説 エクスディメンションズ

日本オリジナルで発売されたチームマイクロンの限定カラー。名前、設定は通常カラー版と同じ。

MM-07 エアディフェンスマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりマッハ、ジェッター、シャトラー。

▶スターセイバー。

MM-08 ランドミリタリーマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりボム、ショット、クラック。

MM-09 デストラクションマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりクラッシュ、ホイール、ダスター。

MM-10 レースマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりスピン、ドリフト、インディー。

▶コスモテクター。

MM-12 エアミリタリーマイクロン エクスディメンションズ

◀左よりリーコン、グライド、フレイム。

MM-14 スペースマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりムーブ、アポロ、ミール。

▶アストロブラスター。

MM-18 シーマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりノット、フロート、セイル。

MM-19 アドベンチャーマイクロン エクスディメンションズ

▲左よりジャンク、スパイク、ウインチ。

MM-21 エマージェンシーマイクロン エクスディメンションズ

◀左よりドラフト、ブロール、ツイスト。

ストリートアクションマイクロン エクスディメンションズ

▼バンブル。

▲左よりウィーリー、バンク、アーシー。トイザらス限定「マグナコンボイDXセット」に付属した。

004 》》》 マイクロンブースターVer.0

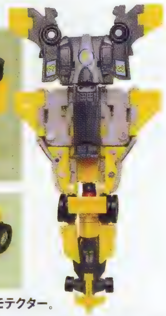
マイクロン1体ずつをブラインドボックス形態で発売したもの。プライムのリカラー2種と、エアディフェンスマイクロン、レースマイクロンのメタリック仕様の全8種類をアソート。トランスフォーマーステーション加盟店限定で発売された。

▲左よりロッド、アトラス。

▲左よりマッハ、ジェッター、シャトラー。

▶スターセイバー。

▲左よりスピン、ドリフト、インディー。


▶コスモテクター。

005 》》》 マイクロン伝説 限定版 パートナーマイクロン

USAエディションなどの限定アイテムに付属したパートナーマイクロン。通常のパートナーマイクロンのリカラーが多いが、サンダークラッシュなどのオリジナルモデルやチームマイクロンからの転用も存在する。

プライム スーパーモード

小学館「てれびくん」2003年8月号ふろく。

スパークサージ

講談社「テレビマガジン」2003年10月号スペシャル誌上オーダー「クリスタルコンボイ」に付属。

RUN-OVER
スウィープ

「テレビマガジン」2003年9月号スペシャル誌上オーダー「スカージ」に付属。

海外版

海外版は成形色および塗装が異なる。

CORONA SPARKPLUG
コロナプライム

トイザらス限定「マグナコンボイDXセット」に付属。

マグナス スペシャル クリアバージョン

トイザらス限定「マグナコンボイDXセット」に付属。

ARMORHIDE
アーマーハイド

USAエディション「ライノックス」に付属。

IRONHIDE
アイアンハイド

USAエディション「テラザウラー」に付属。

NIGHTSCREAM
ナイトスクリーム

USAエディション「エアラザー」に付属。

THUNDERCLASH
サンダークラッシュ

USAエディション「スカイワープ」に付属。

CLIFFJUMPER
クリフジャンパー

USAエディション「チーター」に付属。

SIDE BURN & SKID-Z
サイドバーン&スキッズ

▲左よりサイドバーン、スキッズ。USAエディション「プレダコン」に付属。

POWERLINX CRUMPLEZONE
クランプルゾーン

USAエディション「パワーリンクス サイクロナス」に付属。

POWERLINX INFERNO
インフェルノ

USAエディション「パワーリンクス スラスト」に付属。

▲トイカード加盟店限定のレッドバージョンでは、一部の成形色が異なる。

POWERLINX COMETTOR
コメッター

USAエディション「パワーリンクス ジェットファイヤー」に付属。

006 》》》 マイクロン伝説 限定版チームマイクロン

トイやCDの封入特典、キャンペーンによる配布などが行われたマイクロン。個々の名称は通常版と共通。

ストリートアクションマイクロン アニメカラー

▼バンブル。

▲左よりウィーリー、バンク、アーシー。前期オープニングテーマ「TRANSFORMER-Dream Again」のシングル初回限定特典。

エアディフェンスマイクロン アニメカラー

▼スターセイバー。

▲左よりマッハ、ジェッター、シャトラー。前期エンディングテーマ「Never Ending Road」のシングル初回限定特典。

ランドミリタリーマイクロン アルティメットエディション

◀上よりボム、ショット、クラック。マイクロン伝説上陸キャンペーンとしてトイザらスで配布。後にハローマックでも3体セットのプレゼントが行われた。

デストラクションマイクロン アンダーグローヴエディション

◀上よりクラッシュ、ホイール、ダスター。マイクロン伝説上陸キャンペーンで、イトーヨーカドーでの配布が行われた。

ストリートスピードマイクロン オーバードライブエディション

◀上よりジーク、ニトロ、オート。「第17回次世代ワールドホビーフェア」のタカラブースで配布された。その後、イトーヨーカドーでも商品購入特典としてプレゼント。

デストラクションマイクロン スペースギャラクシーエディション

◀上よりクラッシュ、ホイール、ダスター。ジャスコ限定キャンペーンで、「MC-01　コンボイ スーパーモード」に各1体がランダムに封入された。

NIGHT ATTACK MINI-CON TEAM

ランドミリタリーマイクロン ナイトアタックエディション

◀上よりボム、ショット、クラック。トイザらス各店で行われた「マイクロンGETだぜ!キャンペーン」の景品として配布。海外でも3体セットが発売されたが、単体名の異なる新キャラクターとなっている。

ROAD ASSAULT MINI-CON TEAM

レースマイクロン ロードアサルトエディション

▲コスモテクター。

◀上よりスピン、ドリフト、インディー。イトーヨーカドー限定の「最強合体キャンペーン」で、「MC-09 ジェットファイヤー」または「MD-07　ショックウェーブ」購入者にプレゼント。海外でも3体セットが発売された。

デストラクション ホワイトマイクロン

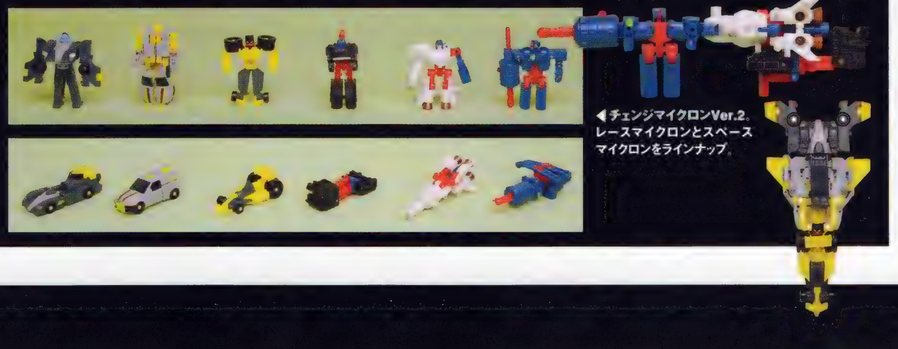
◀上よりクラッシュ、ホイール、ダスター。「トランスフォーマーステーション」加盟店限定で販売されたほか、キャラクターイベントなどで参加者が自由に彩色できる素材として使われたこともある。

チェンジマイクロン

MICRON COLUMN

カバヤ食品から発売された食玩版マイクロン。マイクロンジョイントは通常の玩具と共通だが、成形色や彩色などが異なる。それぞれ単体で発売された。

◀チェンジマイクロンVer.1。ストリートアクションマイクロンとエアディフェンスマイクロン。



◀チェンジマイクロンVer.2。レースマイクロンとスペースマイクロンをラインナップ。

007 》》》マイクロン伝説 DVD限定チームマイクロン

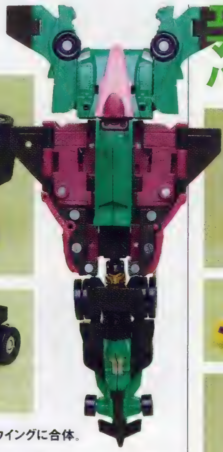
アニメ『超ロボット生命体トランスフォーマー　マイクロン伝説』のDVDシリーズ初回限定特典。第1巻のみ1チーム3体が、2巻以降は各1体が付属した。それぞれの活躍を描いたミニコミックも封入。

ストリートスピードマイクロン スーパースタントチーム

▲左よりサーボ、フラットアウト、レッドライン。

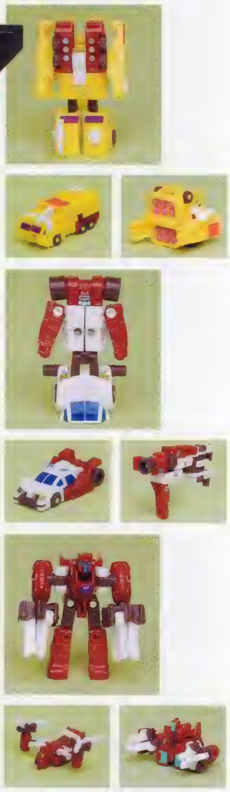
レースマイクロン スピードチェイサーチーム

▲左よりテイルスライド、ミッドシップ、トップギア。



▶マグナウイングに合体。

エマージェンシーマイクロン ハザードチーム



▲上よりクェンチ、キングボルト、インパルサー。

エアミリタリーマイクロン ソニックアサルトチーム

▲左よりファルシア、コンバスタ、トゥワール。

シーマイクロン アクアレイダーチーム

▲左よりビルジ、フリーブート、サンバーン。

008 》》》マイクロン伝説 海外限定チームマイクロン

海外でのみ発売されたカラーバリエーション。エアアサルトマイクロンおよびシーマイクロンは通常アイテムの海外仕様だが、日本版と大きく異なるためこちらに掲載した。

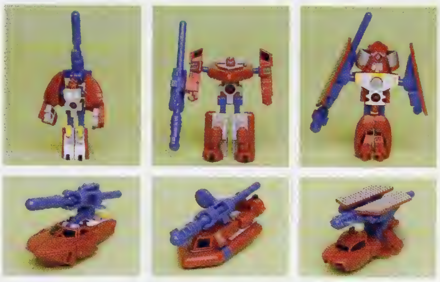
AIR ASSAULT MINI-CON TEAM
エアアサルトミニコンチーム

▲左よりジェットストーム、ランウェイ、ソナー。56ページの日本版とは異なり、クリアパーツを使用していない。なお海外では、エアディフェンスミニコンチームと同じ単体名が使われていた。

EMERGENCY MINI-CON TEAM
エマージェンシーミニコンチーム（リカラー版）

▲左よりファイヤーボット、ブロール、メイクシフト。米国の最終アソートで、通常パッケージのまま発売されたリカラー版。ファイヤーボットはG1キャラクターのホットスポット、ブロールは同スモークスクリーンをイメージしている。

SEA MINI-CON TEAM
シーミニコンチーム



▲左よりストームクラウド、ウォーターログ、オーシャングライド。日本版（56ページ）ではアニメ劇中に合わせたカラーリングに変更された。

SEA MINI-CON TEAM
シーミニコンチーム（リカラー版）

▲左よりストームクラウド、ウォーターログ、オーシャングライド。エマージェンシーミニコンチームのリカラーと同じく、通常パッケージのまま発売された。

ROAD WRECKER MINI-CON TEAM
ロードレッカーミニコンチーム

▲左よりドリルビット、バズソー、デュアラー。デストラクションミニコンチームのリカラーで、単体名もそのまま引き継いでいる。

009 》》》 スーパーリンク パートナーマイクロン

スーパーリンクのアイテムに付属するパートナーマイクロン。いずれも前作からのリカラーとなっている。

BLACKOUT
サーチ
「SD-02　アイアンハイド」に付属。

CRUMPLEZONE
キャノン
「SD-03　サンドストーム」に付属。

RAMJET
ソニック
「SD-04　ショックウェーブ」に付属。

DEAD END
バグ
「MX-00　ユニクロン ブラックバージョン」に付属。

010 》》》 スーパーリンク チームマイクロン

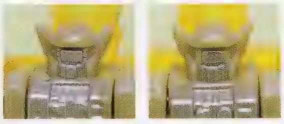
スーパーリンクで新たに登場したチームマイクロン。それぞれ合体機能を持つ。

ENERGON SABER MINI-CON TEAM
SC-08 エネルゴンセイバー

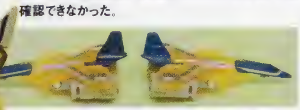
▲左よりパルス、レーザー、ビーム。前作のエアディフェンスマイクロンからのリデコアイテム。

▶3体が合体したエネルゴンセイバー。

VARIATIONS

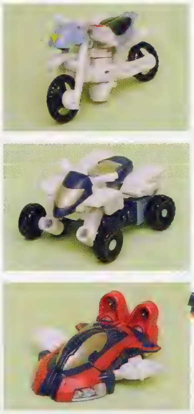


▲海外の初期版(左)と後期版(右)。初期版ではビームの目の両脇に線状のモールドが存在する。同様のモールドはエアアサルトマイクロン(日米)、アニメカラー版エアディフェンスマイクロン、マイクロンブースターVer.1のレンズにもあるが、それ以外のスターセイバー系アイテム(日本版エネルゴンセイバーを含む)では確認できなかった。



▲レーザーの日本版(左)と海外版(右)。青のパーツが海外版の方が若干明るくなっている(ビームの翼なども同様)。

PERCEPTOR MINI-CON TEAM
SC-09 クリフジャンパー



▲左よりホッパー、チャージ、ランウェイ。

▶3体が合体してクリフジャンパーとなる。

海外版

▼海外版では胸(チャージ)に塗装が加わっている。

011 》》》 マイクロンブースターVer.1

ブラインドボックスで単体発売されたリカラーマイクロン。Ver.1からは全員がオリジナルの新キャラクターとなった。

▲左よりクローム、サイリスタ、シナプス。

▲左よりクォンタム、ビーコン、レンズ。

▼合体してブリザードセイバーとなる。

▲左よりマイル、ホバー、ソーラー。

▲左よりスポイル、クランチ、トルク。

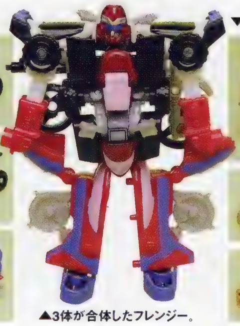
012 》》》 マイクロンブースターVer.2

マイクロンブースターの第3弾。ローソン限定で発売された。

◀上よりセイバー、プロセッサ、トライアック。

▼左よりブリッツ、エフェクト、シーカー。

▼上よりブレーキ、ダンパーフィルター。



▲3体が合体したフレンジー。

▼左よりクラスター、グルーブ、ローター。

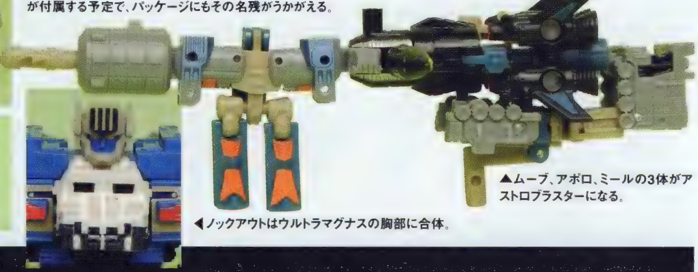
013 》》》 スーパーリンク USAエディション

USAエディションとして発売された「ウルトラマグナス」に付属する4体。パートナーマイクロン1体と、3体のチームマイクロンからなる。

KNOCK OUT & SPACE MINI-CON TEAM

ノックアウト&スペースマイクロン

◀左よりノックアウト、ムーブ、アポロ、ミール。なお当初はストリートスピードマイクロンのリカラーが付属する予定で、パッケージにもその名残がうかがえる。



▲ムーブ、アポロ、ミールの3体がアストロブラスターになる。

◀ノックアウトはウルトラマグナスの胸部に合体。

014 》》》 スーパーリンク 海外限定マイクロン

日本未発売アイテムに付属のパートナーマイクロン。いずれも前作「マイクロン伝説」からのリカラー。

ROLLBAR

ロールバー

「トレッドボルト」に付属。54ページで紹介したダートの海外後期版と同じく、右脚にマイクロンエンブレムのモールドがある。

NIGHTSCREAM & NIGHTCRUZ

ナイトスクリーム&ナイトクルーズ

▼2体が合体したロボットモード。玩具上は固有の名称を与えられていなかったが、後に公式ファンクラブの会報で「ナイトクリーパー」(NIGHTCREEPER)の名が付けられた。

▲左よりナイトスクリーム、ナイトクルーズ。「ラピッドラン」に付属。

▼ダブルフェイスと同様、頭部への合体で両陣営を再現。

LONGARM& ZAPMASTER

ロングアーム&ザップマスター

▼左より、ロングアーム、ザップマスター。サムズクラブ限定で発売された対決セット「プロール&スタースクリーム」に付属。

ROLLOUT

ロールアウト

▲オーバーロードとの合体。

コストコ限定発売の「オーバーロード&オプティマスプライム」セットに付属。なおオプティマスプライムにはコロナスパークプラグも付属するが、58ページのコロナプライムと同内容のため、ここでは割愛した。

015 》》》 スーパーリンク 限定版チームマイクロン

スーパーリンクで限定配布されたマイクロンは1チームのみ。トランスフォーマー誕生20周年を記念した「ウィンドチャージャー アニバーサリーエディション コンプリートキャンペーン」で配布された。

▲3体を集めることで完成するウィンドチャージャー。

ウィンドチャージャー

◀左よりアクセル、スロットル、スクリュー。キャンペーンは春、夏、秋の3回にわたり、時期ごとに1種類がトイザらス各店でプレゼントされた。

016 》》》 ギャラクシーフォース パートナーマイクロン

マイクロン登場3作目となるギャラクシーフォースでは、約1年ぶりに新造形のパートナーマイクロンが登場。ベクタープライムおよび惑星ギガロニア出身のトランスフォーマーに付属した。

SAFEGUARD

ルーツ

「GC-03 ベクタープライム」に付属。

海外版

海外版は成形色が異なる。

DRILL BIT

ホリブル

「GC-23 メガロコンボイ」に付属。

MICRON COLUMN

ENERGON KICKER WITH HIGH WIRE

エネルゴンキッカー&ハイワイアー

米国で発売されたキッカーのフィギュアと、それにサイズを合わせたハイワイアー(ホッパー)のセット。マイクロンジョイントがないなど厳密にはマイクロンの規格から外れるが、関連浅からぬアイテムとしてここに掲載した。

▲ビークルモードではエネルゴンキッカーが搭乗可能。

017 》》》 ギャラクシーフォース USAエディション パートナーマイクロン

メガロコンボイ以外のギガロニアTFは、日本でのシリーズ終了後にUSAエディションの形で限定発売された。

STRIPMINE

キリブル

USAエディション「ブレンダル」に付属。

HEAVY LOAD

ブルブル

USAエディション「モールダイブ」に付属。

▼モールダイブのビークルモードに合体。

018 》》》 ギャラクシーフォース チームマイクロン

ギャラクシーフォースで新たに登場したチームマイクロン。いずれもサイバトロンの所属となっている。

RECON MINI-CON TEAM

マイクロンチーム

▲左よりホップ、ブリット、バンパー。

STREET SPEED MINI-CON TEAM

オートマイクロン

▲左よりシアーナ、ガゼンダ、スロー。ストリートスピードマイクロン（56ページ）のリデコで、ビークルモードのほぼ全面にわたってディテールの変更が見られる。

019 》》》 マイクロンブースターVer.3

マイクロンブースターの第4弾。これまでのチームマイクロンだけではなく、パートナーマイクロンのリカラーも含まれているのが特徴だ。

▲左よりバグジェネラル、バグドローン。

▲左よりトリガー、ゲージ、クランプ、レンチ。

▲左よりビット、ソケット、プライヤー。

▲左よりジャッキ、プラグ、ダイス。

020 》》》 ギャラクシーフォース 海外限定 パートナーマイクロン

日本未発売のパートナーマイクロンは、1種のみ存在する。

SAFEGUARD

セーフガード

「ギャラクシーフォースベクタープライム」に付属。

021 》》》 ギャラクシーフォース 海外限定チームマイクロン

日本未発売のチームマイクロン。ジャイアントプラネットチームはデストロンの所属となっている。

GIANT PLANET MINI-CON TEAM

ジャイアントプラネットミニコンチーム

▲左よりロングアーム、ディープダイブ、オーバーキャスト。

SHADOW RECON MINI-CON TEAM

シャドーリーコンミニコンチーム

▲左よりジョルト、シックススピード、リバーブ。マイクロンチームの3体のステルスバージョンとされた。

022 》》》 ギャラクシーフォース 海外限定ボーナスマイクロン

デラックスクラスのトイに、マイクロン1体とそれを収納できるケース（タイニー・ティンと呼称）を付属したウォルマート限定アイテム。ここではマイクロンのみを紹介する。

BONUS MINI-CONS

ボーナスミニコン

▲左よりダウンシフト、ダートボス、ミラージ。ダウンシフトはサンダークラッカーまたはダートボス（日本名インチアップ）、ダートボスはランドマインまたはレッドアラート（同ファストエイド）、ミラージはホットショット（同エクシリオン）またはオーバーライド（同ニトロコンボイ）に付属した。

▶スカイブームに3体合体。

023 》》》 ギャラクシーフォース 海外限定2パック

サイバトロン、デストロンそれぞれに属するマイクロン1体ずつを組み合わせたVSセット。それぞれ3体で1チームを構成する。

AIR DEFENSE TEAM
エアディフェンスチーム

▲左よりタンカー、サンダーブラスト、スチームハンマー。

EXPLORATION TEAM
エクスプロレーションチーム

▲左よりモノクル、ランドスライド、アセンター。

ANTI-BLAZE'S TEAM
アンチブレイズチーム

▲左よりアンチブレイズ、チェックポイント、サイズ。なお、このチームの名称は設定されていない。便宜上、ここではリーダーの名前をとって紹介する。

SKY ATTACK TEAM
スカイアタックチーム

▲左よりショックウェーブ、スカイリンクス、レーザークロー。

LUNAR ASSAULT TEAM
ルナアサルトチーム

▲左よりスキャッタープレイン、コブシ、ペイロード。

SKY TERROR TEAM
スカイテラーチーム

▶3体による合体剣。名称設定はない。

▲左よりスラスト、サンストーム、ラムジェット。

STREET ACTION TEAM
ストリートアクションチーム

▲左よりハイワイアー、シュアショック、グラインダー。

▲合体してパーセプターとなる。

DEEP SPACE MINI-CON TEAM
ディープスペースミニコンチーム

▲左よりブラストチャージ、バックブラスト、スクラップアイアン。

▲3体が合体したアンブラルブラスター

024 》》》 ギャラクシーフォース 限定マイクロン

ギャラクシーフォース国内展開時に、各種キャンペーンで配布されたマイクロン。チーム名はそれぞれ、キャンペーンと連動して発売されたキャラクターにちなんだものである。

ヘルフレイムマイクロン

▲左よりヘルフレイムグラビトン、ヘルフレイムクエーサー、ヘルフレイムバルジ。グラビトンとバルジには5ミリジョイントが追加されている。

ヘルフレイムマイクロン ホワイトバージョン

▲ヘルフレイムマイクロンを白の成形色で揃えたもの。ジャスコ限定の「コンボイパワーアップWキャンペーン」で配布された。

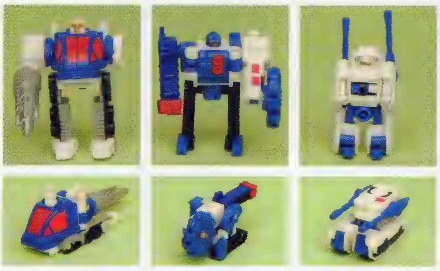
プラティナムマイクロン

▲左よりプラティナムファクター、プラティナムエレメント、プラティナムマテリアル。トイザらス限定の「プラティナムマイクロン コンプリートキャンペーン」で配布された。

キャリバーマイクロン

▲左よりキャリバームゲン、キャリバーヒャクライ、キャリバーイチビ。ヘルフレイムマイクロンと同じく、武器モードでの保持用に5ミリジョイントが追加された。

メガロマイクロン



▲左よりメガログリットビット、メガロジグザグ、メガロザップマップ。メガロコンボイ発売を記念した「メガロマイクロンキャンペーン」で配布が行われた。

MICRON COLUMN
マイクロンギャラクシー

「ギャラクシーフォース」の食玩版マイクロン。TVアニメに初期から登場する4体をラインナップしている。

▼左よりホップ、ブリット、バンパー、ルーツ。

025 »»» TRANSFORMERS UNIVERSE

2003年よりスタートした玩具オリジナルの海外シリーズ「TRANSFORMERS UNIVERSE」にて登場のマイクロン。すべて既存のアイテムからのリカラーである。一部は「USAエディション」として国内でも発売された。

TERRADIVE & PROWL
テラダイブ＆プロール

▲左よりテラダイブ、プロール。USAエディション「ストッケード&マグナスタンピード」に付属。

THUNDERWING & FIREBOT
サンダーウイング&ファイヤーボット

▲左よりサンダーウイング、ファイヤーボット。USAエディション「ファイヤーフライト」に付属。

GUNBARREL & MAKESHIFT
ガンバレル&メイクシフト

▲左よりガンバレル、メイクシフト。USAエディション「オートボットホワール」に付属。

ROADHANDLER
ロードハンドラー

USAエディション「スワーブ」に付属。

SEARCH & DESTROY ROBOT
サーチ&デストロイ・ロボット

「クリスタルウィドーVSオイルスリック」に付属。

LIFTOR & REFUTE
リフター&リフュート

▲左よりリフター、リフュート。「スモークスクリーンVSランサック」に付属。

THUNDERCLASH & AIR MILITARY MINI-CON TEAM
サンダークラッシュ&エアミリタリーミニコンチーム

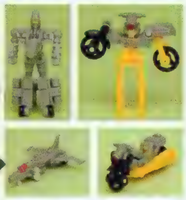
▲左よりサンダークラッシュ、テラダイブ、ガンバレル、サンダーウイング。「ラムジェット」に付属。

INFERNO & STREET ACTION MINI-CON TEAM
インフェルノ&ストリートアクションミニコンチーム

▼ストリートアクションチームの3体はパーセプターに合体。

▲左よりインフェルノ、ハイワイアー、グラインダー、シュアショック。

OVER-RUN & NIGHTBEAT
オーバーラン&ナイトビート



▲左よりオーバーラン、ナイトビート。「ウルトラマグナスVSトレッドショット」に付属。

026 »»» TRANSFORMERS CLASSICS

2006年後半にスタートした「TRANSFORMERS CLASSICS」（日本では「変形!ヘンケイ!トランスフォーマー」として導入）で登場した完全新作のマイクロンチーム。なおノックダウン、ストロングアーム、サンダーウイング、ダートロケットの4体は「CYBERTRON（ギャラクシーフォース）」のプライマスに付属する形での先行販売も行われている。

DINOBOTS
ダイノボット

▼左よりノックダウン、テラーソアー、スウープ。

NIGHT RESCUE TEAM
ナイトレスキューチーム

▼左よりストロングアーム、ファイヤーボット、ダイブボム。

CLEAR SKIES TEAM
クリアースカイズチーム

▼左よりサンダーウイング、スチールウィンド、ナイトスクリーム。先行販売時のサンダーウイングは、ナイトスクリームと呼称されていた。

DEMOLITION TEAM
デモリッションチーム

▼左よりスレッジ、ワイドロード、ブロードサイド。

PREDATOR ATTACK TEAM
プレデターアタックチーム

▼左よりスナール、オーバーバイト、ドレッドウイング。

DIRT DIGGER TEAM
ダートディガーチーム

▼左よりオイルスリック、グラインダー、ダートロケット。ダートロケットは先行販売時、オフシュートと名づけられていた。

027 »»» TRANSFORMERS MOVIE

2007年スタートのムービーシリーズでは、唯一のマイクロン。過去アイテムのリカラーで構成された「オフスクリーンシリーズ」に登場した。

LONGARM
ロングアーム

オフスクリーンシリーズ「インフェルノ」に付属。

028 »»» 変形!ヘンケイ!トランスフォーマー／TRANSFORMERS UNIVERSE

シリーズ誕生25周年を迎えてシリーズ縦断的な展開を見せた「変形!ヘンケイ!トランスフォーマー」およびその海外展開「UNIVERSE」。「マイクロン伝説」～「ギャラクシーフォース」のキャラクターも、何体か登場している。

JOLT
ジョルト

「C-16　サイバトロンホットロッド」に付属。

海外版

◀海外版では成形色および胸の塗装が異なる。

SAFEGUARD
セーフガード

UNIVERSE版「ベクタープライム」に付属。

DRILL BIT
ドリルビット

UNIVERSE版「ヘビーロード」に付属。

029 »»» TRANSFORMERS UNIVERSE　MINI-CON CLASS 12 PACK

Kマート限定発売のマイクロン12体セット。サイバトロン、デストロンのそれぞれ2チームずつで構成されている。「CLASSICS」版マイクロンチームが基になっているが、その組み合わせには変動がある。

LANDSLIDE MINI-CON TEAM
ランドスライドミニコンチーム

◀左よりバックストップ、ボディブロック、ノックダウン。サイバトロン所属。

SAFEGUARD MINI-CON TEAM
セーフガードミニコンチーム

◀左よりフラットフット、メイクシフト、ヘビートレッド。サイバトロン所属。

OVERCAST MINI-CON TEAM
オーバーキャストミニコンチーム

◀左よりブリムストーン、サプレッサー、ブライト。デストロン所属。

RANSACK MINI-CON TEAM
ランサックミニコンチーム

◀上よりボルトフラッシュ、スカイハンマー、クラウドレーカー。デストロン所属。

030 »»» マイクロンブースターVer.4 恒久の対決篇（エターナルプリズナー）

2007年にコンビニ限定で発売されたマイクロンブースター。「CLASSICS」系のマイクロンが日本で登場したのは、これが初となった。

▲左よりエイペクサス、グレデター、ウインドレイザー、ラッドローグ、ディテクタス。いずれもサイバトロン側のマイクロン。

▲左よりロックブレード、リフューザー。アイアンランジ、レプティクス、ナッシュティース、クロムバイト。こちらはデストロン。

031 »»» 2007~09 キャンペーンマイクロン

2007年のムービーアイテム発売以降に登場したキャンペーン用マイクロン。日本未発売のモデルも多く、人気を集めた。

左よりノイズイフェクト、ウェッジシェイプ、トルクゲイン。ムービートイの購入特典として、量販店で配布。

▶左よりクレイドン、シーウェイブ。サントリー「ボス」の「トランスフォーマーオリジナルフィギュアキャンペーン」に付属。

スカイグライド。「変形!ヘンケイ!トランスフォーマー」の発売を記念して、トイザらス各店で配られた。

▲左よりサイバトロンスリング、デストロンボルター。トランスフォーマー公式カードの入会特典としてプレゼント。

ガーディアンマイクロン

▲左よりガーディアンスカイ、ガーディアンスピード、ガーディアンパワード。「トランスフォーマー／リベンジ」の発売を記念して、トイザらスほか量販店で配布。

マイティーマイクロン

▲左よりマイティーストラ、マイティードザー、マイティーブル。「トランスフォーマー／リベンジ」の販促キャンペーン第2弾として、トイザらスほか量販店で配られた。

032 »»» 海外イベント&コレクターズクラブ限定マイクロン

世界のトランスフォーマーファンが一堂に会する米国の公式イベント「BOTCON」(2003~2004年は「OTFCC (Official Transformers Collectors Convention)」)。毎回発売される限定トランスフォーマーの中には、マイクロンが付属するものも少なくない。

CALIBURN キャリバーン

「OTFCC2004」限定トイ「メガザラック」(「MD-01　メガトロン」のリカラー)に付属。設定上はマイクロンではなく、マイクロマスターとなっている。

APE-LINQ エイプリンク

▼センチネルマキシマスの頭部は、コンボイ風のマスクタイプ。

「OTFCC2004」限定トイ「センチネルマキシマス」(「MC-12　ウルトラマグナス」のリデコ)に付属。ロボット頭部および大型ロボット頭部が新たに造形されている。

BETA MAXX ベータマックス

「BOTCON2007」限定トイ「アルファートリン」(「GC-03　ベクタープライム」のリデコ)に付属。発売時には名前がつけられていなかったが、後にBOTCON公式サイトで設定が明かされた。

WHISPER ウィスパー

「BOTCON2008」限定トイ「サイドスワイプ」(「MD-07 ランページ」のリカラー)に付属。善のデストロンと悪のサイバトロンが戦う別世界の物語「Shattered Glass」に登場。

▲左よりスターキャッチャー、アストロフック、アストロシンカー、アストロライン。コレクターズクラブ限定トイ「アストロトレイン」(「MC-09　ジェットファイヤーのリデコ)に付属した。

PREDACONS プレダコン

▼左よりラムページ、レーザークロー、ダイブボム。「BOTCON2008」限定トイ。「Shattered Glass」の世界で活躍するアニマトロン部隊。

033 »»» 懸賞マイクロン

雑誌の懸賞などで、景品としてプレゼントされたマイクロン。一部店舗にて、くじびき景品として使用されたものもある。懸賞アイテムとしてはこの他に、「超ロボット生命体トランスフォーマーマイクロン伝説 YEAR BOOK 2003」で抽選プレゼントされた「光のユニクロン」付属のバグもあるが、通常版と同仕様のため、ここでは割愛した。

バレル (ブラックバージョン)

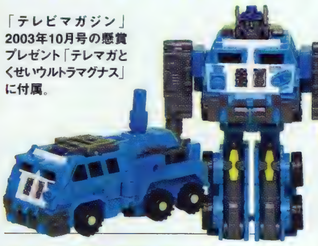
「テレビマガジン」2003年6月号懸賞プレゼント「テレマガとくせいブラックメガトロン」に付属。

プライム (金ピカバージョン)

「てれびくん」2003年9月号で行われた「ジェットコンボイぬり絵コンテスト」金賞賞品「金ピカコンボイ」に付属。

マグナス (ブルーバージョン)

「テレビマガジン」2003年10月号の懸賞プレゼント「テレマガとくせいウルトラマグナス」に付属。

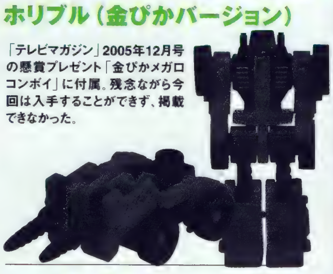


ソナー (金ぴかバージョン)

「テレビマガジン」2003年12月号の懸賞プレゼント「金ぴかジェットファイヤー」に付属。

ホリブル (金ぴかバージョン)

「テレビマガジン」2005年12月号の懸賞プレゼント「金ぴかメガロコンボイ」に付属。残念ながら今回は入手することができず、掲載できなかった。



ドラゴエール

「テレビマガジン」2007年9月号の懸賞プレゼント。

マイクロンリスト MINI-CON LIST

※2009年8月現在

アイテムの発売月は、日本における公式発売・配布時期を基準とする。ただし雑誌懸賞品や誌上オーダーの場合は、掲載された号、書籍の発売月とした。また、日本未発売アイテムは米国における発売時期を記している。

カウント	名称	USA名	製品No.	商品名/チーム名	発売月	入手方法
タカラトミー(タカラ)/HASBRO						
1	プライム	SPARKPLUG	MA-01	コンボイ スーパーモード	2002/12	
2	フック	LONGARM	MA-02	ラチェット	2002/12	
3	ジョルト	JOLT	MA-03	ホットロッド	2002/12	
4	リフト	LIFTOR	MA-04	グラップ	2002/12	
5	サージ	OVER-RUN	MA-06	STDコンボイ	2002/12	
6	ダート	ROLLBAR	MA-07	デバスター	2003/4	
7	ターボ	INCINERATOR	MA-08	シルバーボルト	2003/5	
8	ソナー	COMETTOR	MA-09	ジェットファイヤー	2003/6	
9	チャー	NIGHTBEAT	MA-10	ステッパー	2003/8	
10	スパークリフト	REFUTE	MA-11	グラップ スーパーモード	2003/8	
11	スパークフック	POWERLINX LONGARM	MA-12	ラチェット スーパーモード	2003/9	
12	スパークジョルト	POWERLINX JOLT	MA-13	ホットロッド スーパーモード	2003/9	
13	マグナス	ROLLOUT	MA-14	ウルトラマグナス	2003/9	
14	バレル	LEADER-1	MD-01	メガトロン	2002/12	
15	グリッド	SWINDLE	MD-02	スタースクリーム	2002/12	
16	サーチ	BLACKOUT	MD-03	アイアンハイド	2002/12	
17	キャノン	CRUMPLEZONE	MD-04	サンドストーム	2002/12	
18	サンダー	INFERNO	MD-05	スラスト	2003/6	
19	ソニック	RAMJET	MD-06	ショックウェーブ	2003/7	
20	ホーク	WIND SHEER	MD-07	ランページ	2003/8	
21	スパークバレル	CLENCH	MD-08	メガトロン スーパーモード	2003/9	
22	スパークグリッド	ZAPMASTER	MD-09	スタースクリーム スーパーモード	2003/9	
23	スパークサーチ	POWERLINX BLACKOUT	MD-10	アイアンハイド スーパーモード	2003/9	
24	ウィーリー	HIGH WIRE	MM-01	ストリートアクションマイクロン	2002/12	
25	バンク	GRINDOR				
26	アーシー	SURESHOCK				
合体	バンブル	PERCEPTOR				
27	マッハ	JETSTORM	MM-02	エアディフェンスマイクロン	2002/12	
28	ジェッター	RUNWAY				
29	シャトラー	SONAR				
合体	スターセイバー	STAR SABER				
30	ボム	BONECRUSHER	MM-03	ランドミリタリーマイクロン	2002/12	
31	ショット	KNOCK OUT				
32	クラック	WRECKAGE				
33	クラッシュ	DRILL BIT	MM-04	デストラクションマイクロン	2002/12	
34	ホイール	BUZZSAW				
35	ダスター	DUALOR				
36	スピン	DOWNSHIFT	MM-05	レースマイクロン	2002/12	
37	ドリフト	DIRT BOSS				
38	インディー	MIRAGE				
合体	コスモテクター	SKYBOOM				
39	ジーク	SPIRAL	MM-06	ストリートスピードマイクロン	2002/12	
40	ニトロ	OVAL				
41	オート	BACKTRACK				
42	マッハ		MM-07	エアディフェンスマイクロンエクスディメンションズ	2002/12	
43	ジェッター					
44	シャトラー					
合体	スターセイバー					
45	ボム		MM-08	ランドミリタリーマイクロンエクスディメンションズ	2002/12	
46	ショット					
47	クラック					
48	クラッシュ		MM-09	デストラクションマイクロンエクスディメンションズ	2002/12	
49	ホイール					
50	ダスター					
51	スピン		MM-10	レースマイクロンエクスディメンションズ	2002/12	
52	ドリフト					
53	インディー					
合体	コスモテクター					
54	リーコン	TERRADIVE	MM-11	エアミリタリーマイクロン	2003/6	
55	グライド	GUNBARREL				
56	フレイム	THUNDERWING				
57	リーコン		MM-12	エアミリタリーマイクロンエクスディメンションズ	2003/7	
58	グライド					
59	フレイム					
60	ムーブ	PAYLOAD	MM-13	スペースマイクロン	2003/7	
61	アポロ	SKY BLAST				
62	ミール	ASTROSCOPE				
合体	アストロブラスター	REQUIEM BLASTER				
63	ムーブ		MM-14	スペースマイクロンエクスディメンションズ	2003/8	
64	アポロ					
65	ミール					
合体	アストロブラスター					
66	ノット	STORMCLOUD	MM-15	シーマイクロン	2003/8	
67	フロート	WATERLOG				
68	セイル	OCEANGLIDE				
69	ジャンク	ICEBERG	MM-16	アドベンチャーマイクロン	2003/8	
70	スパイク	DUNE RUNNER				
71	ウインチ	RANSACK				
72	マッド	JETSTORM	MM-17	エアアサルトマイクロン	2003/8	
73	ジャック	RUNWAY				
74	シェード	SONAR				
合体	ダークセイバー	DARK SABER				
75	セイル		MM-18	シーマイクロンエクスディメンションズ	2003/9	
76	ノット					
77	フロート					
78	ジャンク		MM-19	アドベンチャーマイクロンエクスディメンションズ	2003/9	
79	スパイク					
80	ウインチ					
81	ドラフト	FIREBOT	MM-20	エマージェンシーマイクロン	2003/9	
82	プロール	PROWL				
83	ツイスト	MAKESHIFT				
84	ドラフト		MM-21	エマージェンシーマイクロンエクスディメンションズ	2003/10	
85	プロール					
86	ツイスト					
87	シャドウ	CROSSWISE	MX-01	ダブルフェイス	2003/4	
88	ブライト	ROOK				
合体	ミラー	——				
89	バグ	DEAD END	MX-00	ユニクロン	2003/9	
90	アーマーハイド	ARMORHIDE	USA	ライノックス	2003/6	[ジ]
91	アイアンハイド	IRONHIDE	USA	テラザウラー	2003/6	[ジ]
92	ナイトスクリーム	NIGHTSCREAM	USA	エアラザー	2003/7	[ザらス]
93	サンダークラッシュ	THUNDERCLASH	USA	スカイワープ	2003/8	[ザらス]
94	ロッド			マイクロンブースター Ver.0	2003/8	[TFS]
95	アトラス					
96	マッハ					
97	ジェッター					
98	シャトラー					
合体	スターセイバー					
99	ドリフト					
100	スピン					
101	インディー					
合体	コスモテクター					
102	スウィープ	RUN-OVER		スカージ	2003/8	[テレマガ]
103	サイドバーン	SIDE BURN	USA	プレダコン	2003/9	[com]
104	スキッズ	SKID-Z				
105	クリフジャンパー	CLIFFJUMPER	USA	チーター	2003/9	[com]
106	クランプルゾーン	POWERLINX CRUMPLEZONE	USA	パワーリンクス サイクロナス	2003/9	[ラ]
107	インフェルノ	POWERLINX INFERNO	USA	パワーリンクス スラスト	2003/9	[ラ]
108	スパークサージ			クリスタルコンボイ	2003/9	[テレマガ]
109	コメッター	POWERLINX COMETTOR	USA	パワーリンクス ジェットファイヤー	2003/10	[ザらス]
110	コロナプライム	CORONA SPARKPLUG		マグナコンボイDXセット	2003/11	[ザらス]
111	マグナス					
112	ウィーリー					
113	バンク					
114	アーシー					
合体	バンブル					
115	インフェルノ	POWERLINX INFERNO	USA	パワーリンクス スラスト(レッドバージョン)	2003/12	[TC]
116	ボム			ランドミリタリーマイクロン アルティメットエディション	2003/1	[ザらス][ハ]配
117	ショット					
118	クラック					
119	クラッシュ			デストラクションマイクロン アンダーグローヴエディション	2003/1	[イ]配
120	ホイール					
121	ダスター					
122	ジーク			ストリートスピードマイクロン オーバードライブエディション	2003/1	[イ][WHF]配
123	ニトロ					
124	オート					
125	ウィーリー			ストリートアクションマイクロン アニメカラー	2003/2	[CD]
126	バンク					
127	アーシー					
合体	バンブル					
128	マッハ			エアディフェンスマイクロン アニメカラー	2003/2	[CD]
129	ジェッター					
130	シャトラー					
合体	スターセイバー					
131	ホイール			デストラクションホワイトマイクロン	2003/4	[TFS]
132	クラッシュ					
133	ダスター					
134	ボム	SCATTOR		ランドミリタリーマイクロン ナイトアタックエディション	2003/4	[ザらス]配
135	ショット	BROADSIDE				
136	クラック	FETCH				
137	バレル			テレマガとくせいブラックメガトロン	2003/5	[テレマガ]抽
138	ホイール			デストラクションマイクロン スペースギャラクシーエディション	2003/5	[ジ]配
139	クラッシュ					
140	ダスター					
141	プライム スーパーモード			プライム スーパーモード	2003/7	[てれび]配
142	プライム			金ピカ コンボイ	2003/7	[てれび]賞
143	スピン	DOWNSHIFT		レースマイクロン ロードアサルトエディション	2003/8	[イ]配
144	ドリフト	DIRT BOSS				
145	インディー	MIRAGE				
合体	コスモテクター	SKYBOOM				
146	マグナス			テレマガとくせいウルトラマグナス	2003/9	[テレマガ]抽
147	ソナー			金ぴかジェットファイヤー	2003/11	[テレマガ]抽
148	バグ			光のユニクロン	2004/2	[ムック]抽
149	レッドライン			ストリートスピードマイクロン スーパースタントチーム	2003/5	[DVD01]
150	フラットアウト					
151	サーボ					
152	トップギア			レースマイクロン スピードチェイサーチーム	2003/5	[DVD02]
153	ミッドシップ				2003/6	[DVD03]
154	テイルスライド				2003/7	[DVD04]
合体	マグナウイング					
155	ファルシア			エアミリタリーマイクロン ソニックアサルトチーム	2003/8	[DVD05]
156	コンバスタ				2003/10	[DVD06]
157	トゥワール				2003/10	[DVD07]
158	フリーブート			シーマイクロン アクアレイダーチーム	2003/11	[DVD08]
159	ビルジ				2003/12	[DVD09]
160	サンバーン				2004/1	[DVD10]
161	キングボルト			エマージェンシーマイクロン ハザードチーム	2004/2	[DVD11]
162	インパルサー				2004/3	[DVD12]
163	クェンチ				2004/4	[DVD13]
164	ドリルビット	DRILL BIT		ロードレッカーミニコンチーム	2003/4	[海外]
165	バズソー	BUZZSAW				
166	デュアラー	DUALOR				
167	ストームクラウド	STORMCLOUD		シーミニコンチーム(リカラー)	2003/11	[海外]
168	ウォーターログ	WATERLOG				
169	オーシャングライド	OCEANGLIDE				
170	ファイヤーボット	FIREBOT		エマージェンシーミニコンチーム(リカラー)	2003/11	[海外]
171	プロール	PROWL				
172	メイクシフト	MAKESHIFT				
173	パルス	SCATTOR	SC-08	エネルゴンセイバー	2003/12	
174	ビーム	WRECKAGE				
175	レーザー	SKYBOOM				
合体	エネルゴンセイバー	ENERGON SABER				
176	ホッパー	HIGH WIRE	SC-09	クリフジャンパー	2004/2	
177	チャージ	SURESHOCK				
178	ランウェイ	GRINDOR				
合体	クリフジャンパー	PERCEPTOR				
179	サーチ	BLACKOUT	SD-02	アイアンハイド	2003/12	
180	キャノン	CRUMPLEZONE	SD-03	サンドストーム	2003/12	
181	ソニック	RAMJET	SD-04	ショックウェーブ	2003/12	
182	バグ	DEAD END	MX-00	ユニクロン ブラックカラーバージョン	2004/7	
183	クローム			マイクロンブースターVer.1	2004/1	
184	サイリスタ					
185	シナプス					
186	レンズ					
187	クォンタム					
188	ビーコン					
合体	ブリザードセイバー					
189	マイル					
190	ホバー					
191	ソーラー					
192	トルク					
193	クランチ					
194	スポイル					
195	ノックアウト	KNOCK OUT	USA	ウルトラマグナス&スペースマイクロン	2004/3	[TC]
196	ムーブ	PAYLOAD				
197	アポロ	SKY BLAST				
198	ミール	ASTROSCOPE				

略称 [ザらス]トイザらス（日本） [ジ]ジャスコ [イ]イトーヨーカドー [TFS]トランスフォーマーステーション加盟店 [TC]トイカード加盟店 [ラ]ラオックス [ハ]ハローマック [上]上新電機 [ビ]ビックカメラ [ヨ]ヨドバシカメラ [エ]エディオングループ [量]一部量販店 [ロ]ローソン [コ]コンビニエンスストア [com]トイザらスドットコム [e]e-HOBBY SHOP [WHF]次世代ワールドホビーフェア [テレマガ]テレビマガジン [てれび]てれびくん [ムック]マイクロン伝説 YEAR BOOK [CD]CD初回限定特典 [DVD]『超ロボット生命体トランスフォーマー マイクロン伝説』DVD初回限定特典 [カード]「トランスフォーマー公式カード」入会特典 [海外]海外一般発売商品 [WAL]WAL MART [COS]COSTCO [SAM]SAM'S CLUB [TRU]トイザらス（米国） [KM]K mart [TCC]Transformers Collectors' Club [BOT]BOTCON [OTFCC]Official Transformers Collectors Convention

配:キャンペーンによる無料配布 抽:店頭キャンペーンおよび雑誌懸賞の景品 賞:コンテスト入賞者への賞品

カウント	名称	USA名	製品No.	商品名／チーム名	発売月	入手方法
合体	アストロブラスター	REQUIEM BLASTER				
199	セイバー			マイクロンブースターVer.2	2004/6	
200	プロセッサ					
201	トライアック					
202	エフェクト					
203	シーカー					
204	ブリッツ					
205	クラスター					
206	ローター					
207	グルーブ					
208	ブレーキ					
209	ダンパー					
210	フィルター					
合体	フレンジー					
211	アクセル			ウィンドチャージャー	2004/4	[ザらス] 配
212	スロットル				2004/8	[ザらス] 配
213	スクリュー				2004/9	[ザらス] 配
合体	ウィンドチャージャー					
214	ロールバー	ROLLBAR		トレッドボルト	2003/11	[海外]
215	ナイトクルーズ	NIGHTCRUZ		ラピッドラン	2003/12	[海外]
216	ナイトスクリーム	NIGHTSCREAM				
合体	（ナイトクリーパー）	（NIGHTCREEPER）				
217	ロングアーム	LONGARM		プロール&スタースクリーム	2004/8	[SAM]
218	ザップマスター	ZAPMASTER				
219	コロナスパークプラグ	CORONA SPARKPLUG		オプティマスプライム&オーバーロード	2004/11	[COS]
220	ロールアウト	ROLLOUT				
221	ハイワイアー	HIGH WIRE		エネルゴンキッカー&ハイワイアー	2004/12	[海外]
222	ルーツ	SAFEGUARD	GC-03	ベクタープライム	2004/12	
223	ホップ	JOLT	GC-07	マイクロンチーム	2004/12	
224	ブリット	SIX-SPEED				
225	バンパー	REVERB				
226	シアーナ	SPIRAL	GC-08	オートマイクロン	2004/12	
227	ガゼンダ	BACKTRACK				
228	スロー	OVAL				
229	ホリブル	DRILL BIT	GC-23	メガロコンボイ	2005/9	
230	バグジェネラル			マイクロンブースターVer.3	2005/3	
231	バグドローン					
232	ゲージ					
233	クランプ					
234	トリガー					
235	レンチ					
236	ソケット					
237	プライヤー					
238	ビット					
239	ダイス					
240	ジャッキ					
241	プラグ					
242	キリブル	STRIPMINE	USA	ブレンダル	2006/10	[e]
243	ブルブル	HEAVY LOAD	USA	モールダイブ	2006/10	[e]
244	ヘルフレイムグラビトン			ヘルフレイムマイクロン	2005/3	[ジ] 配
245	ヘルフレイムクエーサー				2005/3	[イ] 配
246	ヘルフレイムパルジ				2005/6	[TFS] 配
247	ヘルフレイムグラビトン			ヘルフレイムマイクロン ホワイトバージョン	2005/4	[ジ] 配
248	ヘルフレイムクエーサー				2005/4	[ジ] 配
249	ヘルフレイムパルジ				2005/4	[ジ] 配
250	プラティナムファクター			プラティナムマイクロン	2005/4	[ザらス] 配
251	プラティナムエレメント				2005/7	[ザらス] 配
252	プラティナムマテリアル				2005/9	[ザらス] 配
253	キャリバーイチビ			キャリバーマイクロン	2005/7	[イ] [ハ] 配
254	キャリバーヒャクライ				2005/7	[イ] [TFS] 配
255	キャリバームゲン				2005/7	[上] 配
256	メガログリットビット			メガロマイクロン	2005/9	[ハ] 配
257	メガロザップマップ				2005/9	[上] 配
258	メガロジグザグ				2005/10	[TFS] 配
259	ホリブル			金ぴかメガロコンボイ	2005/11	[テレマガ] 抽
260	ミラージ	MIRAGE		ホットショット／オーバーライド	2006/1	[WAL]
261	ダートボス	DIRT BOSS		ランドマイン／レッドアラート	2006/1	[WAL]
262	ダウンシフト	DOWNSHIFT		ダートボス／サンダークラッカー	2006/1	[WAL]
合体	スカイブーム	SKYBOOM				[WAL]
263	ロングアーム	LONGARM		ジャイアントプラネットミニコンチーム	2006/7	[海外]
264	ディープダイブ	DEEPDIVE				
265	オーバーキャスト	OVERCAST				
266	セーフガード	SAFEGUARD		ギャラクシーフォースベクタープライム	2006/9	[海外]
267	ジョルト	JOLT		シャドーリーコンミニコンチーム	2006/10	[海外]
268	シックススピード	SIX-SPEED				
269	リバーブ	REVERB				
270	ショックウェーブ	SHOCKWAVE		ショックウェーブVSタンカー	2005/11	[海外]
271	タンカー	TANKOR				
272	スカイリンクス	SKY LYNX		スカイリンクスVSサンダーブラスト	2005/11	[海外]
273	サンダーブラスト	THUNDERBLAST				
274	レーザークロー	RAZORCLAW		レーザークローVSスチームハンマー	2005/11	[海外]
275	スチームハンマー	STEAMHAMMER				
276	スキャッターブレイン	SCATTORBRAIN		スキャッターブレインVSモノクル	2006/1	[海外]
277	モノクル	MONOCLE				
278	ペイロード	PAYLOAD		ペイロードVSアセンター	2006/1	[海外]
279	アセンター	ASCENTOR				
280	コブシ	KOBUSHI		コブシVSランドスライド	2006/1	[海外]
281	ランドスライド	LANDSLIDE				
282	サンストーム	SUNSTORM		サンストームVSチェックポイント	2006/3	[海外]
283	チェックポイント	CHECKPOINT				
284	スラスト	THRUST		スラストVSアンチブレイズ	2006/3	[海外]
285	アンチブレイズ	ANTI-BLAZE				
286	ラムジェット	RAMJET		ラムジェットVSサイズ	2006/3	[海外]
287	サイズ	SCYTHE				
288	ブラストチャージ	BLASTCHARGE		ブラストチャージVSハイワイアー	2006/5	[海外]
289	ハイワイアー	HIGH WIRE				
290	スクラップアイアン	SCRAP IRON		スクラップアイアンVSグラインダー	2006/5	[[海外]
291	グラインダー	GRINDOR				
292	バックブラスト	BACKBLAST		バックブラストVSシュアショック	2006/5	[海外]
293	シュアショック	SURESHOCK				
合体	アンブラルブラスター	UMBRAL BLASTER				[海外]
合体	パーセプター	PERCEPTOR				[海外]
294	テラダイブ	TERRADIVE	USA	ストッケード&マグナスタンピード	2004/7	[e]
295	プロール	PROWL				
296	サンダーウイング	THUNDERWING	USA	ファイヤーフライト	2004/7	[e]
297	ファイヤーボット	FIREBOT				
298	ガンバレル	GUNBARREL	USA	オートボットホワール	2004/7	[e]
299	メイクシフト	MAKESHIFT				
300	ロードハンドラー	ROADHANDLER	USA	スワーブ	2004/9	[e]

カウント	名称	USA名	製品No.	商品名／チーム名	発売月	入手方法
301	インフェルノ	INFERNO		サンストーム	2004/2	[WAL]
302	ハイワイアー	HIGH WIRE				
303	グラインダー	GRINDOR				
304	シュアショック	SURESHOCK				
合体	パーセプター	PERCEPTOR				
305	サンダークラッシュ	THUNDERCLASH		ラムジェット	2004/3	[TRU]
306	テラダイブ	TERRADIVE				
307	サンダーウイング	THUNDERWING				
308	ガンバレル	GUNBARREL				
309	サーチ&デストロイロボット	SEARCH & DESTROY ROBOT		クリスタルウィドーVSオイルスリック	2004/7	[海外]
310	オーバーラン	OVER-RUN		ウルトラマグナスVSトレッドショット	2004/10	[海外]
311	ナイトビート	NIGHTBEAT				
312	リフター	LIFTOR		スモークスクリーンVSランサック	2004/10	[海外]
313	リフュート	REFUTE				
314	テラーソアー	TERRORSAUR		ダイノボット	2006/12	[海外]
315	ノックダウン	KNOCKDOWN				
316	スウープ	SWOOP				
317	ストロングアーム	STRONGARM		ナイトレスキューチーム	2006/12	[海外]
318	ダイブボム	DIVEBOMB				
319	ファイヤーボット	FIREBOT				
320	サンダーウイング	THUNDERWING		クリアースカイズチーム	2007/1	[海外]
321	スチールウィンド	STEEL WIND				
322	ナイトスクリーム	NIGHTSCREAM				
323	ワイドロード	WIDELOAD		デモリッションチーム	2006/12	[海外]
324	スレッジ	SLEDGE				
325	ブロードサイド	BROADSIDE				
326	スナール	SNARL		プレデターアタックチーム	2007/1	[海外]
327	ドレッドウイング	DREADWING				
328	オーバーバイト	OVERBITE				
329	オイルスリック	OIL SLICK		ダートディガーチーム	2007/1	[海外]
330	ダートロケット	DIRT ROCKET				
331	グラインダー	GRINDOR				
332	ラッドローグ			マイクロンブースターVer.4 恒久の対決篇（エターナルプリズナー）	2007/7	[コ]
333	グレデター					
334	エイペクサス					
335	ウインドレイザー					
336	ナッシュティース					
337	レプティクス					
338	アイアンランジ					
339	リフューザー					
340	ロックブレード					
341	ディテクタス					
342	クロムバイト					
343	ロングアーム	LONGARM		インフェルノ	2008/6	[TRU]
344	ドリルビット	DRILL BIT		ヘビーロード	2008/7	[海外]
345	バックストップ	BACKSTOP		ミニコンクラス12パック	2008/10	[KM]
346	ボディブロック	BODYBLOCK				
347	ノックダウン	KNOCKDOWN				
348	ヘビートレッド	HEAVYTREAD				
349	メイクシフト	MAKESHIFT				
350	フラットフット	FLATFOOT				
351	サプレッサー	SUPPRESSOR				
352	ブライト	BLIGHT				
353	ブリムストーン	BRIMSTONE				
354	クラウドレーカー	CLOUDRAKER				
355	ボルトフラッシュ	BOLTFLASH				
356	スカイハンマー	SKYHAMMER				
357	セーフガード	SAFEGUARD		ベクタープライム	2008/12	[海外]
358	ジョルト	JOLT	C-17	サイバトロンホットロッド	2009/3	
359	トルクゲイン			トルクゲイン	2007/7	[ジ] 配
360	ウェッジシェイプ			ウェッジシェイプ	2007/7	[量] 配
361	ノイズイフェクト			ノイズイフェクト	2007/7	[イ] 配
362	ドラゴエール			ドラゴエール	2007/8	[テレマガ] 抽
363	スカイグライド			スカイグライド	2008/3	[ザらス] 配
364	クレイドン			サントリーコーヒーボストランスフォーマーオリジナルフィギュア	2008/8	[コ]
365	シーウェイブ					
366	サイバトロンスリング			トランスフォーマーカード会員限定マイクロン	2009/4	[カード] 配
367	デストロンボルター					
368	ガーディアンスカイ			ガーディアンマイクロン	2009/5	[ザらス] 配
369	ガーディアンパワード					[ビ] [ヨ] [上] [エ] 配
370	ガーディアンスピード					[ビ] [ヨ] [上] [エ] 配
371	マイティードザー			マイティーマイクロン	2009/8	[ザらス] 配
372	マイティーストラ					[ビ] [ヨ] [上] [エ] 配
373	マイティーブル					[ビ] [ヨ] [上] [エ] 配
374	キャリバーン	CALIBURN		メガザラック	2004/7	[OTFCC]
375	エイプリンク	APE-LINQ		センチネルマキシマス	2004/11	[OTFCC]
376	スターキャッチャー	STARCATCHER		アストロトレイン	2007/3	[TCC]
377	アストロフック	ASTRO-HOOK				
378	アストロライン	ASTRO-LINE				
379	アストロシンカー	ASTRO-SINKER				
380	ベータマックス	BETA MAXX		アルファートリン	2007/6	[BOT]
381	ウィスパー	WHISPER		サイドスワイプ&ブラー	2008/4	[BOT]
382	ラムページ	RAMPAGE				[BOT]
383	レーザークロー	RAZORCLAW		シャッタード・グラス ボックスセット	2008/4	[BOT]
384	ダイブボム	DIVEBOMB		メガトロン&ロディマス	2008/4	[BOT]

カウント	名称	USA名	製品No.	商品名／チーム名	発売月	入手方法
カバヤ食品						
385	ウィーリー			チェンジマイクロンVer.1	2003/4	
386	バンク					
387	アーシー					
合体	バンブル					
388	マッハ					
389	ジェッター					
390	シャトラー					
合体	スターセイバー					
391	スピン			チェンジマイクロンVer.2	2003/8	
392	ドリフト					
393	インディー					
合体	コスモテクター					
394	ムーブ					
395	アポロ					
396	ミール					
合体	アストロブラスター					
397	ホップ			マイクロンギャラクシー	2005/4	
398	ブリット					
399	バンパー					
400	ルーツ					

CATALOG MANIAX

［第3回］

TRANSFORMERS カタログコレクション

さて、カタログマニアックスのファイナル・ステージは1990年代に展開されたヨーロッパ版G1シリーズを中心にお送りしよう。特に1991年以降はアメリカでの商品展開が終了し、海外においてヨーロッパが販売拠点となった事実も加味すれば、そのポジションはトランスフォーマーの歴史の中でも特に重要と言える。

1990（ドイツ版）

▲表紙はパワーマスター版コンボイ。レイアウトの都合なのか、両肩のレーザーがカットされており、ライフルも描き直されている。

INHALT:

S. 4		CLASSIC STUNTICONS
S. 5		CLASSIC AERIALBOTS
S. 6		CLASSIC TEAM LEADERS
S. 7		CLASSIC HEROES
S. 8		PRETENDER FAHRZEUGE
S. 9		PRETENDER CLASSICS
S. 10		TRANSFORMERS VIDEO-CASSETTEN
S. 11		MICROMASTER TRANSPORTS
S. 12	NEU!	MICROMASTERS
S. 13	NEU!	MICROMASTERS
S. 14		MICROMASTER SPACE SHUTTLE
S. 15		MICROMASTER ROCKET BASE
S. 16	NEU!	MICROMASTER COMBINERS
S. 18	NEU!	MICROMASTER COMBINER TRANSPORTS
S. 20	NEU!	MICROMASTER COMBINER ANTI-AIRCRAFT BASE
S. 21	NEU!	MICROMASTER COMBINER AUTOBOT HEADQUARTERS
S. 22	NEU!	ACTION MASTER FIGUREN
S. 24		TRANSFORMERS COMIC-MAGAZIN
S. 25	NEU!	ACTION MASTER BLASTER FAHRZEUGE
S. 26	NEU!	ACTION MASTER AUTOBOT FAHRZEUGE
S. 27	NEU!	ACTION MASTER DECEPTICON FAHRZEUGE
S. 28	NEU!	ACTION MASTER OPTIMUS PRIME MIT ARMORED CONVOY
S. 29		POWERMASTER OPTIMUS PRIME
S. 30		GEWINNSPIEL

TRANS FORMERS

ORIGINAL HASBRO TRANS FORMERS

In den unendlichen Tiefen des Universums ist alles voller Geheimnisse und Abenteuer, das ist das Reich der TRANSFORMERS. In dieser einzigartigen Science-Fiction-Welt leben die Autobots mit ihrem großen Helden Optimus Prime.

Ihre Gegner sind die Decepticons. Sie sind eigenwillige und tückische Action-Roboter, die alles versuchen, um die Macht über das Universum zu erlangen.

In diesem Journal möchten wir Dir nun diese super TRANSFORMERS vorstellen. Jeder von ihnen ist stark verwandelbar, beweglich und bis ins Detail voll funktionsfähig. Die TRANSFORMERS bieten Dir die absolute Super-Spielaction in einer galaktischen neuen Zukunftswelt. Komm mit in die abenteuerliche Welt der TRANSFORMERS und erlebe selbst die große Power, die in ihnen steckt!

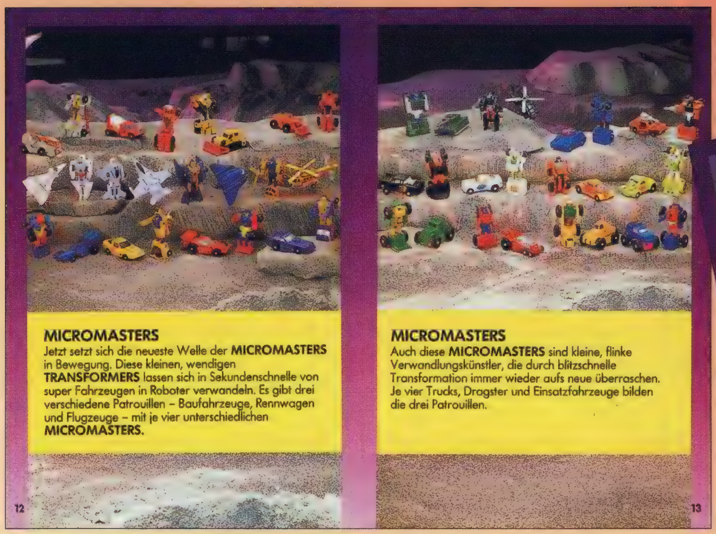
MB/HASBRO, POSTFACH 2053, 8510 FÜRTH

3

▲目次にはニューアイテムが一目で分かるように赤字のマークが付けられている。扉には1990年度のストーリーを掲載。なお、扉に登場しているホースヘッドとクロスヘアーズの商品は本カタログには掲載されていない。

▲エアーボット、スタントロンのリーダーもクラシックシリーズとして再販され、5体を集めることで合体遊びを楽しむことができた。右ページにはやはり再販版のオートボットが掲載。基本的な仕様は当時物と変わらないが、シークレットエンブレムは削除された。

▲1990年代のヨーロッパ展開の特徴として、1984～1986年度のキャラクターのクラシック（再販）シリーズが挙げられる。この再販はアメリカでは行われておらず、日本でもダイノボットやエアーボットが有料頒布品として販売されたのみであった。写真はスタントロンとエアーボット。



▲1989年より引き続いて展開されたマイクロマスターシリーズ。2年目にはラインナップが増えただけでなく、モチーフのバラエティ感も増している。

▲1990年より登場した新戦力、コンバイナー。マイクロマスターが前後に合体して、ビークルモードとなるというもの。コンバイナー同士で様々な合体バリエーションを作り出すことができる。

▲やはり1990年に導入されたコンバイナートランスポート。マイクロマスターと基地が、いずれも前後に分離するというコンセプト。他のコンバイナーとの連結も可能となっている。

▲コンバイナーシリーズのフラッグ・アイテムである大型基地。分離と合体のシステムがより凝ったものとなっている。サイバトロンはトレーラー、デストロンは戦車というコンセプトはアクションマスターのコンボイとメガトロンにのっとったものと思われる。

▲1990年はアメリカと同様に、アクションマスターも同時展開。左ページにはコミックスの広告が掲載。表紙は描き下ろされているが、内容はイギリス版コミックと同じものであった。

▲アイテム紹介の最終ページ。トリを飾るのはコンボイであり、アクションマスターとパワーマスターが同じページに掲載されているのが面白い。

1991（ベルギー版）

▼アメリカにおける展開が終了し、ヨーロッパに中枢が移された1991年度。そのメインキャラクターは『トランスフォーマーV』のブレインマスター・ブラッカー、ラスター、ブレイバー、そして『超神マスターフォース』のオーバーロードという日本オリジナルトランスフォーマーが海外遠征する形となった。

▲表紙の裏面にはクラシックチームのカテゴリーで再販された、プロテクトボットとコンバットロンを大きくフィーチャリング。この2体は後の1993年に日本でガードシティ、およびバトルガイアーとして発売されている。

◀クラシックカテゴリーのオートボットは1991年にラインナップが一部変更され、アイアンハイドとサンストリーカーの代わりにランボルとトラックスが加わることになった。

▶アメリカでは1年で終了したアクションマスターだが、ヨーロッパでは2年目に突入。ランボル、トラックス、ボンブシェルなどのかつての人気キャラクターも加わっている。

▲アクションマスター用ビークルにはエクソ・スーツという新コンセプトが導入され、アクションマスターが乗るだけなく、パワード・スーツとして装着できるようになった。さらに電動走行&歩行アクションを内蔵したデラックスバージョン（右ページ掲載）も発売。

▲新展開アイテムのひとつ、アクションマスターエリート。変形ギミックを備えたアクションマスターである。モチーフはオメガスプリーム、ブラックザラック（ダブルパンチ）、ブルーティカス（ターボマスター）と過去の大型アイテムからセレクトされていた。

▶1991年度の重点キャラクターのひとつ、モーターベイター。日本のブレインマスターの成形色を変更したものだが、合体用の外装パーツが同梱されていないため、ロードシーザーへ合体することはできない。

◀やはり本年度の重点キャラクターであるオーバーロード。こちらは生産地の刻印以外は基本的に日本で販売されたものと特に変化はない。最終ページに掲載されたアイテムでもあり、その重要度をうかがい知ることができる。

1991（ドイツ版）

▼表紙はモーターベイターとオーバーロードの対決だが、裏表紙はパワーマスター版コンボイが登場。ドイツではあくまでサイバトロンの中核アイテムはコンボイとされていた。

▼ドイツ版カタログは、独自にアイテムを新撮し、よりグラフィカルな誌面となっている。なお、同年度のベルギー版カタログに関してはマイクロマスター関連は未掲載であった。

▲ドイツではクラシックシリーズに新たにスロットルボットが加わる。ゴールドバックをはじめとする全6種が再販された。逆にこちらではオートボットは発売されていないようだ。

▲クラシックシリーズに新たに追加されたダイノボット、およびトリプルボットとトリプルトロン。こちらもドイツが先行していたようだ。他にグリムロックも発売されていた。

▼重点キャラクターのモーターベイターとオーバーロード。グリッパーもオーバーロードもカラーリング検討用の試作品であり、グリッパーはクリアパーツ、オーバーロードはメッキ部分や付属品のカラーリングが異なっている。

▲カタログの中央ページにはオーバーロードとコンボイの対決をイメージしたグラビアが掲載。まさに『超神マスターフォース』のスーパージンライとオーバーロードの決戦がドイツの地で再現されていたのだ。

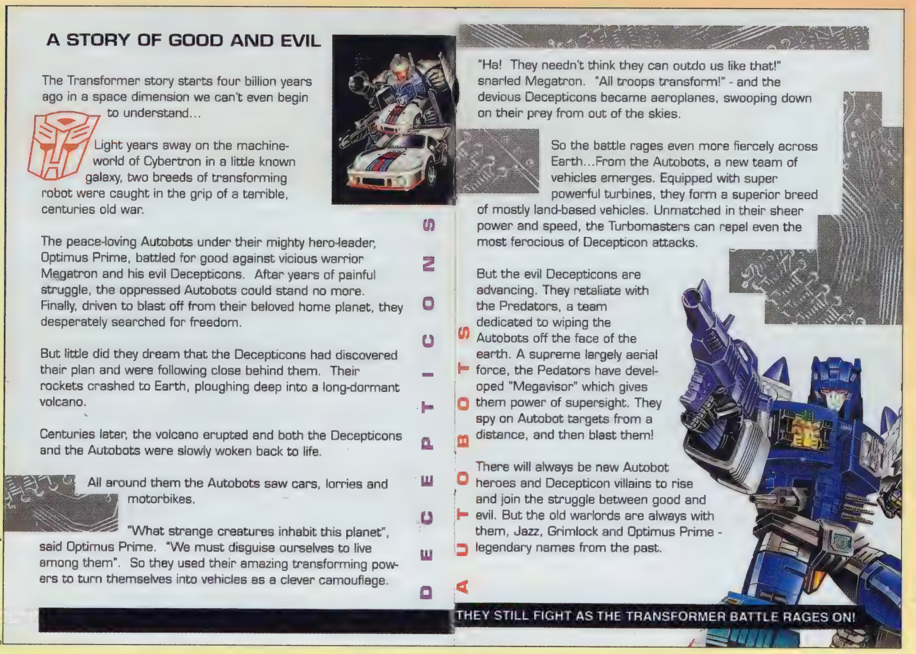
▲パワーマスター版コンボイの掲載ページ。2ページを割いて紹介されており、発売から3年目にもかかわらず、その根強いコンボイ人気に驚かされる。右ページにはアクションマスターを掲載している。

▲1991年度に導入された新アクションマスターの紹介ページ。よりアクションを強調したメイン写真に心惹かれるものがある。右ページにはアクションマスターエリートも掲載。

▲エクソ・スーツに関しては、まだキャラクターの組み合わせが決まっていなかったようで、スタースクリームやデバスター、ランボル、トラックス、トレッドショットが使用されている。

1991(イギリス版)

◀1992年のヨーロッパ展開はアメリカから引き継いだ路線の継承を中止して、独自の商品展開を行うようになっていく。表紙を飾るのはターボマスターのローターストーム。



A STORY OF GOOD AND EVIL

The Transformer story starts four billion years ago in a space dimension we can't even begin to understand...

Light years away on the machine-world of Cybertron in a little known galaxy, two breeds of transforming robot were caught in the grip of a terrible, centuries old war.

The peace-loving Autobots under their mighty hero-leader, Optimus Prime, battled for good against vicious warrior Megatron and his evil Decepticons. After years of painful struggle, the oppressed Autobots could stand no more. Finally, driven to blast off from their beloved home planet, they desperately searched for freedom.

But little did they dream that the Decepticons had discovered their plan and were following close behind them. Their rockets crashed to Earth, ploughing deep into a long-dormant volcano.

Centuries later, the volcano erupted and both the Decepticons and the Autobots were slowly woken back to life.

All around them the Autobots saw cars, lorries and motorbikes.

"What strange creatures inhabit this planet", said Optimus Prime. "We must disguise ourselves to live among them". So they used their amazing transforming powers to turn themselves into vehicles as a clever camouflage.

DECEPTICONS

"Ha! They needn't think they can outdo us like that!" snarled Megatron. "All troops transform!" - and the devious Decepticons became aeroplanes, swooping down on their prey from out of the skies.

So the battle rages even more fiercely across Earth...From the Autobots, a new team of vehicles emerges. Equipped with super powerful turbines, they form a superior breed of mostly land-based vehicles. Unmatched in their sheer power and speed, the Turbomasters can repel even the most ferocious of Decepticon attacks.

But the evil Decepticons are advancing. They retaliate with the Predators, a team dedicated to wiping the Autobots off the face of the earth. A supreme largely aerial force, the Pedators have developed "Megavisor" which gives them power of supersight. They spy on Autobot targets from a distance, and then blast them!

There will always be new Autobot heroes and Decepticon villains to rise and join the struggle between good and evil. But the old warlords are always with them, Jazz, Grimlock and Optimus Prime - legendary names from the past.

AUTOBOTS

THEY STILL FIGHT AS THE TRANSFORMER BATTLE RAGES ON!

▶物語に一度リセットをかける意味合いもあるのか、長文によるストーリーが掲載された。挿絵に使用されているプリテンダーのマイスター、オーバーロードは物語には未登場。

◀サイバトロンの新戦士、ターボマスター(左ページ掲載)とデストロンの新たなる脅威であるプレデター。このカタログには商品の個別名称は一切掲載されておらず、まだネーミングが決定する前に作成されたようだ。

▶ターボマスターのローターストームとプレデターのストーカー。1992年度のヨーロッパ展開は、変形ロボット同士の対決にコンセプトを戻している。また、妙にポップなカラーリングも大きな特徴となっている。

TRANS FORMERS

new

1. LARGE PREDATOR

TRANS FORMERS

2. LARGE TURBOMASTER

▲本年度の重点キャラクターであるスカイクェイク（左）とサンダークラッシュ。トレーラーと大型爆撃機の対決という構図が1980年代のサイバトロンとデストロンを想起させる。なお、スカイクェイクはプレデターと合体することでそのメガバイザーをスコープを通して見ることができた。

TRANS FORMERS

1. NEW CONSTRUCTICONS

2. RESCUE FORCE

◀ボディがイエローで成形されたニュービルドロン。合体パーツがセットされていないため、デバスターへ合体することはできない。レスキューフォースは元々『トランスフォーマーV』のブレストフォース4体で、パーツが一部変更されており、しかもサイバトロン扱いとなっている。

TRANS FORMERS

3. ORIGINAL OPTIMUS PRIME

▶クラシックシリーズには左のビルドロンが加わった他に、コンボイも新たにラインナップされている。やはりヨーロッパにおいても、コンボイの人気は大変根強いものがあったようだ。ちなみにモーターベイターは掲載されているが、オーバーロードは本年の時点でカタログ落ちしている。

▶1992年度は久々に大判のカタログも製作されている。掲載図版は76-77ページと同じものが使用されているが、裏面にターボマスターとプレデターの対決を描いたコミックが掲載された。G1の世界に代わる新たなユニバースを生み出すべく、ハスブロUKが意欲に燃えていたことが伝わってくる。

1993(イギリス版)

▲表紙は昨年に続いてローターストーム。背景に飛んでいるのはスカイクェイクであり、本年度の新キャラクターはベールに隠されていた。

▲トラッコン、ライトフォーマー、アクセラレーター、スカイスコーチャーと新アイテムを一気に掲載。各々のキャラクターについては特に触れられておらず、コンセプトの紹介がメインとなっている。

▶アクアスピーダー、ストームトルーパー、そして大型アイテムのクレンチとパイロを掲載。ページの右隅にはプレゼントクイズが掲載されているが、出題の中にメガトロンの名前が記されているのが興味深い。

▲▶1993年度も大判カタログが製作された。図版は78ページ掲載のブックレットと同じものを使用しているが、アクアスピーダー、ライトフォーマー、ストームトルーパー、トラッコンの各アイテムごとの特徴がより詳細に述べられている。

BEASTWARS

ビーストウォーズの時代には、商品封入のカタログはほとんど作られることがなく、『スター・ウォーズ』『バットマン』『ジュラシック・パーク』等と混載となったものがいくつか存在するのみであった。

TRANSFORMERS

Design Maniax

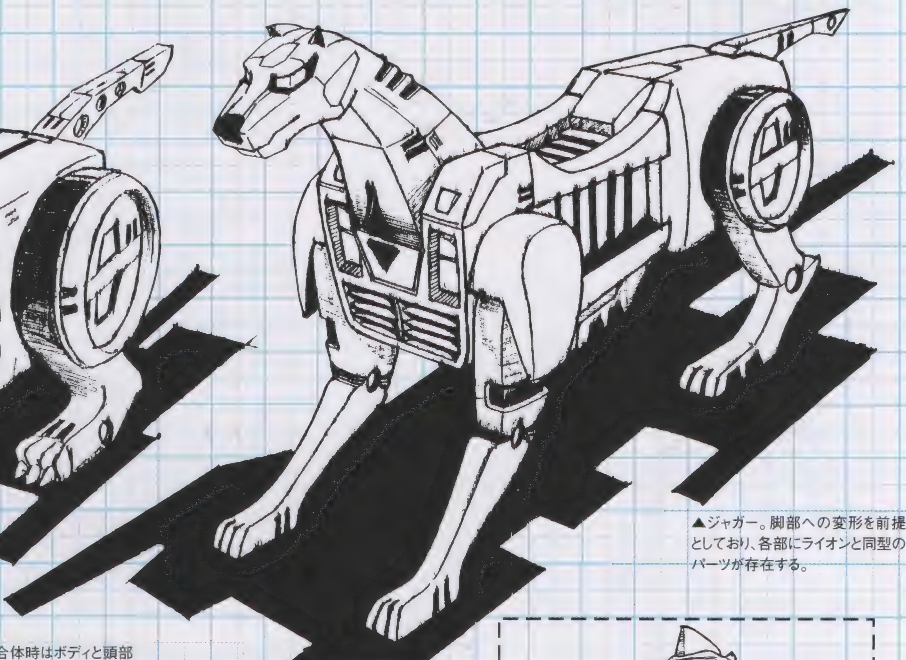
［第3回］

玩具用秘蔵デザインスケッチ集

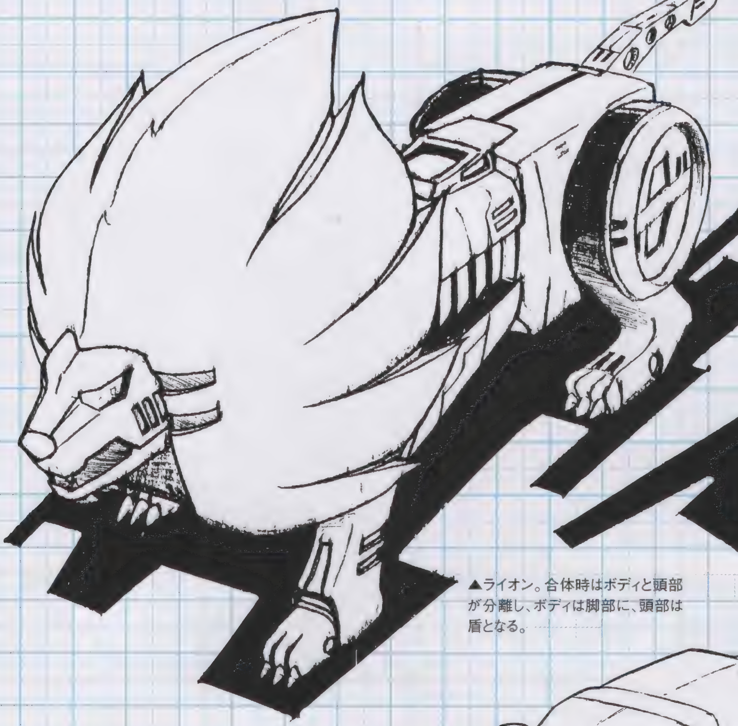
玩具開発過程で描かれた様々なデザイン案の中で、商品化に至らなかった幻のスケッチを紹介する「Design Maniax」。連載第3回は映画『トランスフォーマー／リベンジ』に合わせ、合体ロボットをメインにご紹介しよう。複数の変形ロボの合体というコンセプトは同じだが、それぞれに異なるモチーフや独自のギミックが備わっている。

アニマルロボ

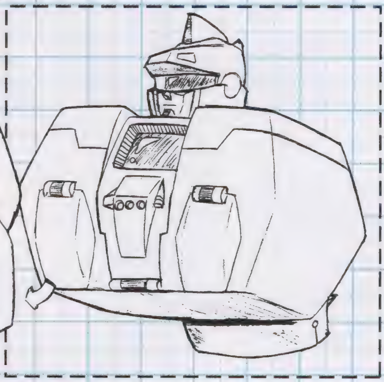
プレダキング等に代表されるアニマル合体ロボット案の一つ。合体後の全高は約100ミリとなるため、各ロボットはかなり小さいサイズを前提にしている。



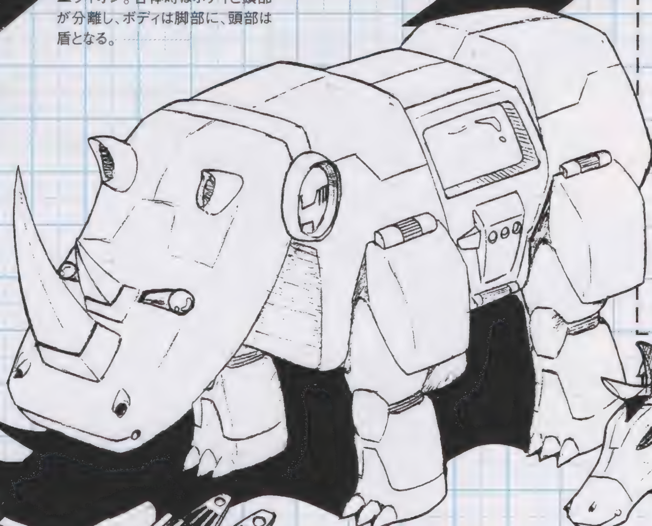
▲ジャガー。脚部への変形を前提としており、各部にライオンと同型のパーツが存在する。



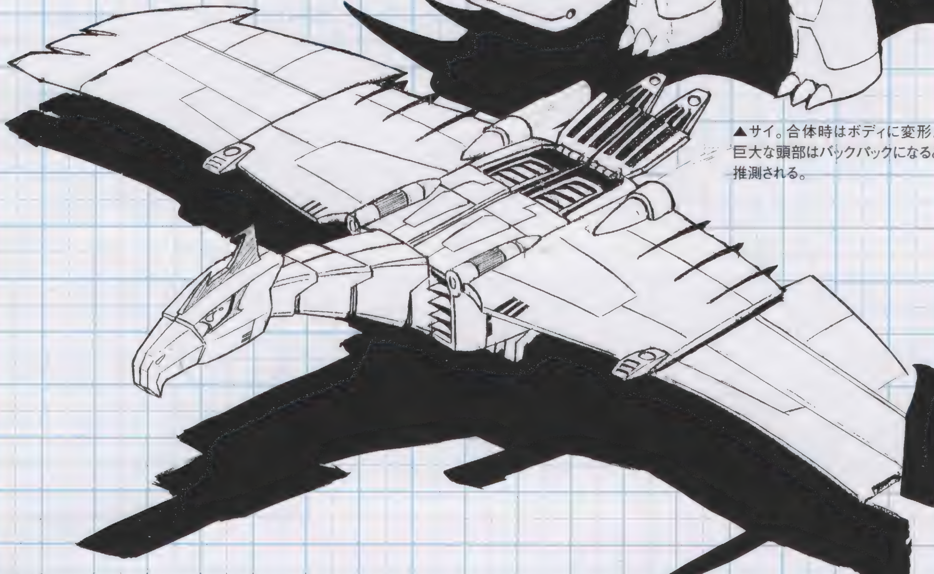
▲ライオン。合体時はボディと頭部が分離し、ボディは脚部に、頭部は盾となる。



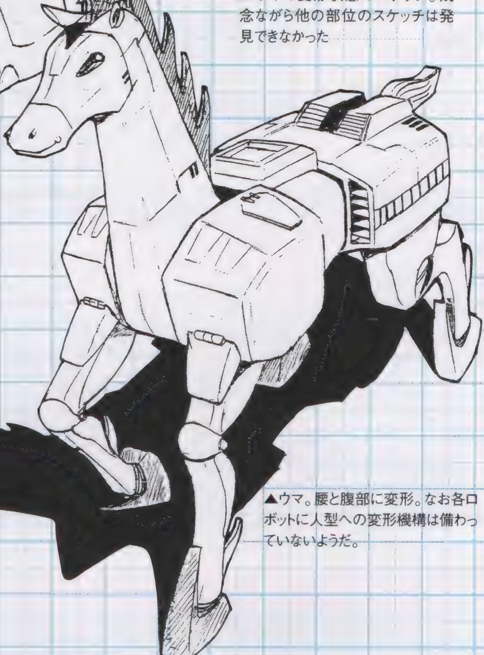
▲サイの変形状態のスケッチ。残念ながら他の部位のスケッチは発見できなかった



▲サイ。合体時はボディに変形。巨大な頭部はバックパックになると推測される。



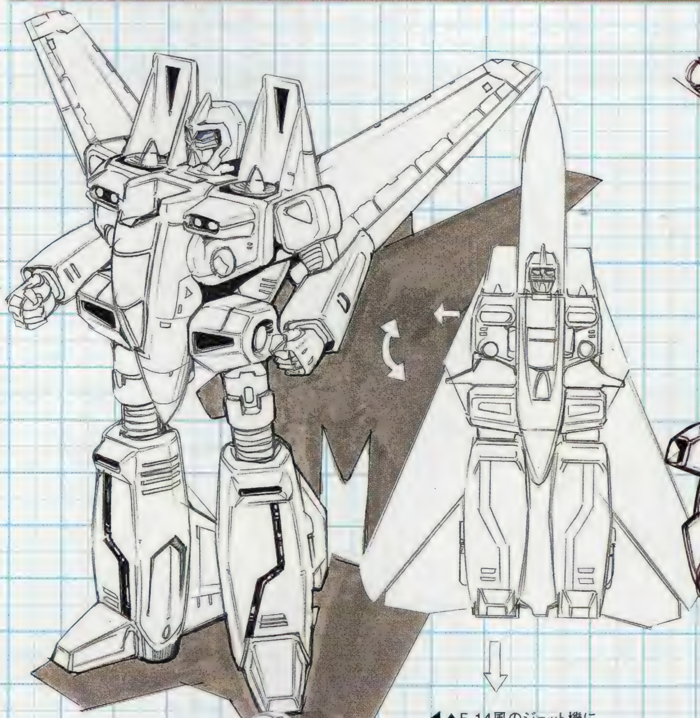
▼コンドル。ボディは合体後の両腕を構成。ウイングはそのまま背面の装備となる。



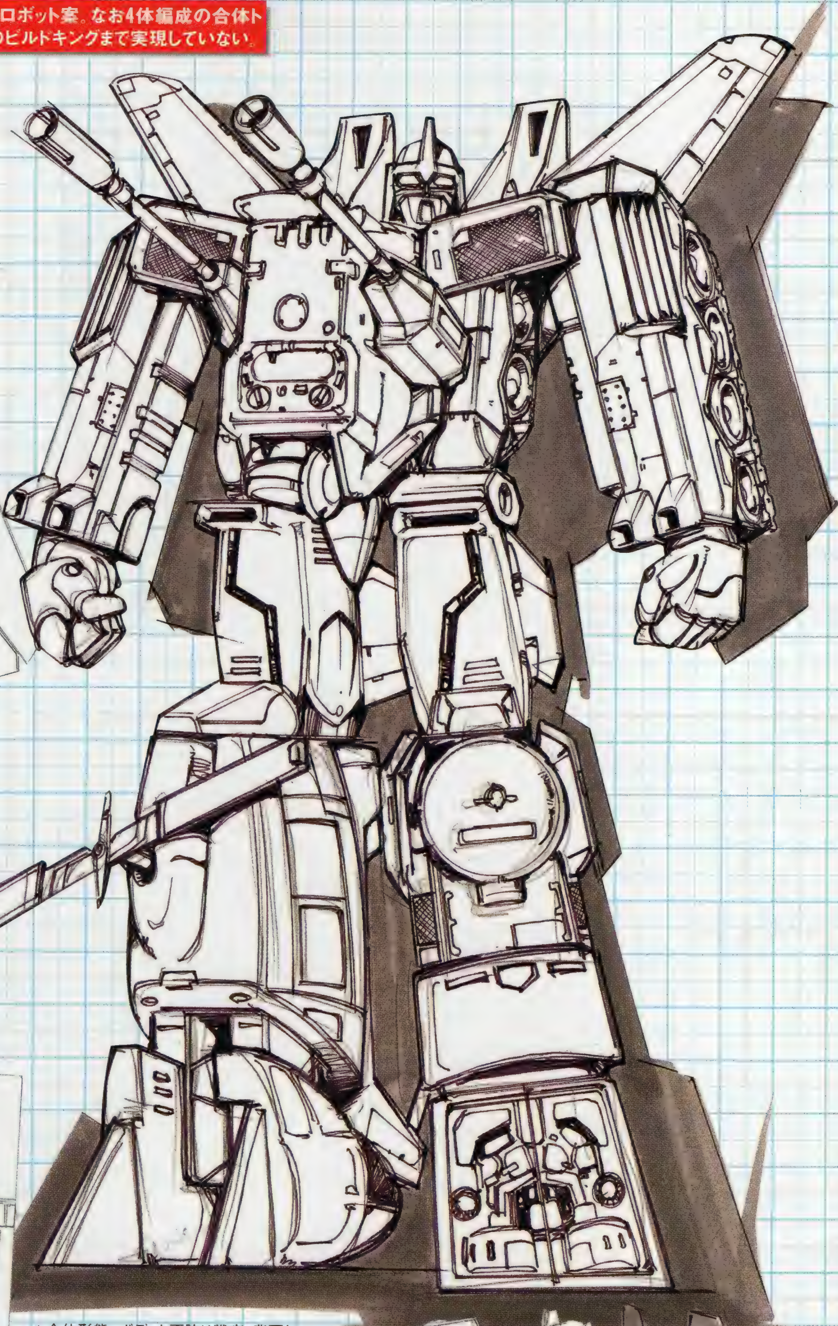
▲ウマ。腰と腹部に変形。なお各ロボットに人型への変形機構は備わっていないようだ。

4体合体ロボット

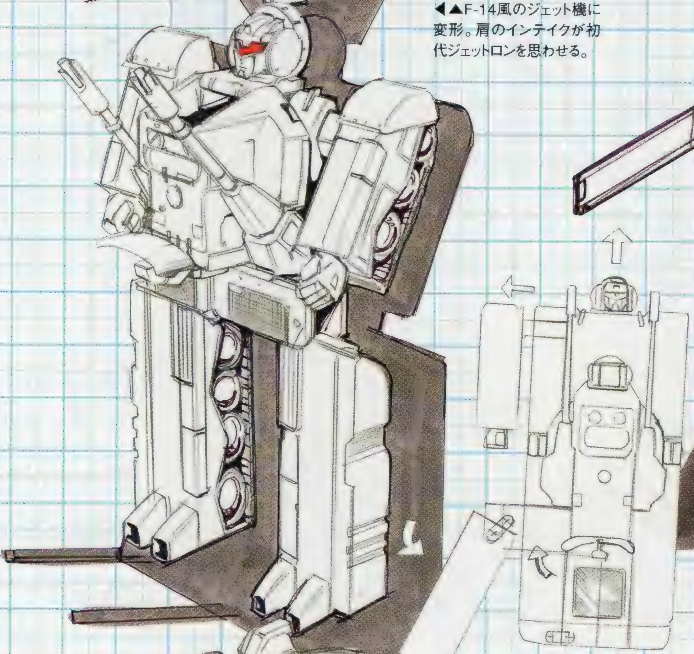
4機のビークル変形ロボで構成される合体ロボット案。なお4体編成の合体トランスフォーマーは珍しく、『カーロボット』のビルドキングまで実現していない。



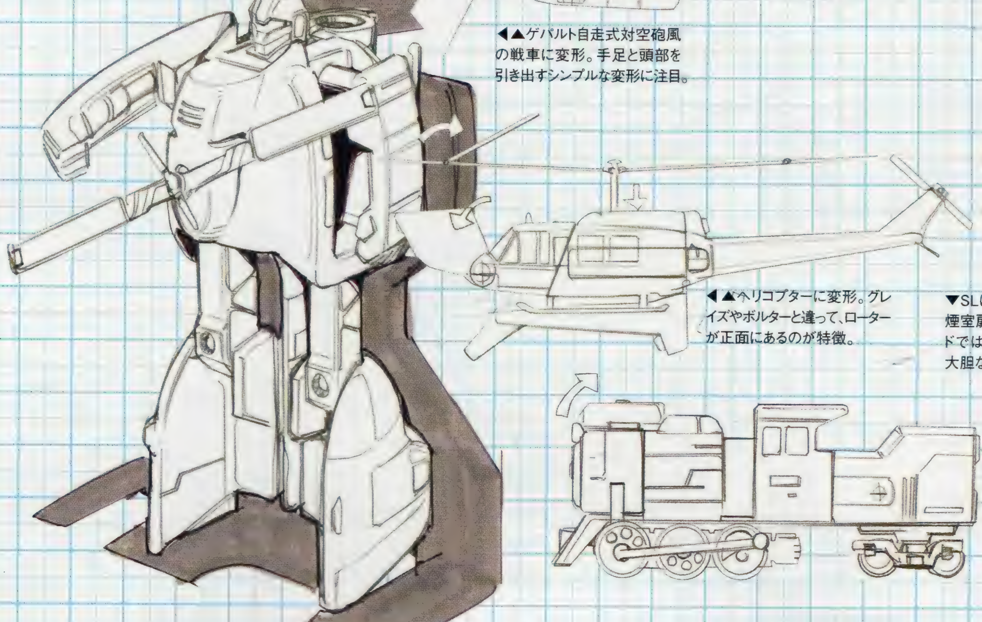
◀▲F-14風のジェット機に変形。肩のインテイクが初代ジェットロンを思わせる。



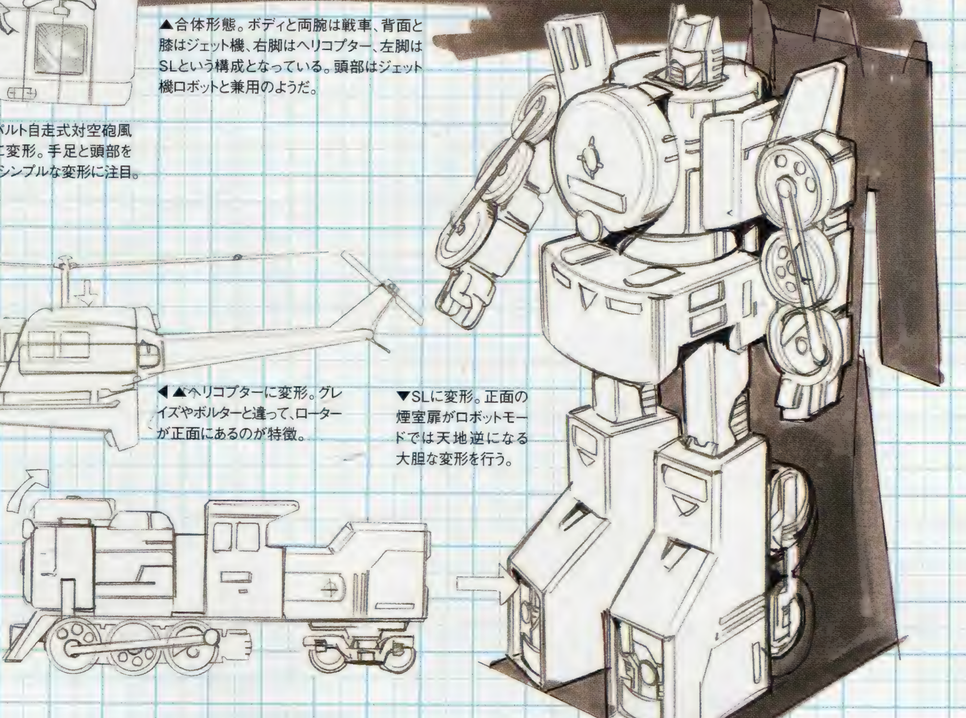
▲合体形態。ボディと両腕は戦車、背面と膝はジェット機、右脚はヘリコプター、左脚はSLという構成となっている。頭部はジェット機ロボットと兼用のようだ。



◀▲ゲパルト自走式対空砲風の戦車に変形。手足と頭部を引き出すシンプルな変形に注目。



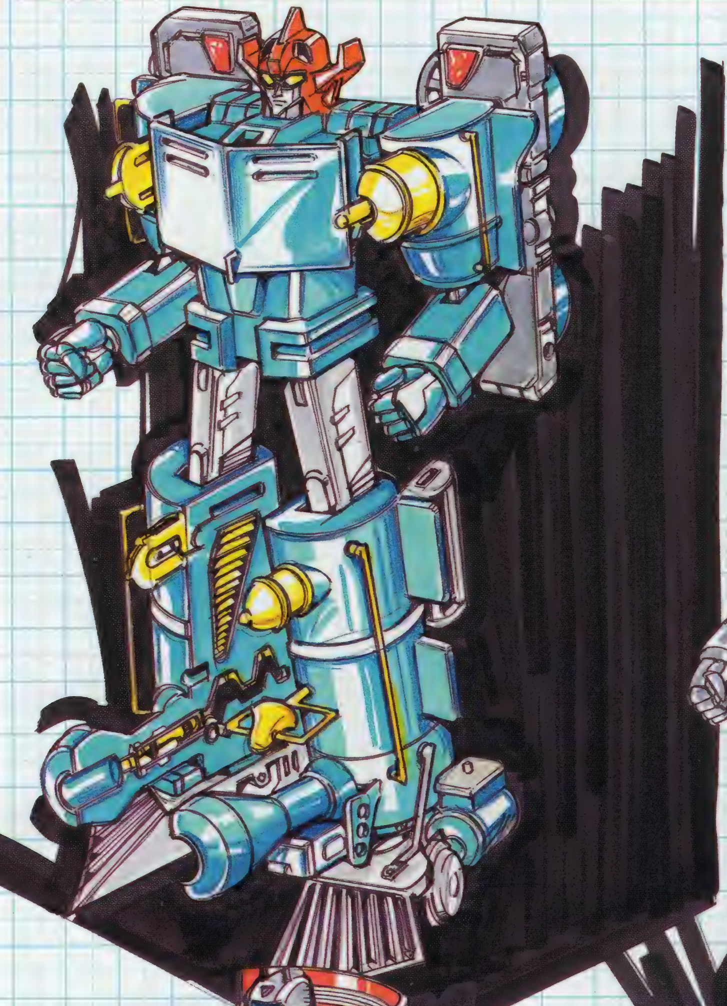
◀▲ヘリコプターに変形。グレイズやボルターと違って、ローターが正面にあるのが特徴。



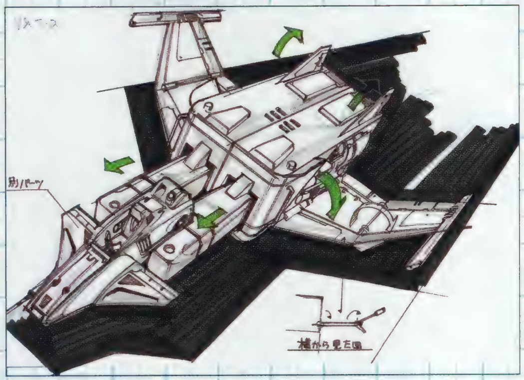
▼SLに変形。正面の煙室扉がロボットモードでは天地逆になる大胆な変形を行う。

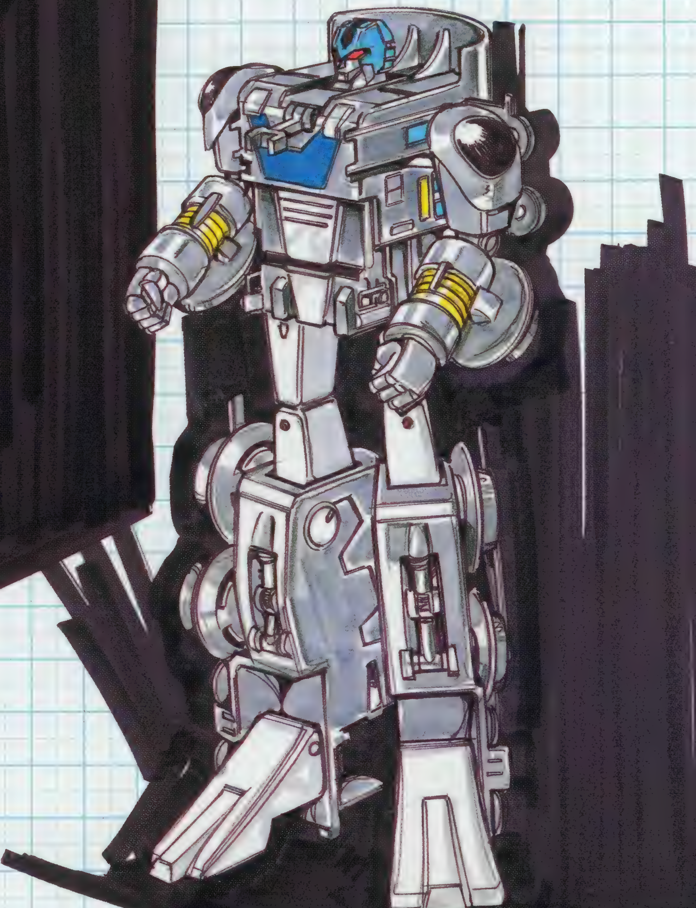
S.Lロボット

合体機構を持つ3体の蒸気機関車ロボット。各機は蒸気機関車本体と炭水車に分離し、本体同士の合体ロボットと、炭水車同士の合体ロボットになるという凝ったギミックを持つ。

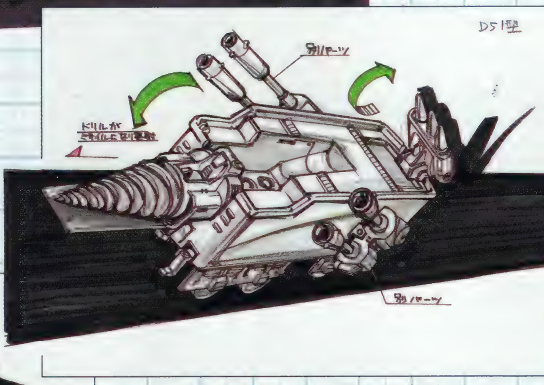


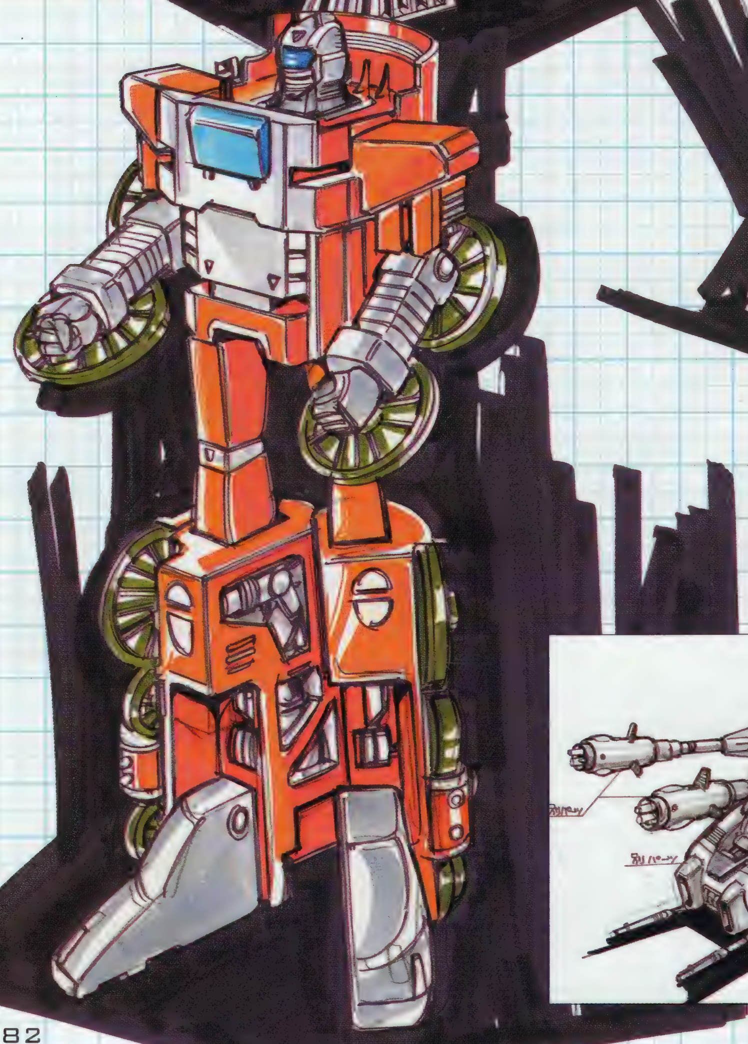
◀▶アメリカンタイプの蒸気機関車に変形するV&T.R.R型ロボ。煙突等の突起を両断した大胆な変形が目立つ。炭水車は機首パーツを追加することでジェット機となる。



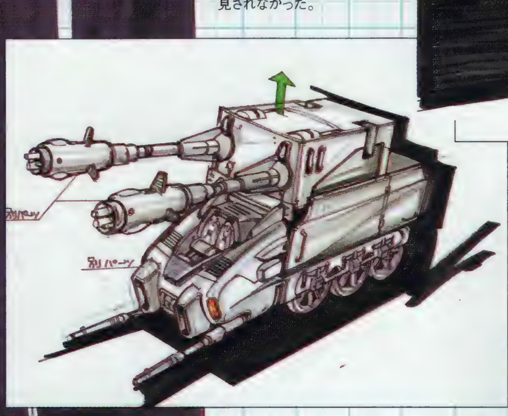


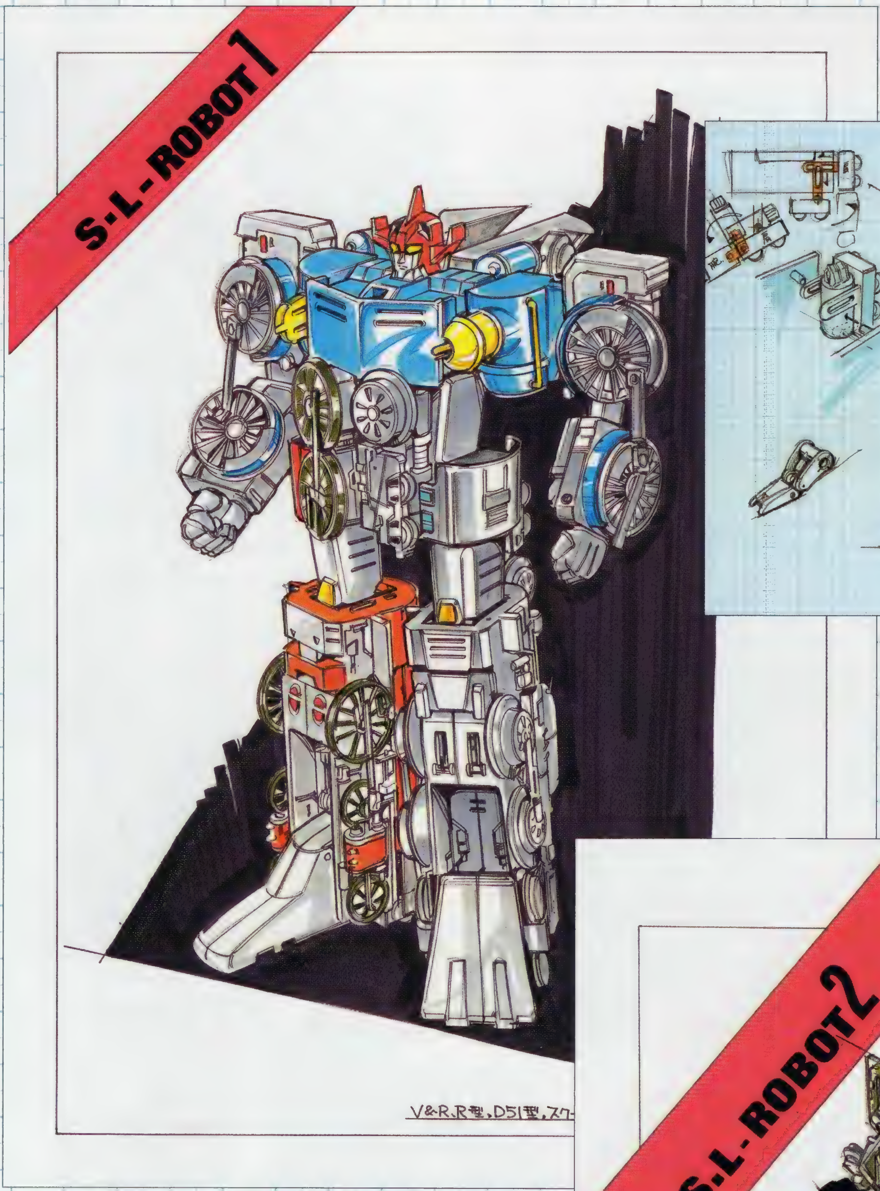
◀▼日本のD51型ロボ。炭水車は左右に砲塔を加えることでドリル戦車となる。SLとドリルの組み合わせは『勇者指令ダグオン』のドリルライナーを思わせる。

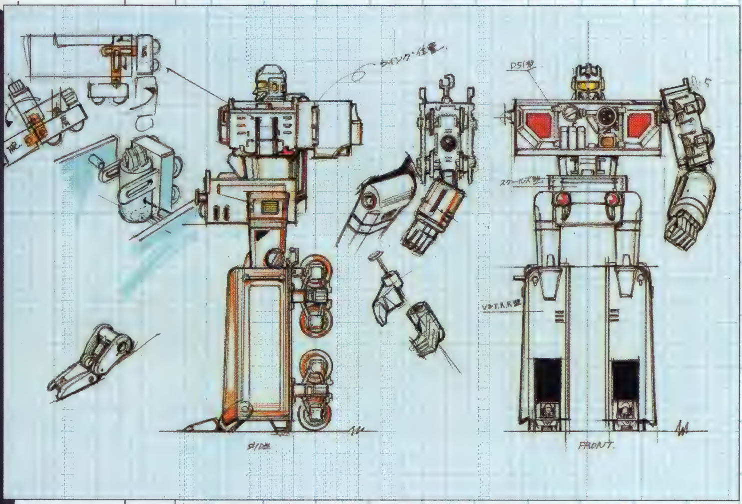




◀イギリス風の蒸気機関車に変形するスクールズ型ロボ。炭水車はコクピットと砲身を追加することで戦車型メカとなる。なお各機のビークルモードは発見されなかった。



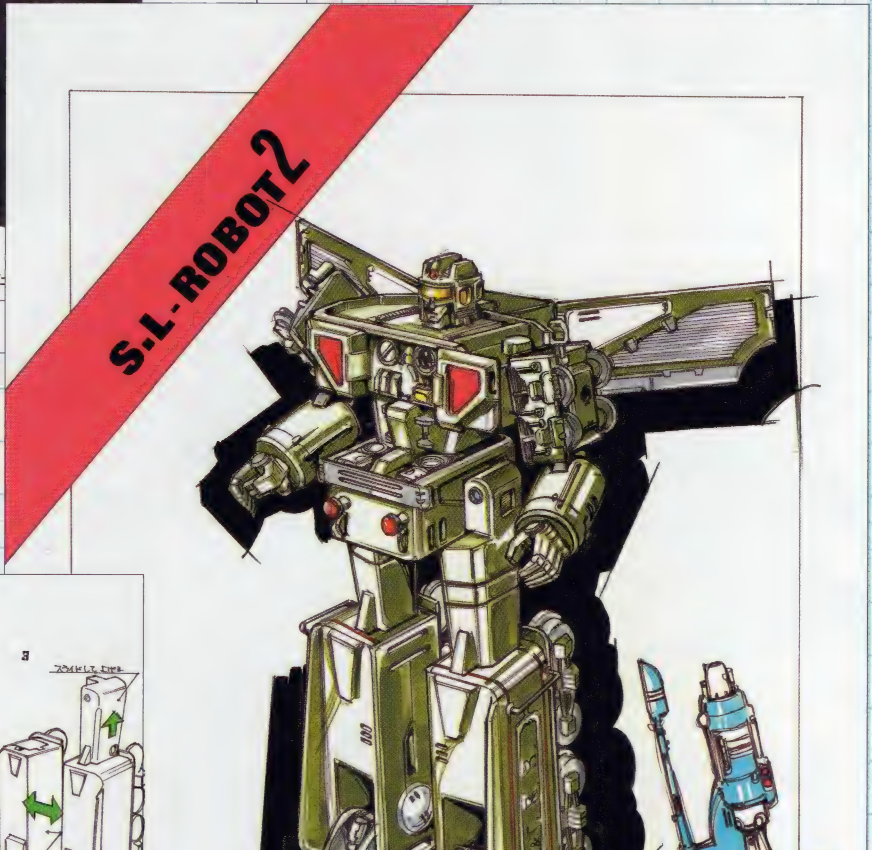


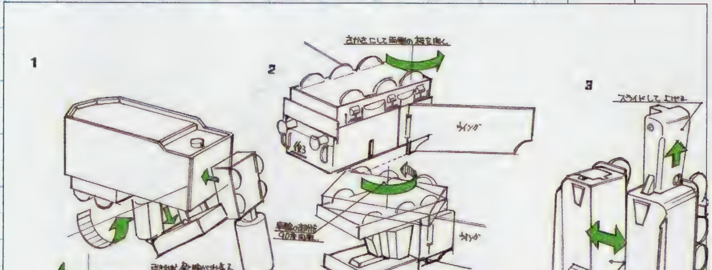


▲S.L-ROBOT2の正面と側面図。左側には肩関節の構造も説明されている。ヒーロー然としたROBOT1と比べ、ROBOT2はミリタリー風の無骨な印象を持つ。

▲3機の機関車本体が合体した「S.L-ROBOT1」。V&T.R.R型ロボが上半身と両腕、スクールズ型ロボが右腰と右脚、D51型ロボが左腰と左脚を構成している。合体後の頭部はV&T.R.R型ロボと兼用のようだ。

▶3機の炭水車が合体した「S.L-ROBOT2」。パーツのレイアウトはROBOT1とは異なっており、胸と両腕はD51型、頭部とボディはスクールズ型、両脚はV&T.R.R型で構成されている。腕にはショイント式の銃が予定されていた

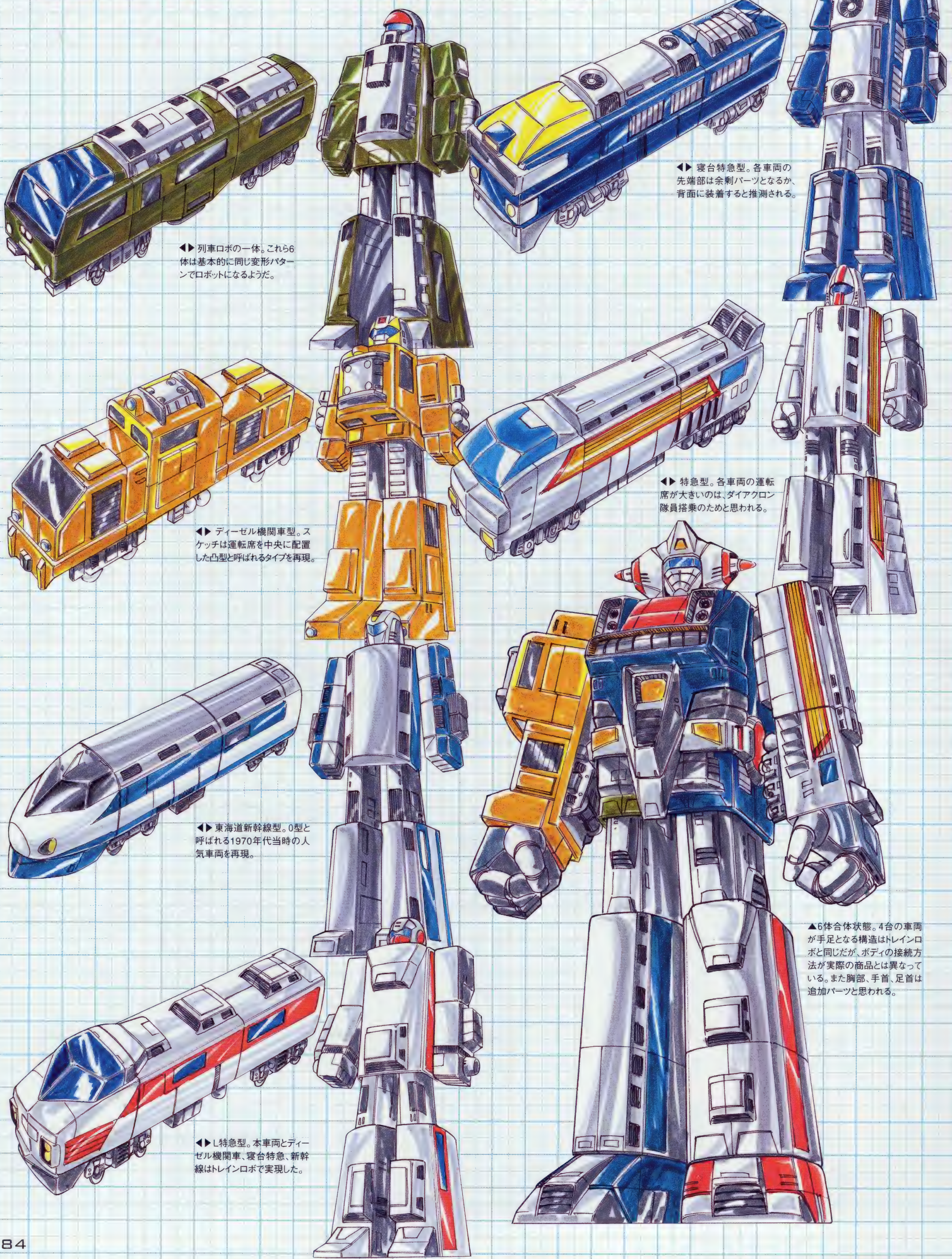




▲S.L.ROBOT2の変形機構。スクールズ型の変形は極めて複雑で、天地逆の状態でシャーシを90度回転、さらに前部と後部が上下にスライドすることで縦長のブロックとなる。

列車合体ロボ

6体の列車ロボが合体して完成する大型ロボ。車両選択や合体パターンから察するに、ライデンの前身である「ダイアクロン」のトレインロボ案の一つと思われる。



◀▶列車ロボの一体。これら6体は基本的に同じ変形パターンでロボットになるようだ。

◀▶寝台特急型。各車両の先端部は余剰パーツとなるか、背面に装着すると推測される。

◀▶ディーゼル機関車型。スケッチは運転席を中央に配置した凸型と呼ばれるタイプを再現。

◀▶特急型。各車両の運転席が大きいのは、ダイアクロン隊員搭乗のためと思われる。

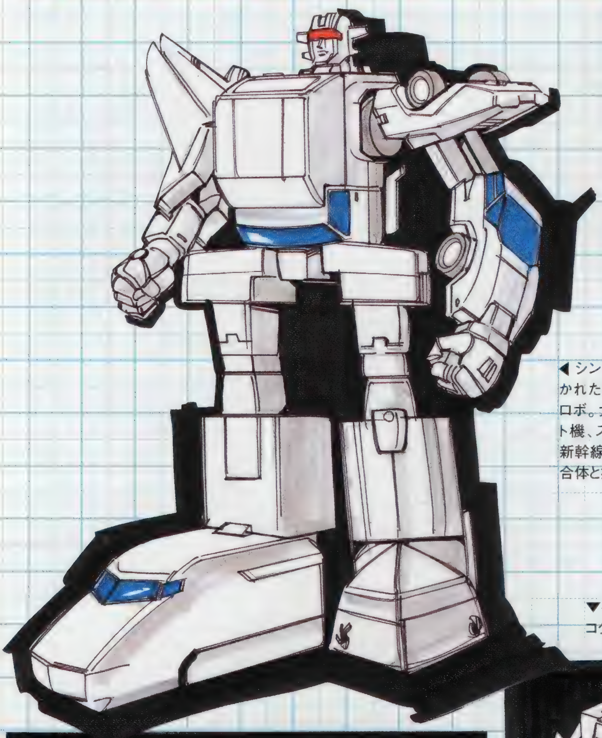
◀▶東海道新幹線型。0型と呼ばれる1970年代当時の人気車両を再現。

◀▶L特急型。本車両とディーゼル機関車、寝台特急、新幹線はトレインロボで実現した。

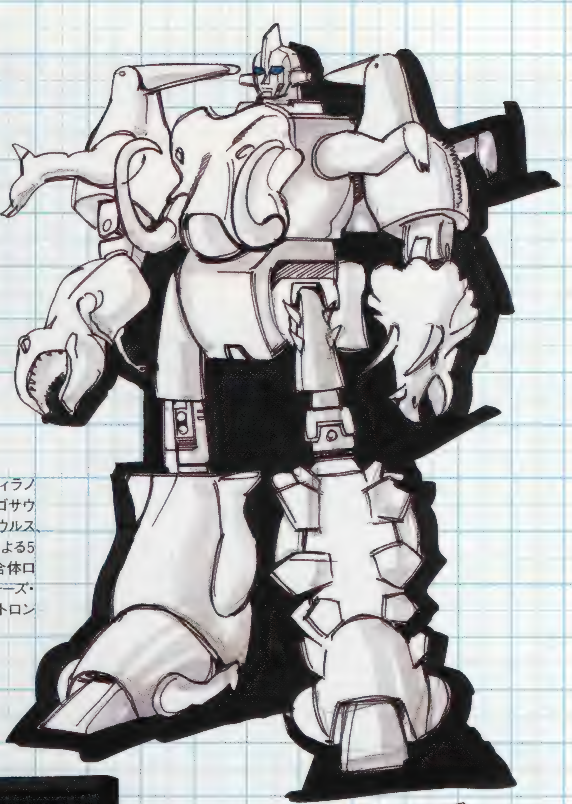
▲6体合体状態。4台の車両が手足となる構造はトレインロボと同じだが、ボディの接続方法が実際の商品とは異なっている。また胸部、手首、足首は追加パーツと思われる。

合体ロボ

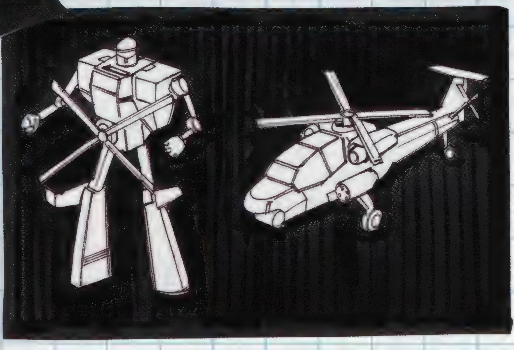
最後に様々なパターンの合体ロボ案をご紹介する。どれも描かれた時期は不明だが、これらのアイデアが昇華され、スクランブル合体ロボ等の母体となったのであろう。



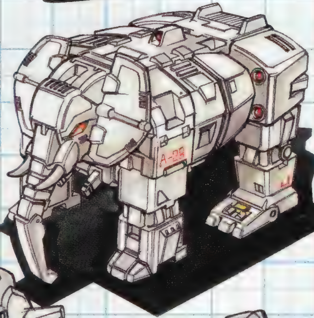
◀シンプルな線で描かれたビークル合体ロボ。大型車、ジェット機、スーパーカー、新幹線、船による5体合体と推測される。



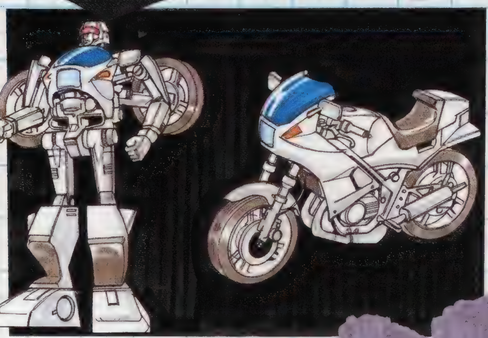
▶マンモス、ティラノサウルス、ステゴサウルス、ブロントサウルス、トリケラトプスによる5体合体。恐竜合体ロボは『ビーストウォーズ・ネオ』のマグマトロン等が存在する。



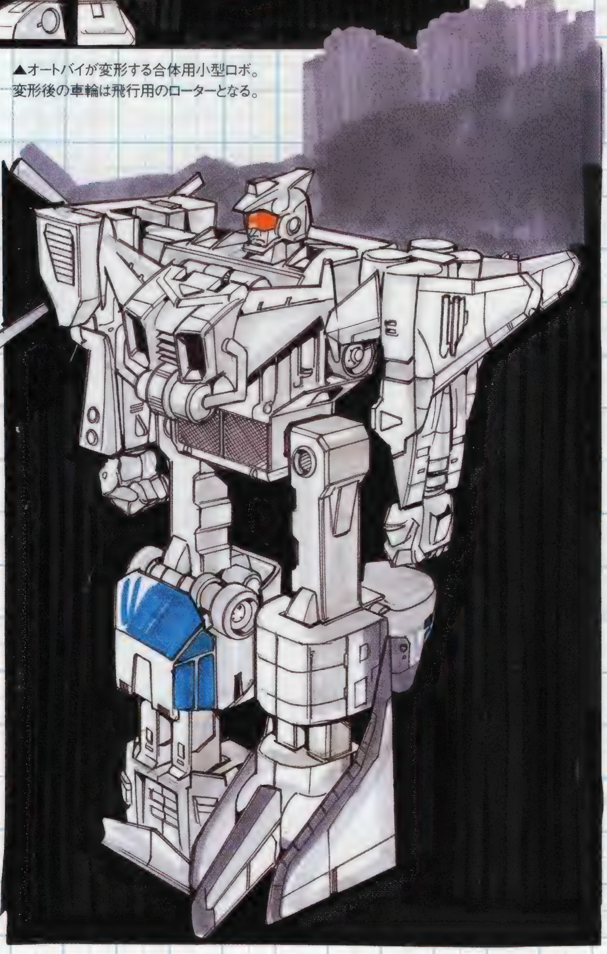
▼ヘリコプターが変形する合体用小型ロボ。コクピットが分断し、肩になる発想が面白い。



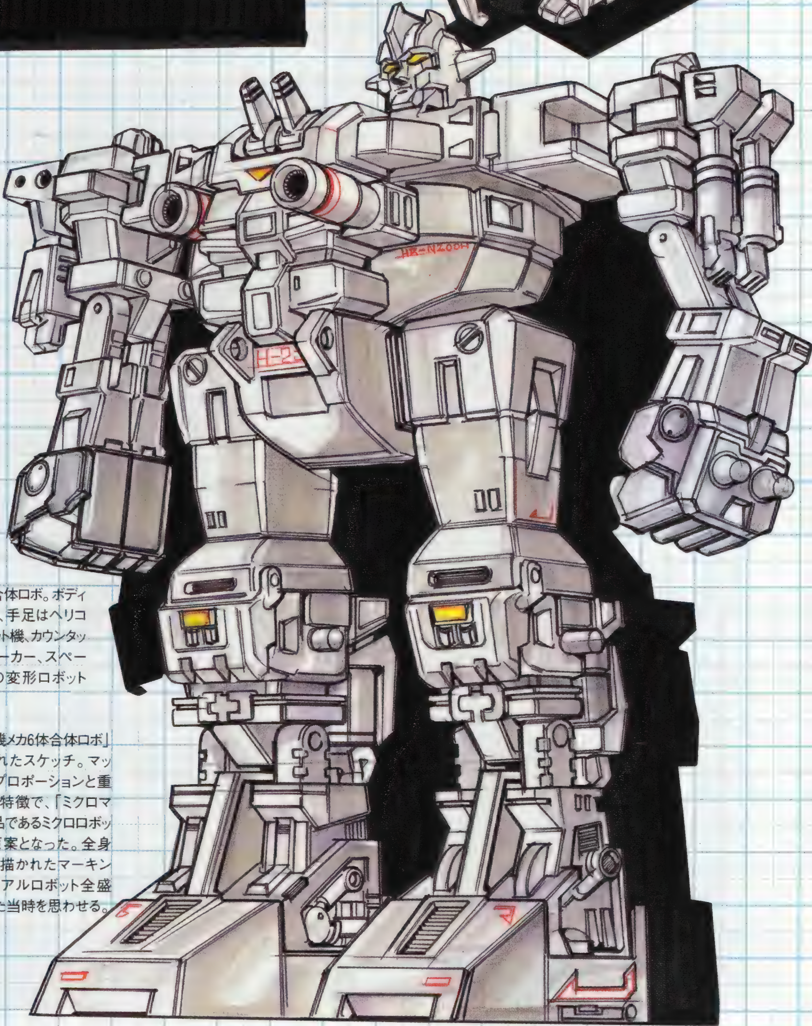
▶下の合体ロボのボディを担当する「重メカ エレファント」と書かれたスケッチ



▲オートバイが変形する合体用小型ロボ。変形後の車輪は飛行用のローターとなる。



◀ビークル合体ロボ。ボディは不明だが、手足はヘリコプター、ジェット機、カウンタック風スーパーカー、スペースシャトルの変形ロボットのようだ。



▶「重機メカ6体合体ロボ」と書かれたスケッチ。マッシブなプロポーションと重武装が特徴で、「ミクロマン」商品であるミクロロボット7の原案となった。全身各所に描かれたマーキングが、リアルロボット全盛期だった当時を思わせる。

TF トランスフォーマー 情報局 02

G.I.ジョー

米国において“TRANSFORMERS”と同じく、マーベルとハスブロが生み出した国民的ヒットキャラクターが“G.I.JOE:A Real American Hero”である。3"3/4サイズのアクションフィギュアとビークルなど大型プレイセットを展開するシリーズは、80年代後半、トランスフォーマーと共に米国玩具売り場を席巻したのである。

1986年 には『戦え!超ロボット生命体トランスフォーマー』の国内成功に沸くタカラ（現・タカラトミー）によって、玩具とアニメ『地上最強のエキスパートチームGI★ジョー』の輸入が行われている。『トランスフォーマー2010』には『GI★ジョー』と繋がりを感じさせるキャラクターも登場。マーベルコミックでは実際にクロスオーバー（共演）作品“G.I.JOE AND THE TRANSFORMERS”も実現している。

そして4度のTVアニメ化、長編アニメ、オリジナルビデオといった展開を経て、満を持して実現したのが実写映画化である! 映画『G.I.ジョー』は、『地上最強のエキスパートチームGI★ジョー』をベースに、ハイパー・アクション超大作として換骨奪胎。世界最強のチームG.I.ジョーとテロ組織コブラの熾烈なバトルをノンストップで描く。『トランスフォーマー』と共通のスタッフも多い本作。『トランスフォーマー』好きならば、この映画も気に入ること間違いない!

兄弟作品『GI★ジョー』も、実写映画に!!

「G.I.ジョー」2009年8月7日（金）日米同時公開 配給:パラマウントピクチャーズ ジャパン
監督:スティーブン・ソマーズ
製作:ロレンツォ・ディ・ボナヴェンチュラ、ライアン・ゴールドナー、ボブ・ダクセイ
脚本:スチュアート・ビーティ、デヴィッド・エリオット、ポール・ラヴェット
キャスト:チャニング・テイタム、シエナ・ミラー、イ・ビョンホン、レイチェル・ニコルズ、マーロン・ウェイアンズ、デニスクエイド、レイ・パーク

トイ展開はトミーダイレクトから!!

映画『G.I.ジョー』の玩具展開は、トミーダイレクトが担当。超弩級の大型アイテムPITから限定アイテムまで、ゴージャスなラインナップとなる。

●ベーシックフィギュア
3.75インチ（約10センチ）のアクションフィギュア。武器など付属品も豊富。（各1449円）

デューク / スネークアイズ / ストームシャドー / バロネス / デストロ / コブラコマンダー / ネオ・バイパー / デューク リアクティブ・インパクト・アーマー / ストームシャドー NEWバージョン / スネークアイズ with ティンバー / スカーレット / アイス・バイパー / リップコード with アクセラレーター スーツ / ヘビーデューティー / ザルタン / スカーレット カモバージョン / シップレック / ブリーカー / コブラ・バイパー・コマンドー

●スモールビークル（各2604円）
モール・ポッド / スネーク・トラックス A.T.V. / ロックスライドA.T.A.V / アーマード・パンサー

●ミッドビークル（各5229円）
スチール・クラッシャー A.P.V / コブラ・ガンシップ / ナイト・レイヴン（7140円）

●ラージビークル
PIT モービルヘッドクォーター
全長約65センチの超大型移動基地。（18900円）

●12インチニンジャフィギュア（各4200円）
ストームシャドー / スネークアイズ

●海外限定アイテム
海外の限定アイテムを、日本国内でも限定販売。

コミコン限定12インチフィギュア バロネス（9975円）

R.H.I.N.O.ビークル（7140円）

コミコン限定デストロ 2パック（5229円）

※価格は全て税込。

TF BACKSTAGE

トランスフォーマー開発の舞台裏を探るバックステージも、もちろんムービー特集。シリーズ開発を担当するタカラトミースタッフへのインタビューに加え、貴重な開発資料を掲載。さらにトランスフォーマーの今後について、マーケティングの山崎氏に語っていただいた。

『トランスフォーマー／リベンジ』商品デザイナー対談
蓮井章悟×幸 日佐志

トランスフォーマーは「MORE THAN MEETS THE EYE」。ぜひ実際に触ってみて下さい ●蓮井（写真・左）

今後もいろいろなコンテンツを用意しています。日本のトランスフォーマーファンは幸せですよ ●幸（写真・右）

●映画版トランスフォーマー第2弾始動

――ハスブロ社に『リベンジ』商品のプレゼンテーションを行ったのは前作の公開終了後だそうですね。

蓮井　映画版に続編があることは前作の開発中に聞いてました。そして第1作のファンの反応に手応えを感じたときに「これならやれる!」という確信も得ていました。プレゼンでは当時の売れ行きから導いた第2作公開時にあるべき将来像を描き「こんな購買層が増えるのでは?」「さらに幅広い年齢層に支持されるのでは?」などの話をしました。トランスフォーマーのキャラクタービジネスが変わろうとしている今、オモチャはどうあって、どのような露出をすべきかをみんなで考えました。

――開発作業はどのようにスタートしたのでしょうか?

蓮井　第2作の公開時期も登場キャラクターも分からないまま、まるで雲をつかむような状況で作業を進めていました。前作のデータを基に「多分、こんなんじゃないか?」という感じで（笑）。

幸　前作ではロボットのデザインに我々も驚かされましたが、一度見てしまえばある程度の予想は立てられますからね。とはいえ映画の情報が来るまで時間がかかるので、まずは前回のオートモーフに代わるギミックを考えました。

――前回にも増してインパクトのあるデザインが多いですね。

幸　それほど驚きはしませんでした。「今度はこう来たか」くらいで（笑）。

蓮井　「オモチャが作りにくそうだ」とは思いましたね（笑）。またロボットモードが変形途中のように思われる心配もありました。そのため人型でなくても生物的骨格は意識したつもりです。

幸　前作ではキャラクターの判別のしにくさが反省点になってましたが、それは映画の制作サイドも気にしていたようです。なので今回は両軍でカーロボットを増やしたり、コンストラクティコンを登場させるなど、前作よりもバラエティに富んだメンバー構成になっています。

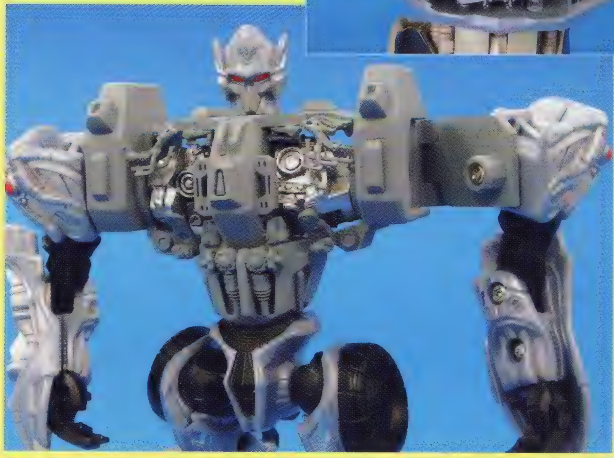
――メックアライブ機構を取り入れた玩具開発はどのような行程で進むのでしょうか?

蓮井　まずメックアライブ機構の概念を全員に伝え、以降は各デザイナーの個人作業になります。一つの商品を一人のデザイナーが最初から最後まで担当するのですが、ビークルからロボットへの変形だけでも大変なのに、さらにギミックまで盛り込まなければならないわけですからね。各人が一人で唸って何とか商品に落とし込んでゆく感じです。

幸　最終チェックは開発メンバー全員で行います。各々の商品に不備がないか互いに話し合うことで、商品のレベルが均一になるように調整しています。それでも担当者毎の個性は商品に出てしまいますね（笑）。

生命への挑戦

▲2007年版スタースクリームを用いた機構試作。首を動かすと、胸内部のメカが連動。さらにヒンジにより、外部の装甲も左右に移動する。



▲機構試作のひとつ。変形して肩が定位置に固定されると、腕の動きに胸部のメカが連動。多角柱の軸を伝い、動力が腕から胴体へと伝達される。

▲腕が二重構造になっており、ひじを動かすと中のメカが連動する。

ロボットの動作に連動して内部のメカが脈動する「メックアライブ」。この新しいコンセプトのギミックをプレゼンテーションする際に、実際に手に取って動かすことができる機構試作がいくつか製作された。

蓮井　メックアライブ優先の商品もあれば、付属武器にこだわっている商品もある。そのバランスは商品毎に違っています。
幸　開発では各担当者が思い付くだけのギミックを最初に入れて、後で重要度の低い要素から削ってコストを調整していきます。なので最初はかなり豪華な仕様でスタートしてるんですよ。また映画版はまずデザインありきの作業なので、そのデザインをオモチャとしてどう表現するかがポイントになるんです。それはキャラクター毎に違うし、担当する人間でも違ってくる。そこが面白いんですよ。
——そのメックアライブは、どのようにして生まれたのでしょう？
蓮井　最初はストーリー絡みのギミックを提案しました。やがて前回のオートモーフのような映画版ならではのギミックを模索し、最終的に浮上したのがメックアライブだったんです。第1作のDVDを見ていて、何かが動く度に他の部分が連動するのを見て思い付きました。ただ、パッケージなどの写真では分かりにくいので、そこをどう伝えるかが今後の課題ですね。そこは「MORE THAN MEETS THE EYE」ということで、実際にオモチャを触っていただかないと分からない部分もあります。
幸　実際「触ってみて初めて分かった」という意見をよく聞きます。そこがトランスフォーマーの魅力とは思うんですが、マーケティング的にはちょっと問題ありますね（苦笑）。メッセージを伝えにくい商品なので、映像でキャラクターが活躍してくれると非常にありがたいです。その商品を実際に買ってもらって、触れてもらえれば絶対に驚いてもらえますから。また、現在はインターネットやホビー誌等でいち早く情報が分かりますが、そのような情報を求めている方ほど驚いてもらえる商品なんですよ。トランスフォーマーには実際に触らなければ分からない魅力がありますから。
蓮井　自分が入社したときは「なぜトランスフォーマーは見えない部分までこんなに頑張ってるんだ」と思いましたね（笑）。でも開発チームのみんなが常に新しい遊びを取り入れるって気持ちで開発しているのを見ているうちに、この遊びの深さがあるからこそトランスフォーマーなんだって感じるようになりました。今ではこれがなければ単なる変形玩具になってしまうので、絶対に守らなければならない部分だと思ってます。
——サイドウェイズの前輪収納機構など、前年のオートモーフに近いギミックもありますね。
幸　映画版の商品は変形が複雑なので、オートモーフの要素はどこかに残したかったんです。また普通にお客さんに驚きを与えたかったのも理由ですね。
蓮井　今回はキャラクターの個性を生命感や武器で表現することをテーマにしました。たとえばサイドスワイプは速く走ることを強調するため、メックアライブはヒザに搭載することにしました。『リベンジ』ではまずメックアライブありきで開発した商品もあれば、変形機構の後にメックアライブを考えた商品もあります。

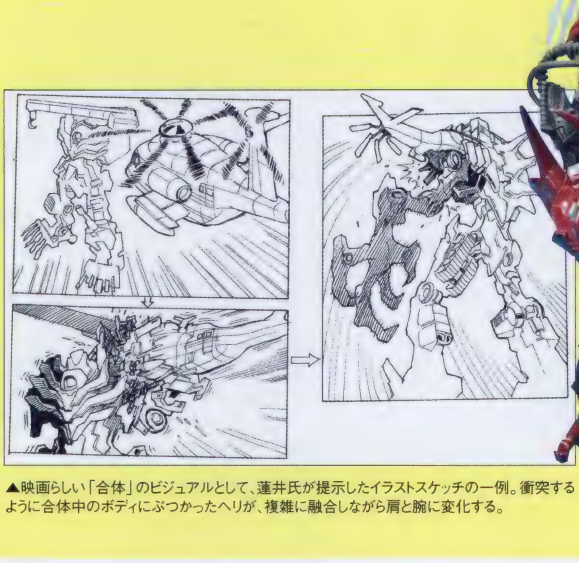
●限られた情報と制約の中で

——画面に登場しないモードはどのように決めたのでしょうか？
蓮井　トイオリジナルの変形はハスブロと話し合って決めました。実は映画未登場キャラもプロット段階では登場してたんですよ。ランサックなどスカウトクラスの何体か、そしてデプスチャージはデザイン画も存在してました。ジョルトは最初は出ないという話だったので、途中まで進めていた作業を一時中断したんです。
幸　ところが撮影中のスチールを見たら車がしっかり写ってて、あわてて開発を再スタートしたんです（笑）。
——今回はツインズやウィーリー、ジェットファイアーなど個性的なキャラクターが多かったですね。
幸　映画の情報が我々に届くまでかなりの時間がかかるんですが、ある程度の情報はハスブロから聞いてました。たとえばツインズは最初から「ツインズ」のコード名で呼ばれていたので、双子であることは分かってました。「左右合体でもするのか（笑）」と思ってたら、「ロボットではなくビークルモードで合体する」という話で、それがアイスクリームトラックだったわけです。
蓮井　ハスブロ社からの口頭説明に加え、何点かコンセプトスケッチも見せてもらっています。サイドスワイプはアイススケート選手のように足の車輪で走っている絵だったので、映画での活躍もだいたいは想像できてました。ウィーリーはネズミ取りを足にくっつけて悲鳴を上げてる絵でした（笑）。またサイドウェイズがサイドスワイプに真っ二つにされるのも最初から聞いてました。でも、まさかビークルモードのままとは思いませんでしたね（笑）。自分は二人が因縁の深い関係だと思ってたんです。「積年の恨み」とか「家族の仇」とか、そんな台詞が出てくると思い込んでたんですが……。
幸　意外とあっけなかった（笑）。あとフォーレンも我々の想像とは違ってましたね。まずピラミッドから出現するのが彼だと思ってたら、まったく別の場所にいたんで驚きましたね。しかも、まさかあんな爺さんだったとは（笑）。フォーレンについて聞いていたのはビークルモードが登場しないくらいで、キャラクターの正確な立ち位置もよく分かってなかったんです。なので『REVENGE OF THE FALLEN』というタイトルを聞いても、フォーレンが誰をどのように恨んでいるのかも分からなかった。昔（G1）の設定がどこまで反映されるのか未知数でしたからね。
蓮井　マトリクスとかスペースブリッジとか、今回は原作の深い要素が使われてましたね。
幸　オリジナル版のジェットファイアーも氷の中で眠ってましたし、「オリジナルとは違うんだけど完全な別人ではない」という感じは上手いと思いました。
蓮井　スタースクリームがスタースクリームしてましたね。裏切ってないけど（笑）。
——これまでの商品とはデザインラインの異なるオプティマスとジェットファイアーの合体は苦労されたのでは？
蓮井　担当の國弘（高史）が硬直してましたね（笑）。
幸　ジェットファイアーのデザインが届いたときは自

合体への挑戦

映画第2作への合体トランスフォーマー登場を誰よりも熱望していたという蓮井氏による、映画版デバステーターのコンセプトモデル。映画の世界観に合う「合体ロボ」を模索したものとなる。

▶▼巨大感をあおる前傾姿勢や長い腕、ところどころ露出する重機のパーツが特徴。これらの提案は、ハスブロ社を通じて映画スタッフに提示された。



▲映画らしい「合体」のビジュアルとして、蓮井氏が提示したイラストスケッチの一例。衝突するように合体中のボディにぶつかったヘリが、複雑に融合しながら肩と腕に変化する。

分も驚きました（笑）。後にオプティマスとの合体状態の絵も届き、それを参考にしながら商品をアップデイトしていきました。國弘に言わせると、電飾用のスペースの確保が一番大変だったそうです。「映像のデザインに近づけるのは何とかなる。だけど電池やスピーカーの入るスペースは物理的にどうにもならない」と。電池自体もカシャカシャっと縮んでくれれば楽なんですけどね（笑）。他にもいろいろな制約があって、たとえばパッケージで「TRY　ME!」をやる以上、スイッチは絶対に正面に配置しなければならない決まりもあります。

蓮井　「TRY　ME!」スイッチは指一本で押せなければならないし、音を聞かせるために背中にスピーカーを配置してもいけない。また配線が通る箇所をヒネるような変形もダメです。コードがねじ切れてしまいますからね。なので、リーダークラスの変形は消去法でほとんど決まってしまうんですよ。

幸　今回のジェットファイアーですが、純粋なSR-71のモデルでもあそこまで大きい商品は珍しいですよね。せいぜい高額なプラモデルがあるくらいで。

蓮井　昔はトランスフォーマーで初めてそのようビークルがあることを認識する人も多かったんですよ。それと同じことが今回も起きそうですよね（笑）。今は石油高騰で大型車よりもエコカーのほうが売れてる世の中なので、自動車に対するドキドキ感がトランスフォーマーによって強くなってくれるといいですね。

幸　バンブルビー効果でカマロが売れたら面白いんですけどね（笑）。

●新コンテンツの誕生

——ヒューマンアライアンス誕生の経緯をお聞かせ下さい。

蓮井　けっこう難産だったシリーズです。最初にハスブロ社から「ビークルとそれに乗るドライバーのセット」という要望を受け、社内で「誰がやる?」と呼びかけたのに誰も手を挙げなかったんです（苦笑）。

幸　みんな自分の担当商品で忙しかったからね（笑）。

蓮井　やむを得ず突貫でラチェットの試作を作って自分でプレゼンしました。ビークルからロボットに変形することで、シートに座っていたフィギュアが肩に移動するのがポイントでした。フィギュアを降ろさずに変形できる意外性を狙いました。自分はトランスフォーマーの前身であるダイアクロンが大好きだったので、いつかはドライバー付きのトランスフォーマーを作ろうとは思ってたんですよ。でも、それを映画版ではやりたくなかった（笑）。ビークルからロボットに変形するだけでも厄介なのに、フィギュアの搭乗まで考えなければならないわけですからね。まずはシリーズ第1弾としてバンブルビー、そしてアイアンハイド、ラチェットの大型車両に続く予定で企画が進行してました。バンブルビーは後の2台に比べて小さいので変形が大変なんですが、「主役メカなんで頑張って」と言われてコンソールまで作り込みました。

幸　バンブルビー後の商品は僕が担当を引き継ぎました。自分はバイナルテックの経験があったので、「今までの積み重ねで何とかなるかな」と思ってたんです。でも人を乗せたまま変形させるのが予想以上に辛かった。バイナルテックではステアリングを切るという別の制約がありましたが、それ以上に難物でした。

蓮井　しかもコアの商品ラインよりも低い年齢層にも楽しんでもらえることを前提としたアイテムなのでバイナルテックのような難易度の高い変形はできません。また本シリーズの共通コンセプトとして、ロボットと人間とのコミュニケーションも反映させなければならない。バンブルビーにバイザー開閉機構があるのは、戦闘と非戦闘のシチュエーションを使い分けるためなんですよ。で「いよいよアイアンハイドとラチェットだ」という話になったら……。

幸　商品サイズの都合でサイドスワイプとスキッズに変更になりました。なぜかバンブルビーよりもギミックを仕込むのが大変な小型の車になったわけです（苦笑）。なのでスキッズにはアーシーを付けることで商品としてのボリュームを調整しました。通常商品よりも大きいしパーツも多く使えるので、より映画に近い変形を実現できないかとも考えましたが、プレイパターン上の制約を考えると無理なのでその辺りは断念しています。

蓮井　商品コンセプト的にはビークルモード重視で、ロボットはそれなりに似ていれば良かったんです。でも、うっかり出来の良いバンブルビーを作ってしまったので、幸にプレッシャーを与えてしまいましたね。

幸　後の製品のことを考えてない！　本当にヒドい話です（笑）。サイドスワイプなんかガルウイングですからね。普通に人形を乗せるだけでも大変でした（笑）。でも、このシリーズはデラックスクラスよりも大きいので、従来では不可能なギミックも盛り込めて楽しかったです。ただ、フィギュアの位置まで配慮しなければならないので、映画に近い感じの変形が楽しめるのはやはりデラックスシリーズになりますね。ヒューマンアライアンスは自動車玩具としてのプレイバリューも兼ね備えたシリーズですから。

蓮井　いま2010年以降に発売されるヒューマンアライアンス商品をいくつか手がけているので、今後このプレイパターンのシリーズが定番になっていくといいですね。

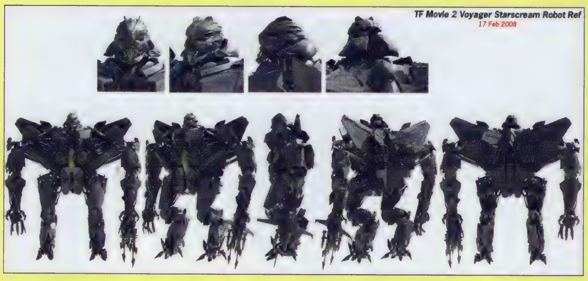
——グラビティボッツについてもお話をお聞かせ下さい。

蓮井　最初にお話しした将来像の一つである「幅広い年齢層への広がり」から、低年齢層向けの新しい商品アイデアを色々と話し合ったんです。その中で、

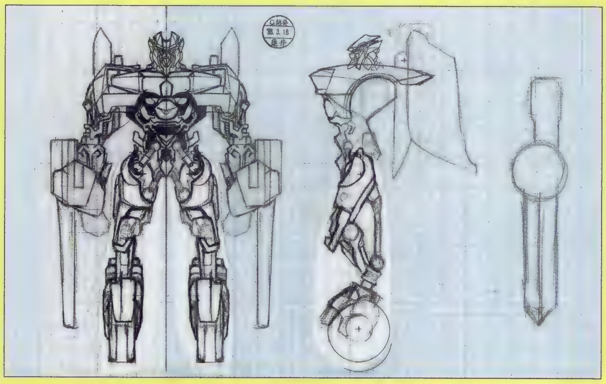
形状への挑戦

何もかもが斬新だった第1作に比べ、2作目となる『リベンジ』ではタカラトミーサイドに提供される資料も増加。特に継続キャラクターについての豊富な資料は、玩具の再現性を向上させる大きな要因となった。

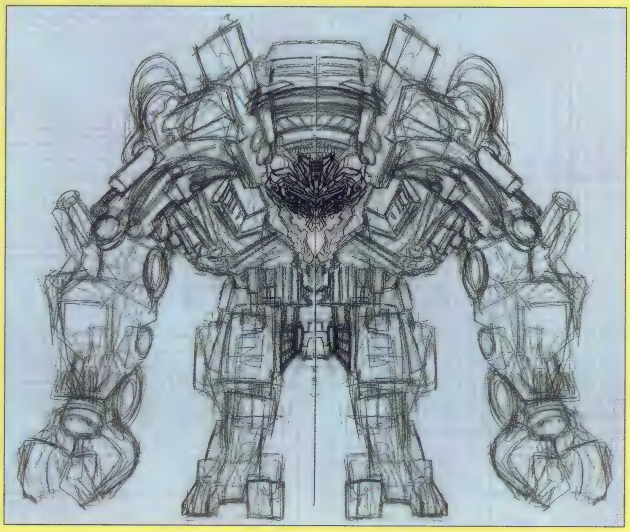
▲前作における資料の一例。CGモデルの前後のみがレンダリングされた1枚から、全てを想像しなければならなかった。



▲『リベンジ』における、同じくスタースクリームの玩具制作用資料。これに加え、前作の映像そのものが資料となったことは言うまでもないだろう。



▶蓮井氏によるサイドスワイプの開発スケッチ。性格や能力に合わせたデザインが、新キャラクターの特徴となる。



◀コンバイナー版デバステーターの開発スケッチ。デバステーターは当初蓮井氏が担当していたが、スケジュールの関係で江島（多規男）氏にバトンタッチ。その際に手渡したものだという。

どうすれば誰にでも手軽に変形遊びができるのか考えたとき、自分が「それって単純にビークルを立てることしかできないんじゃない?」と言ったんです。その一言からいろいろな案に派生し、最終的に立てることで自動変形する商品でまとまりました。

幸　繰り返し遊んでいて一番楽しいのは実はあの商品だったりします。いつでも遊べるように、僕の机にも常に一つ置いてあります。ただ、書籍媒体ではあの面白さは伝わりにくいんですね。この本を読んだ方はぜひ触ってほしいです。

蓮井　あれこそ「MORE THAN MEETS THE EYE」の定義に一番沿った商品ですよ。

幸　またEZコレクションも小さいなりにキチンと変形しますし、このシリーズからは変形と合体を両立させたデバステーターも出ます。メイン商品であるデラックスはもちろん、どのシリーズもトランスフォーマーの良さが分かる商品です。

●トランスフォーマーの未来

——第1、2作の開発過程を通じて、印象に残る商品はありますか?

幸　僕はサイドウェイズが印象深いです。デザイン画にはなかった両腕のタイヤが急に追加されて、あわてて付け足したんですよ。そんな大騒ぎの中で完成したのに、映画ではあっさり真っ二つにされて(笑)。そんな劇中での活躍も含めて思い出深いです。

蓮井　確かに出来が悪くて苦労した子は印象深いですね。前作のバリケードがそんな感じでした。最初に上がった試作の出来があまりにも悪くて、何度も修正を重ねるうちに愛着が湧いてくるんですよ(笑)。今回はヒューマンアライアンスのライン立ち上げに大変苦労したんでヒューマンアライアンス・バンブルビーが印象に残った商品ですかね。もうずいぶん前のことなのでだいぶ記憶が薄れてますが(笑)。

幸　映画版は商品点数が多いため、開発テンポが恐ろしく速いんですよ。そのため1年経つとほとんど忘れますからね。

——映画本編を観た感想をお聞かせ下さい。

幸　1作目のときはどんなキャラクターが出て、どんな活躍をするかが分からずに不安でした。そして2作目は原作の要素が多かったので、3作目への期待は高まりますね。さらなるキャラクターが登場するのか?もしくは違う方向に行ってしまうのか?

蓮井　「自分の担当キャラクターはちゃんと活躍してくれるのか」という不安が常にありますね。その一方では「次回作にはどんなキャラクターが出るんだろう」という期待もあります。今回はメガトロンが不在なので、「スタースクリームが何かしてくれるだろう」と期待してたんですよ。ところが自分の予想よりも早くメガトロンが復活してしまいました(笑)。

——今後の抱負をお聞かせ下さい。

幸　オプティマスのクオリティが前作よりも格段に上がったため、「3作目では何をすればいいんだ?」という怖さがあります(笑)。変形機構をただ複雑にすればいいというわけではありません。今回のグラビティボッツのような考え方もあるわけですから。

蓮井　また新しいことをやりたいですね。前回はオートモーフ、今回はメックアライブと合体をやったので、次回はさらに大きなことをやらないといけないでしょうね。映画を観たお客さんを裏切らないようにしたいです。

幸　映画版のおかげで「トランスフォーマー」というキーワードに反応してくれる方が増えました。そのお客さんを引き込めるコンテンツを我々も作りたいです。アメリカのトランスフォーマーに対する期待度は日本以上ですが、日本にも映画版でトランスフォーマーを思い出してくれた人たちが大勢いました。我々の願いであった二世代コンテンツにようやく育ったわけです。昔は「コンボイって本当はオプティマスって名前なんだぜ」と言ってましたが、今は「オプティマスって昔はコンボイって呼んでたんだぜ」という時代なんでしょうね。そんな会話を親子でしてくれたら嬉しいです。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

幸　日本にはデヴァイスレーベルのような映画以外のシリーズも数多くあります。なので日本のトランスフォーマーファンは幸せだと思いますよ。これらもぜひ触れてみて下さい。そして『リベンジ』のDVDが発売されたころ、今集めていただいてるオモチャを引っ張り出し、ぜひ再び遊んでもらいたいですね。

蓮井　映画には2度3度見ると気付くことがあるんですが、オモチャにも似てるところがあるんですよ。遊ぶ回数が多ければ見えてくる部分がある。意外と根が深いんです。我々は今の10年、20年後を見据えて商品に取り組んでます。今後もその気持ちは変わることはないでしょう。その想いがお客さんに届くよう頑張りたいと思います。

PROFILE

蓮井章悟

1999年入社。餘家英昭のもとトランスフォーマー開発チームに入り、『ビーストウォーズ　リターンズ』以降、海外トランスフォーマー商品を作り続ける。主な参加作品は『マイクロン伝説』『スーパーリンク』『ギャラクシーフォース』『変形!ヘンケイ!トランスフォーマー』、海外展開の『アニメイテッド』。トランスフォーマー・ムービーシリーズ開発の中心を担う。

幸 日佐志

1992年入社。『電光超人グリッドマン』、『勇者警察ジェイデッカー』〜『勇者王ガオガイガー』などを手掛け、トランスフォーマーは『ビーストウォーズII』より担当。その後、チョロQを一時的に担当したのち、「バイナルテック」シリーズの後期より復帰。『変形!ヘンケイ!トランスフォーマー』では、開発のほかに日本向けアイテムの仕様決定などを行う。代表作はライオコンボイ、ビッグコンボイ、ファイヤーコンボイなど。

ヒューマンアライアンス

『リベンジ』作業の後半、蓮井氏が取りかかったのが新ジャンル「ヒューマンアライアンス」であった。人間が乗ったまま変形できるトランスフォーマートイ、トランスフォーマーと人間が共に戦うといったイメージを伝えるために、比較的容積が大きくスペースに余裕があるラチェットをベースに、コンセプトモデルが制作された。

◀ラチェットの一部を改造して製作された、社内プレゼン用機構試作。グレーの部分が新造されたパーツである。このサイズで製品化するということではなく、あくまでヒューマンアライアンスのコンセプトを伝えるための試作モデルとなる。

▲ロボットモードで人間フィギュアは、背中の武器を使用。左前腕は、ミニバイクが変形したもの。

◀右肩にあたる運転席部分が新造されており、人間フィギュアが搭乗可能。この写真には写っていない右サイドのパネルは、開くとミニバイク(フィギュアが搭乗可能)が搭載されている。

山崎正彦 ●トランスフォーマー・マーケティングスタッフ

日本をトランスフォーマー玩具世界一の国にしたいと思っています。

●映画版がもたらしたもの

——まず映画『トランスフォーマー／リベンジ』への印象をお聞かせ下さい。

子供が観てくれた事実が何よりも大きいですね。ようやくトランスフォーマーが親子で楽しめる作品になったと思います。子供たちが思い描いているロボット像って、普通に強くてカッコ良いヒーローですよね。だけどトランスフォーマーは違っている。変なヤツもいれば弱いヤツもいて、そんな様々な個性が魅力になっています。今は子供たちがロボット離れをしていると言われてますが、この映画を観てロボットの面白さを知ってほしいです。でも一方では、玩具の映画版は私にとってライバルとも思っているので、映画公開期間は実は複雑な心境だったんですよ。トランスフォーマーが注目されるタイミングではありますが、映画版がトランスフォーマーの全てと思われる危険性も伴いますからね。この時期は映画とは違うことを考えなきゃって常に思っています。でも、今の子供は本当に贅沢ですね。5、6歳のころに制作費300億円の映画が楽しめるわけですから（笑）。あの映画は子供たちの価値観を大きく変えてしまったかもしれません。

——5月30日に催されたプレミアイベントも盛況でしたね。

2007年のカウントダウンイベントでも大勢の人が集まりました。今回はあいにくの天候だったのですが、前回を上回る人数に集まっていただいたんですよ。この場を借りて皆様にお礼を申し上げます。また商品の売れ行きも好調でした。事前にネットの予約状況なども調べましたが、何が売れるかまったく見えなかったんです。それでも、特に不人気な商品もなく全般的に売れてくれましたね。中には、サイドスワイプなど売り切れてしまった商品もありました。

——CMで使用したディオラマセットなど展示物も凝ってましたね。また初代ナレーターである政宗一成さんのPV出演には感動しました。

CGで加工したようなイメージっぽいビジュアルは、ムービーシリーズに合わないと思うんですよね。今回のトランスフォーマーは実写作品なので、なるべく実写の世界観に沿ったもので商品を紹介することで、よりトランスフォーマーの魅力が伝わるのではないかと考えました。

政宗さんはトランスフォーマーへの思い入れが深くて、CMナレーションもイベント用PVも喜んで引き受けて下さったんですよ。ただ「最近のトランスフォーマーは名前が長いなぁ。コンボイじゃダメなの？　デストロンでいいんじゃないの？」と仰っていて、それを説得しながら収録したんです（笑）。ちなみに映画でアーシーを勝生真沙子さんに吹き替えてもらったのはウチからのリクエストです。パラマウントさんには、こちらからリクエストというか参考資料になるリストをお渡ししているんですよ。オプティマスの玄田哲章さんも、我々からの提案だったんです。もちろん、最終的にはパラマウントさんが声優さんのキャスティングを決めますが、なにげにトランスフォーマーに縁のある声優さんが多く出演しているのには、実はそんな理由があったんです。

——ジェットファイアーが杖を突いた老人という突出したキャラクターになったことは、マーケティング的な視点では不安もあったのではないでしょうか？

玩具的なマーケティングからは出てこないキャラクターだと思いました。映画的な視点で考えられたキャラクター像は衝撃的で、とてもよい刺激になりましたね。意外に最近のトランスフォーマーって、手堅いキャラクターが多いんですよ。もちろん、あそこまでリアル老人なアイテムはなかったんです。だから逆に、ものすごく印象に残るでしょ（笑）。キャラクター設定に伴うスタイルと、それに伴うSR-71という古くさいビークルモード。非常に筋が通っていて、「これは売れる!」と思いました。普通なら「お爺ちゃんのロボットなんか売れるの?」って考えるんだけど、キャラクターの活かし方や、トータルのイメージがしっかりしてればキャラクターとしてもアイテムとしても成立するんですね。ハリウッドが考える、映像的な面白さが先に立ったキャラクターというのは、やっぱり凄いです。とても勉強になりました。参考にしたいです。我々もたまにはエキセントリックなこともしないとダメですね（笑）。

——アジア限定であるEZコレクションのデバステーターはどのような経緯で企画されたのでしょう?

コンバイナークラスのデバステーターが6体合体なので、それを補完するために作った、というわけではないんですよ。コンバイナー版はコストを含む様々な都合のなかで、あのボリュームを再現したアイテムですから、あれで正解だと考えています。とはいえ、合体と変形を実現したデバステーターは欲しいとも考えたんです。売れる売れないは別としてね。そこで開発の小回りが利くアジア限定アイテムとして、7体合体のEZコレクションを考えたんです。最初はこのサイズでの変形合体は絶対に無理って言われてたんですよ。だけどデザイナーの小林（弘典）が何とかしてくれましたね。小林は本当にスゴいですよ。小林サマサマです（笑）。感謝してます。あえて中身が見えるパッケージにしたのは、やっぱり集めて合体させて欲しいという想いを込めてですね。一方でセット売りにしてしまうと、合体機構が全てになってしまって単体の面白さが薄れてしまうと考えたんです。EZコレクションデバステーターは、一個一個がロボットに変形して、さらに合体までしてしまう。その両方を楽しめるアイテムにしたかったんです。

——今回の『リベンジ』シリーズはセールス的にいかがだったのでしょう?

今の段階で、第1作の映画よりもさらに良い手応えを感じています。そのことがこれからのトランスフォーマーにどれほどの影響を与えてくるのかは分かりません。ただ、ムービーシリーズからトランスフォーマーの新しい方向性を生み出す必要性は感じましたね。

●マーケティングの拡大

——映画版が商品企画に及ぼした影響はありますか?

映画版では各キャラクターが強烈なデザインにリファインされてますよね。現在、日本を含む世界の子供たちはトランスフォーマーと言えばこのイメージが強くなっている。そんな中で「従来のようなスタイルのトランスフォーマーが通用するのか?」という考えが出てきました。つまり、ある程度ムービーのエッセンスを加えたほうがファンは喜ぶのではないかと。もちろんクラシックスタイルこそがトランスフォーマーという考え方もありますが、ラインは常に変化していくべきだと思うんですよ。トランスフォーマーというブランドを今後も成長させるためにも。

——現在、トランスフォーマーはアジアマーケットでの成果が目覚ましいそうですね。

アジアの担当者も日本の商品に期待してくれて

ます。映画の興行成績もアメリカの次は中国だったんですよ。日本でなかったのは残念ではありますが（苦笑）。中国では他国のアニメは放映できませんが、今回のような映画であれば公開できるんです。中国には映画を見てトランスフォーマーを好きになった人が大勢いるので、そういう意味でも映画版の存在は大きかったですね。

実は市場規模の拡大により我々の環境も良くなったんです。日本だけに向けた商品を作るよりも、日本とアジアに向けた商品のほうが作りやすいですからね。アジアのスタッフはトランスフォーマーをここ1、2年で知った人が半数以上を占めています。なのでトランスフォーマーに関する日本のノウハウをよく訊かれるんですよ。「日本の市場環境はどうなってるのか？」とか「なぜマスターピースのような商品が売れるのか？」とか。

つい先日にはトランスフォーマーのアジアサミットも開かれました。上海、香港、台湾、シンガポール、韓国など6カ国・地域のトランスフォーマー担当者が集まり、理解を深めるためにマーケットの近況などを報告し合ったんです。もちろん、アジアマーケットは我々日本が引っ張りたいと思っています。ちなみにアジアマーケットは日本に似てるんですよ。マスターピースは買わないけどディズニーレーベルは買って下さるような方々……彼らは、キッズの心を持つアダルト、キッダルトと呼んでいましたが、日本で言うところのライトユーザーの方々が大勢いますね。トレンド感を重んじる文化として成長しつつあります。まだ文化と呼ぶには成長しきれてない部分もありますが。

●来るべき『2010』に向けて

――では今後の展開についてお聞かせ下さい。

まずは映画版アイテムですが、これからも年間を通して続々と展開します。DVDで初めて作品を見る方もいると思うので、『リベンジ』のDVDがリリースされる時期には、なんらかの仕掛けを用意したいと考えています。まだお話しできませんが2010年の年明けには、映画版トランスフォーマーの魅力を引き出す新たなカテゴリーを用意しています。前作では「スクリーンバトルズ」というシリーズを発売しましたが、今回はより世界観に合わせた商品になると思います。

「変形!ヘンケイ!トランスフォーマー」のようなラインのシリーズは、どこかのタイミングで復活させたいですね。「変形!ヘンケイ!」のブランド名にするかどうかは未定ですが、クラシックキャラクターを現代風にアレンジしたようなシリーズをまたやりたいと考えています。

ミッキーマウストレーラーは、今年の日本おもちゃ大賞の優秀賞を受賞したんです。ディズニーレーベルは各所に話題を振りまいて、トランスフォーマーのイメージを変えてくれましたね。周りからよく言われた感想が「よく実現したね」だったんですよ。ディズニーのブランドイメージがよほど強かったんでしょうね。だけどイメージが相反するものが融合して新しい情報価値が誕生する、トランスフォーマーらしい驚きに満ちたアイテムになりました。そして、このアイテムはディズニーとトランスフォーマー、互いのブランドに新しい刺激を与えたとも思ってます。そういう意味では非常に上手くいきましたね。ディズニーにはいろいろなコンテンツがありますから、これらを新たなエッセンスとして加え、手を替え品を替え継続していこうと思ってます。年に1、2アイテムは出したいですね。

もちろん復刻系の継続も考えています。来年は「2010」年ですから、記念した何かしらのアプローチをしますよ。まだ具体的な内容は決まってませんが、「2010」という記号が通用するのは日本だけ（※）なので、必ず日本独自のキャンペーンをやります。

――そろそろTVアニメも恋しくなってきますが。

そうですね。いずれやりたいとは思っています。まだ時期は分かりませんが、もしかすると『アニメイテッド』かもしれませんし、まったく新しい新作アニメーションかもしれません。そのときには映画で得たノウハウを活用したいですね。

――では2010年に向けた抱負をお聞かせ下さい。

映画の公開によってトランスフォーマーの世界が、これまでになく多くの人々に対して大々的に伝わるようになりました。世界に向けて大きな入り口が開いたわけです。ですがまだまだこのお祭りを楽しみきれてない方もたくさんいると思うので、我々が提供するコンテンツを使って、その方々をうまく掘り起こしていきたいと思っています。日本は世界で一番トランスフォーマーが楽しめる国だと思うんです。それを実感していただくためにも、我々は様々なコンテンツを送り続けるつもりです。映画の興行成績では中国に負けてしまいましたが（笑）、オモチャは世界ナンバーワンの国にしたいと思っています。ぜひ楽しみにしていて下さい。

※アニメシリーズ第2作『戦え!超ロボット生命体トランスフォーマー2010』は、その表題の通り2010年が舞台。しかし原語版での舞台設定は2006年であり、2010年が通じるのは日本だけとなる。

PROFILE

山崎正彦

2002年入社。『マイクロン伝説』『スーパーリンク』からマーケティングを担当。『ギャラクシーフォース』ではアニメーションプロデューサーを兼務する。ハイエンドアイテムから他企業とのコラボレート企画まで、日夜トランスフォーマーの世界を広げるべく奮闘中。

Report

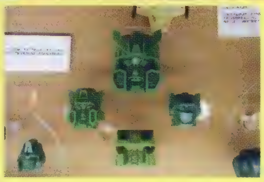
TRANSFORMERS Celebration 0530

『リベンジ』トイ発売解禁日である2009年5月30日深夜0時、池袋サンシャインシティ内のトイザらスにて、トイ解禁と生誕25周年を祝う「トランスフォーマー生誕25周年プレミアイベント」が執り行われた。前作における同様のイベントを超えるおよそ450人のファンが、深夜でありながらイベント会場に集結したのである。数々の貴重な資料の展示、スクリーンには歴代トランスフォーマーのナレーターを務めた政宗一成氏によるコメント上映など、ファンの心をつかむ企画が目白押し。『リベンジ』の成功を確信させる盛大なイベントとなったのである。

▲オルタニティを例に、玩具の開発から完成までを一望できる展示。このイベントのために、中国工場に置かれていた最終サンプルを空輸したという。

▲ダイアクロン時代の貴重な木型。当時はまずカーモードで木型を作り、それをもとにブロックを分割していったという。CADが発達した現在では作られることのない木型だが、その材質故に劣化なく現存している。

▶▼各種頭部のワックス原型。木型よりも加工し易いワックス（ろう）を用いた原型である。アイボリーのものは、開発担当が修正するためにレジンキャストを使って複製したもの。やはり現在では使われていない技術である。



INTERVIEW 11 山崎正彦

発売記念

2000セット数量限定

誌上通信販売

スキッズ&スクリーチ クォンタムオペレーティブVer.

本誌発売を記念して、特製オリジナルトランスフォーマー「スキッズ&スクリーチ　クォンタムオペレーティブVer.」の誌上限定販売が決定！ 巻頭コミックにサイモン・ファーマン&グイド・グイディという大物ゲストを迎える今回、特別にファーマン氏にはニューキャラクターの設定も作成していただいた。それによると、「クォンタムオペレーティブ」とは、無数の並行宇宙を自在に移動可能な量子捜査官のこと。スキッズが発見した「次元スライド粒子」が、時空移動機能を実現する。ボディカラーの変化も、その粒子の影響である。製品はトランスフォーマーアンコールと同じ通常サイズのサイバトロン・オートボット。2個セットのアイテムとなるため、ボックスも新造される。多元宇宙（マルチバース）に広がるトランスフォーマー世界を象徴するこのアイテム。手に入れるチャンスは今しかない！

次元間理論研究員スキッズ

"WE ARE MORE THAN ONE!"

特殊アーマーによって、多くの時空を旅することを可能としたスキッズ。近接する次元から最大4体のスキッズを短時間だけ呼び寄せることができる。彼はこの能力を駆使し、多元宇宙を脅かす様々な事件に対処する任務を担うことになった。

次元間攻撃スペシャリストスクリーチ

"BARRIERS EXIST ONLY TO BE REMOVED!"

スキッズの行った「次元スライド粒子」に関する初期の実験の結果、現在の時空に取り残されてしまった別次元のスキッズ。「スクリーチ」と名を改めた彼は、スキッズの「兄弟」として行動をともにする。素早い攻撃が得意。

▲スキッズのスペシャルカラー。TVアニメでの活躍が極端に少ない彼だが、映画をはじめUKコミック、バイナルテックなど、多くのメディア（世界）で活躍するキャラクターでもある。

▲本誌発のオリジナルキャラクターとなるスクリーチ。命名もファーマン氏によるもの。ボディは2002年の限定アイテム・クロスカットと同じ型を使用。頭部およびボンネット、バンパーの形状がスキッズとは異なる。

※写真は試作品のため、実際の商品とは異なる場合があります。

申し込みのきまり

「トランスフォーマー　ジェネレーション2009 Vol.3」限定
スキッズ&スクリーチ
クォンタムオペレーティブVer.

商品購入代金 》 1セット:7700円 2セット:14800円

※1枚のハガキで2セットまで購入できます。

1セット:7700円　本体価格6500円+送料・手数料・消費税1200円

2セット:14800円　本体価格13000円+送料・手数料・消費税1800円

限定数 》 2000セット

※限定数を超えた場合、抽選での販売とさせていただきます。

お支払い方法 》 代金引き換え方式

※商品受け取りの際、配達員に代金をお支払いください。

申し込み締切 》 2009年11月17日(火)当日消印有効

※締め切り以降の申し込みは無効となります。

商品発送予定 》 2010年1月以降

※完全受注生産のため、発送が遅れる場合があります。ご了承ください。

申し込み方法

1…巻末の応募ハガキを切り取り、ご使用ください(コピー不可)。
2…ハガキの裏面に「氏名(フリガナも明記)」「郵便番号」「住所(フリガナも明記)」「電話番号」「メールアドレス」「年齢」「性別」「希望セット数(1セット or 2セット)」を黒のボールペン等で略さず丁寧にご記入ください。
3…未成年の方はハガキ裏面に必ず保護者の署名・捺印をしてください。
4…ハガキに50円切手を貼って投函してください。

注意事項 ※必ずお読みください。

申し込み方法について

- 応募ハガキ1枚につき「スキッズ&スクリーチ クォンタムオペレーティブVer.」2セットまで購入できます。3セット以上ご希望の方は、希望個数分の本誌をご購入いただき、応募ハガキをご用意ください。
- 海外からの申し込みは受け付けておりません。海外への発送も行いません。
- ハガキへの記入は省略、略字、くずし字は使用せず、丁寧に記入してください。
- 住所は都道府県名からマンション・アパート名まで全て記入してください。
- 記入もれ、記入間違い、締め切り後の申し込みなど、申し込みのきまりが守られていない場合、申し込みは無効となります。
- ハガキに希望セット数が書かれていない場合、1セットお送りします。

お支払い方法・受け取りについて

- ご注文はすべて宅配便による代金引き換え方式のみとなります。為替や振込みで入金された場合、必要な手数料を引いて返金させていただきます。
- お客様の都合により再配達になった場合、送料、手数料が再度必要になります。

抽選について

- 購入申し込みが2000セットを超えた場合、抽選とさせていただきます。ご購入いただく方には2009年12月20日(日)～31日(木)の間に発送する「申し込み受け付けのお知らせ」ハガキでお知らせいたします。
- 「申し込み受け付けのお知らせ」ハガキは落選者にはお送りいたしません。
- 当落に関するお問い合わせにはお答えできません。

その他

- 予告なく商品の仕様を変更する場合があります。
- 発送中のパッケージおよびケースの破損については、お取り替えに応じられません。
- 申し込み後、お客様からのキャンセルは一切できません。
- 不良品の交換・返品は、商品到着後2週間以内にお願いいたします。

お問い合わせ先
ミリオン出版
電話:03-3514-1480(代表)
平日:11:00～17:00(土日祝休み)

※お申し込みいただいた商品は、クロネコヤマトよりお届けします。ご記入いただいた個人情報は発送の目的以外での利用はいたしません。

トランスフォーマー情報誌の次なる展開は、
ミリオン出版ヒーローシリーズ公式HPをチェック!

http://millionhero.jp/

SEE YOU NEXT SOON...?

STAFF

編集●TARKUS
執筆・構成●島田康治・石川陽介
五十嵐浩司・高柳 豊・高橋和光
編集協力●谷崎あきら
アートディレクション●中嶋寿人(CHICKS)
本文デザイン●CHICKS
(関 和英・奥大谷光公・中嶋寿人)
資料協力●馬屋原憲幸
大橋寿充
シボレーカマロ撮影協力●
株式会社ヤナセグローバルモーターズ
GM東京支店
写真●住倉博之
結束武郎
皆川隆一
田口 創

校正●中尾哲則
SPECIAL THANKS●
タカラトミー　山崎正彦
蓮井章悟
幸 日佐志
川口浩司
サイモン・ファーマン
グイド・グイディ
JEA　宮野由美子
リック・ブリブマン
パラマウント ジャパン株式会社

トランスフォーマージェネレーション2009 Vol.3
平成21年8月18日初版第1刷発行

編集発行人●谷澤 崇

発行所●ミリオン出版(株)
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-9 大洋ビル
TEL:03-3514-1480(代表)

発売元●(株)大洋図書
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-9 大洋ビル
TEL:03-3263-2424(代表)

印刷●三共グラフィック株式会社

ISBN978-4-8130-2105-6 C0076

※定価はカバーに表示してあります。
※本書の一部あるいは全部を無断で複写転載することは法律で禁じられています。
※乱丁、落丁がございましたら小社にお送りください。送料小社負担でお取り替えいたします。

© 2007 DreamWorks,LLC & Paramount Pictures Corporation.
Manufactured under license from TOMY Company.ltd
© 2007 Hasbro,Pawtucket,RI 02862 USA.ALL Rights Reserved.
TM & ® denote U.S.
Trademarks.Hasbro Canada,Longueuil,QC,Canda J4G1G2.
Product and colors may vary.

© 2008 DreamWorks,LLC and Paramount Pictures Corporation.
© 2009 TOMY. All Rights Reserved. TM&® denote Japanese Trademarks.

© 2009 TOMY

© 2009 PARAMOUNT PICTURES CORPORATION and
DW STUDIOS L.L.C. All Rights Reserved.

© 2009 Paramount Pictures. All Rights Reserved. No reproduction or publication of these images permitted.

This publication may not be reproduced
in whole or in part by any means without
the prior permission of Million Publishing Co.,Ltd.

© MILLION PUBLISHING CO.,LTD.2009
Printed in Japan

郵便はがき

おそれいりますが
50円切手を
お貼り下さい

101-0065

東京都千代田区西神田3-3-9 大洋ビル

ミリオン出版株式会社

トランスフォーマージェネレーション2009 Vol.3

「スキッズ&スクリーチ
クォンタムオペレーティブVer.」係

〈キリトリ線〉

本書に対するご意見・ご感想をお聞かせください

TRANSFORMERS
GENERATIONS 2009
トランスフォーマージェネレーション2009 VOL.3

スキッズ&スクリーチ クォンタムオペレーティブVer.

申し込み書

氏名

フリガナ

住所

フリガナ

〒

電話番号

メールアドレス

年齢	性別
歳	男 女

希望セット数(希望する方に○をしてください)

1セット希望
(7700円)

2セット希望
(14800円)

保護者ご署名(未成年の方のみ)

印

〈キリトリ線〉